

資料編 **4** :

米国パフォーミング・アーツ分野におけるボランティア活動の実態
—代表事例及び関係機関に対するインタビュー調査結果—

I. 米国のボランティアを取り巻く社会構造	資4-1
II. The Symphony Space	資4-19
III. Snug Harbor Cultural Center	資4-31
IV. The Kennedy Center for the Performing Arts	資4-45
V. Autumn Stage	資4-75
VI. The Public Theater	資4-81
VII. Mayor's Voluntary Action Center (MVAC)	資4-89

I. 米国のボランティアを取り巻く社会構造

* 米国と我が国では、ボランティアという言葉の意味合いや社会的な背景が異なるため、本項では、米国のボランティアの表記を英字表記とした。

アメリカの日常生活の中で、「Volunteer の行為」というものは、測り知れないほどのインパクトをもたらしています。「Volunteer の行為」は、教会で、医療施設で、大学で、研究所で、社会事業で、文化施設で、舞台芸術環境で、そしてその他のあらゆる非営利活動に根をはっています。

— 『American's Voluntary Spirit / The Foundation Center 発行』より—

日本では、ボランティアの存在あるいはボランティアの活動というものは、現状の社会構造や行政のサービスの「隙間を埋めるもの」、すなわち何らかの主体を“補完する機能”として語られることが多い。

だがアメリカでは、Volunteer 活動は、“社会の構造体の一部”と言うべきものである。近年では、中産階級の貧困化、女性の社会進出、核家族化、家庭の崩壊などが原因となって「昔のアメリカ人に比べて今のアメリカ人は Volunteer をしなくなった」と言われることもよくあるが、それでもなおアメリカ人の「Volunteer」への意識は、いまだ米国社会の底辺を成すファクターのひとつとして根強い。

Volunteer がどれほど米国の社会構造に不可欠なものを、教育制度を例にとって簡単に説明してみよう。

- 日本の学校制度では、校長を任命したりカリキュラムを決定するのは行政の役割だが、アメリカの多くの州、都市では、小・中各学校の校長を選定・任命・罷免するのは、「コミュニティー・ボード」と呼ばれる所定の学区内の住民から成る Volunteer の集団。教育カリキュラムを認定するのも、このコミュニティー・ボードである。
- 一方ニューヨーク市ではこのほど、市行政直轄の教育委員会の長に、校長の任命・罷免権を移す法案が可決された。これに対して市民の多くは、「学区内の住民の意見を学校制度に正しく反映させるには、学区内の住民の代表が直接に制度を司るべきだ」という考えを支持しており、市の新方針への反発は大きい。

このように、アメリカでは、「行政に属している専門家よりも、一般市民の側に属している素人の Volunteerの方がより大きな権限を持つべきだ」とまでいった姿勢を、社会生活の様々な局面で見出すことができる。つまり米国の Volunteer のあり方は、カタカナの「ボランティア」という言葉から連想されるよりもずっと多様な形、多様な影響力で社会に存在するわけである。

その“多様さ”は次に述べるとおりである。

1. リーダーシップの Volunteer

Volunteer 活動が、社会の中で大きな権限を持っているということは、すなわち「Volunteer は社会をリードし得る」という価値観が社会に浸透していることの結果と言えるだろう。このことはもちろん、そもそもアメリカという国自体が市民活動から興ったという特種な歴史と無縁ではないが、経済的に余裕があったり社会的地位の高い人などが、おしなべて非営利団体の Board of Directors (理事会) の役員に名を連ねる (注: 理事会役員は多くの場合が無償無給、つまり Volunteer) のは、このような価値観に裏付けされている。

首都ワシントンにある非営利団体『National Center for Nonprofit Board (NCNB)』によれば、アメリカ人が理事会の役員になって無償で時間と労力を割く動機について、最も一般的なものは、「これまで社会でおさめてきた成功を社会に還元したいから」というものと、「自分という成功者の知識や技術を使って〇〇を導いてやらなければ」という義務感だという。

この義務感は、キリスト教的であると共に、階層社会アメリカの、その上部に属する者に特有の多分に“帝王学的”な志向である。

理事会役員らが実質的に期待されるのは、「活動資金集めのための水先案内人」としての機能である。すなわち、同じように裕福かつ指導的な立場にある人々とのネットワークを使って、寄付金をたぐりよせることにある。だが、もっと理想的には、その非営利団体の使命に基づいて長期的なビジョンを示唆し指導する役割までが求められており、この点においては、古く大きな非営利団体ほど大きな問題を抱えていることが多い。というのも、古い団体ほど設立当初の活動の使命が、現実とのすり合わせにおいて曖昧になってきていたり、また、大きな団体ほど日常的な業務を扱う有給のスタッフと、活動を大局的に論じる理事会との間にギャップが生じやすいこと、などが原因である。

そこで、理事会役員という Volunteer をめぐっては、例えば以下のような非営利団体が諸問題を取り扱っている。

- NCNB (前出) : 理事会がその非営利団体といかにより生産的な関係を作り上げていけるかを、出版、セミナー、会議、コンサルティングなどを通して指導していく。全米規模の活動を行う非営利団体[資料 SUP-1参照]。
- Volunteer Consulting Group : ニューヨーク市には、1969年に設立された『Volunteer Consulting Group』という非営利団体がある。これは、ハーバード大学経営学部の同窓会ニューヨーク支部によって発足されたもので、非営利団体の理事会がいかにより効率よく非営利団体を導くことができるかというコンサルティングを、非営利団体と理事会の双方に対して行う組織である。また、非営利団体の理事・監査・管財人にふさわしいニューヨーク在住の人物と、理事候補を探し求めている非営利団体とをマッチングさせる「マーケット・プレイス」というプログラムも施行。「リーダーシップ的 Volunteer」における、“キリスト教的かつ帝王学的”姿勢の代表的な例である[資料 SUP-2参照]。

2. 専門知識を生かす Volunteer

(1) プロフェッショナルリティを生かす

終身雇用制度の徹底した日本には、国家試験制度のある職業や一部の技術職を除いては、社会人の間に「プロフェッショナル」という意識が欠如している。が、自分の専門分野を特化して転職を重ねるアメリカのビジネスマンの場合には、「マーケティングのプロ」「人事のプロ」「総務のプロ」「投資コンサルティングのプロ」「経営管理のプロ」といった専門職ビジネスマンから、「グラフィック・デザイナー」「コピー・ライター」など日本にも存在するソフト技能職まで、さまざまなプロフェッショナルが存在する。(ここで言う Professional とは、「専門職」と訳すべきもので、例えば秘書業、タイピスト、ひと通りのコンピューター知識程度の技能しか持たない者は、プロフェッショナルとは呼ばれない)。

彼らの専門知識と経験を非営利団体の運営のために役立てようというコンセプトは、米国の様々な Volunteer プログラムの中に見ることができるが、以下は、特に芸術に関連する非営利団体用のプログラムを参考に挙げた。

① Arts & Business Council (ABC)

この非営利団体では、ビジネス・セクター(経済界)で働く「プロフェッショナル」の人々を、その人々の専門知識や技術を必要としている芸術系非営利団体にマッチさせ、Volunteer として送り込むという活動をしている。ABC はニューヨークに本部を持つが、ほぼ全米の大都市にそれぞれ支部があり、独自のマッチング・ネットワークを広げている。

最も一般的なマッチングのケースとしては、「新しい観客層をつかもうとする劇場がマーケティングの専門家の指導を受ける」、「経営難に陥った非営利団体が総務・人事のプロに財政や人事構成の建て直しを相談する」、「基本財産の有効運用を金融コンサルタントに依頼する」など。その他、ニューヨーク・シティ・オペラ団やレパトア・エスパニョーラ劇団では、Volunteer グラフィック・デザイナーに印刷物(チラシやパンフレット)のデザインを依頼している。

ABC でのマッチングの具体例は、[資料 SUP-3]を参考のこと。

② Volunteer Lawyers for the Arts (VLA)

弁護士という専門職については、別途『Volunteer Lawyers for the Arts (VLA)』という非営利団体があり、芸術家および芸術系非営利団体の法律相談に無料で応じるボランティア弁護士のマッチングを行っている[資料 SUP-4 参照]。

VLA も ABC 同様、シカゴ、サンフランシスコといった大都市にはそれぞれ独自の VLA が存在するが、地方分権の徹底した米国では各州によって法律が異なるため、各 VLA 間の交流や情報交換はあまり盛んではない。芸術家と芸術団体の集中度と弁護士の数の多さからいって、VLA の活動がもっとも盛んなのは当然ニューヨークである。

ニューヨーク VLA でのマッチングの具体例は、[資料 SUP-5]を参考のこと。

■ 米国のボランティアを取り巻く社会構造

③ Doctors for Artists

医者という専門職については弁護士のVLAほど徹底したVolunteer組織は存在していない。ただしニューヨーク市には、ごく個人的なVolunteer医師らが集まって作っている『Doctors for Artists』という任意的な活動がある。これは、身体が資本の舞台芸術家（おもにダンサーや役者や歌手など）のために、ニューヨーク近郊に診療所を持つ専門医（スポーツ医、声帯専門医、整体医、整形外科医等）の住所録をまとめ、問い合わせのあるごとにReferral Service（＝情報照会）を行うというもの。

(2) 専門技術・技能を提供するVolunteerは被雇用者

自分のプロフェッショナルリティを無償で提供するVolunteerのなり手は、ABC、VLAとも、ごく一部の例外を除いてほとんどが“被雇用者”である。すなわち、あくまで「彼らの専門知識や専門技術をタダで提供しても、彼ら自身の生活の糧は脅かされない」という前提でのVolunteer行為であることに、留意したい。

言い換えれば、デザイン事務所、会計事務所、弁護士事務所、建築事務所、投資コンサルティング会社など、特にサービス業において、“経営者”がみずからその本業のサービスをVolunteer提供するという事は、あまり一般的ではない。ここには、自営自立した人のプロフェッショナルリティに尊厳を払う（＝タダで本業のサービスを提供してもらうべきではない）という社会的コンセンサスがあるように思える。

一方、もしも経営者自身がこのようなVolunteer活動に積極的である場合は、自分の従業員に対してVolunteerへの参加を奨励するという方法をとる。場合によっては、就業時間内に従業員が行ったVolunteer時間を時間給に換算し、従事した非営利団体にその証明書を発行してもらい「寄付」扱いにして税金から控除することも可能である。

経営者がみずから専門的な知識をVolunteerで生かそうという場合には、レクチャーやセミナーの講師を無料で引き受けるといったような、一歩立場の高い指導的な方法が一般的だ。

(3) 舞台芸術家自身のVolunteer

「プロフェッショナル」ということでは、舞台芸術家（ダンサー、歌手、俳優等）はもちろんプロフェッショナルである。が、舞台芸術家が、その専門技術（すなわちパフォーマンス）をタダでVolunteer提供することは、ごく一部の例外（ごくローカルなフェスティバルなど）を除いてほとんど見られないし、またそれを期待されることも少ない。

このあたりの理由を、いくつかの芸術系非営利団体に問い合わせたところ、サービス業の経営者が自ら専門知識を無償で提供することを避けるのと同じ、すなわち「本業のサービスをタダで提供すべきではないから」、という説明をする者もいれば、「アーティストは、本質的にVolunteerを行えるほど余裕のある人々ではないから」という理由をあげる者もいた。

ごく一部のスター的舞台芸術家は、資金集めのガラ・コンサートなどに無償のVolunteer出演することがしばしばあるが、この場合は、観客は観賞代を支払っているわけであるから「タダでパフォーマンスを観せている」とは違う。

■ 米国のボランティアを取り巻く社会構造

一方、劇団やバレエ団、あるいは劇場やホールなどの非営利の芸術団体が、学校や施設などで無料（或いは安価）の公演を提供することがあるが、この場合でも、個々の出演者は **Volunteer** の無料出演をしているのではなく、ちゃんと報酬を受け取っている（報酬支払いのための資金源は、もちろん財団や公共機関からの活動助成金である）。

以上をまとめれば、「アーティストは、本業をタダで提供するという形での **Volunteer** は行わない」というのが米国での不文律と言えるだろう。

3. リタイアした人々の Volunteer

アメリカでは昔から、「リタイアした人々は **Volunteer** の重要な人材源」ということになっており、そのため、前項で挙げた『**ACTION**』や『**American Association of Retired Persons (AARP)**』のような全米組織をはじめ、州・郡・市町村など様々なレベルで、「**Volunteer センター**」と呼ばれる組織（たいていは行政筋の外郭団体としての非営利法人）が存在する。こういった組織が行っているサービスは、**Volunteer** 希望者と募集团体とのマッチング、**Volunteer** プログラムの開発指導、**Volunteer** トレーニング、情報照会などである。

また、やはり前項で挙げた『**Service Corps of Retired Executives (SCORE)**』や『**National Executive Service Corps (NESC)**』の例からもわかるように、ひとことで「リタイアした人」と言っても、現役時代の履歴によって、**Volunteer** として求められる働きが違ってくる。

あまり職能もなく暮らしてきた人であれば、「手足としての **Volunteer** (= DMの封筒づめが最も一般的で、劇場・ホール等の場合には、これに会員募集やチケットの電話セールス、およびアッシャー業務などが加わる)」、地域の顔役程度の“地位”がある人ならば、「ファンドレイジング・パーティーの企画・推進係」、そして企業のトップに座していた人であれば、「理事会役員」か、もしくはもっと特別の指導的な立場の貢献が期待される。

4. 企業が従業員に奨励する Volunteer

前項で挙げた『**National Council on Corporate Volunteerism (NCCV)**』のような組織が存在することからもわかるように、「企業市民」という価値観の生みの親であるアメリカでは、企業が企業体として **Volunteer** 活動を行ったり、あるいは企業が従業員に対して **Volunteer** 活動を奨励したりすることが、ひとつの典型的な社会貢献活動になっている。

• CITIBANK

[資料 SUP-6]は、1993年度のニューヨーク市内 **CITIBANK** での、従業員手引きからの抜粋である。同資料そのものは、**CITIBANK** 従業員のための「劇場での入場料割り引き一覧」であるが、同時に、**CITIBANK** がこれらの劇場施設と“相互協力関係”を築いていることを示している。すなわち、**CITIBANK** の従業員は、これらの劇場のために自由意志で一定時間の **Volunteer** を行うことが奨励されており、その就業時間数に見合うだけの現金を **CITIBANK** は「マッチング・ギフト」としてその劇場に寄付する体

■ 米国のボランティアを取り巻く社会構造

制を敷いている。

マッチング・ギフトの仕組みは、(すでに日本でもよく知られているように) 従業員の意思を企業の社会貢献活動に反映させるという意味合いと、寄付金の行く先について経営者サイドが試行錯誤しなくてもすむという意味合いとの両方がある。

1993年に、Mutual Benefit Lifeが発表した統計『The Mutual Benefit Life Report II』によれば、アメリカでは、CITIBANKのような大企業ではない中小・零細レベルの企業でも、多くの経営者が、「従業員に Volunteer 活動を奨励することは企業にとって大切」と考えている(アンケート対象企業のうちの61%。ただし、企業の資本金が大きいほど、従業員の Volunteer 活動の奨励度は増す)。

同統計によれば、従業員の Volunteer 活動をよしとする理由は、

- 職場の雰囲気向上
- 職場内のチームワークの向上と、コミュニティとのチームワークの向上
- 従業員の新規採用に便利

となっている。

また、「従業員がコミュニティで行う Volunteer 活動は、売上向上などの直接的な利益を生むか？」との質問には、ほとんどの企業が「直接的な効果は感じない」と述べているが、その一方で、「生産性の向上、モラルの向上、ビジネス上のツテの拡張、企業イメージの向上などのメリットは得られる」として、「基本的には従業員の Volunteer 活動は、企業にとって利益がある」と答える企業が、7割を越えている。

5. Volunteer 人員だけで運営される非営利団体

本項冒頭で「米国の Volunteer は補完・補足ではなく、社会の構造体の一部である」と述べたが、“構造体の一部”どころか Volunteer の働きが“構造そのもの”をなしている非営利団体も数多い。

(1) フェスティバル

米国の地方や小都市で行われるパフォーミング・アーツ系のフェスティバルには、企画→準備→実施→運営まですべて Volunteer の手だけで行われているものが珍しくない。

「企画→準備」の段階には、当然、資金調達(ファンドレイジング)という行為も含まれている。資金は、出演者や出演団体へのギャラ、交通費、会場設営費、告知印刷物制作費、そして Volunteer 全員用のユニフォーム兼謝礼代わりにTシャツ制作費などに使われる。

• Baroque Music Festival of Corona Del Mar :

これは、カリフォルニア州コロナ・デル・マーでの毎夏恒例のバロック音楽のフェスティバル。ほとんど演奏されることのない埋もれた古楽を復活させる、というユニークな活動である。

フェスティバル名と同名の非営利法人登録をしているが、有給のスタ

■ 米国のボランティアを取り巻く社会構造

スタッフはおらず、運営管理、会計、広報、資金調達から、当日の座席案内まで、すべて Volunteer でなりたっている。出演する演奏家は全員ユニオンのメンバー（音楽家用労組の組合員）のため、彼らには「ユニオン・スケール」と呼ばれる最低賃金以上のギャラが支払われるが、指揮者だけは、同フェスティバルの設立者のひとりのためノー・ギャラで出演。

「同好の士が好きで集まってやる」というのが基本コンセプトの非営利団体のため、毎シーズン黒字の経営を続けているにもかかわらず、Volunteer 人員を有給のスタッフに切り替える意志はまったくない。

(2) 小劇場

極小の劇場スペースを運営するニューヨークの非営利団体の中には、「演出家ひとり（＝ほとんどの場合がその非営利団体の設立者）を除いて、すべての運営スタッフが Volunteer」というところが数多く存在する。これらの非営利団体は、好んで Volunteer に依存しているわけではなく、「有給のオフィス・スタッフを雇い入れるだけの資金力が無い」というケースがほとんどである。

• Actor's Theater Workshop :

マンハッタンの西 28 丁目にある『Actor's Theater Workshop』という小劇場は、独自の演劇プロダクションの創作の他、子供に演劇を指導する土曜学校、役者にオーディション技術を教えるワークショップなどの活動を行っている。

スペースはビルの 5 階のワンフロア、という小さなもの。Volunteer の範囲は、アシスタント・マネージャー（オフィスの日常業務を処理する係）、広報担当（問い合わせへの電話対応から、メディアに対する広報活動まで）、資金調達係（ファンド・レイジング・イベントの企画実施から、助成金申請の手続きまで）、広告印刷物制作係（グラフィック・デザインおよびコピー・ライティング）、そしてこれらのボランティアをしきるボランティア・コーディネーター（理事会の役員＝発起人のひとりが担当している）、というように、ほぼ事務仕事の全面にわたっている。

6. Volunteer に関する情報源、サービス機関

首都ワシントンには、全米に分散する各種各ジャンルの非営利団体をそれぞれ相互にネットワークし情報の行き来を助ける統括的非営利団体（通常「アンブレラ・オーガニゼーション」と呼ばれる。例えば、全米のオーケストラ団をネットワークする『American Symphony Orchestra League』、全米のダンスカンパニーをつなぐ『Dance USA』、芸術系非営利団体を代表してロビー活動を行う『American Arts Alliance』、全米の非営利老人ホームを指導する『National Association of Home & Services for Aging』、全米の労働組合をつなぐ『AFL-CIO』等々）が、数多く存在する。

つまり、Volunteer 関係のアンブレラ・オーガニゼーションを眺めれば、どんな切り口での Volunteer 活動がアメリカに存在するかを、おおまかに知ることができる。

■ 米国のボランティアを取り巻く社会構造

① ACTION

連邦政府筋の外郭非営利団体。ジャンルを問わず Volunteer 活動全般を奨励することを使命とし、全米各地に支部を持って情報サービス、照会サービス、出版、基本となるボランティア・プログラムの開発提供などを行う。「Student Community Service Program (スチューデント・コミュニティー・サービス・プログラム、通称「SCSP）」や、「Retired Senior Volunteer Programs (リタイアード・シニア・ボランティア・プログラム、通称「RSVP）」などが代表的なプログラム。

② Independent Sector (IS)

医療、福祉、文化など社会問題や篤志活動全般に関わる非営利団体をつなぐ、非営利団体。Volunteer 関連のリサーチ研究を行う非営利団体への助成を行うほか、Volunteer 全般に関する書籍を数多く出版。

③ American Association of Retired Persons (AARP)

リタイアした人に関わる非営利団体を統括する、非営利団体。Volunteer に関しては、年齢 50 歳以上の社会的リーダーを名簿にした「Talent Bank (タレント・バンク)」という情報サービスを行っている。「エリア・オフィス」と呼ばれる全米各地の支部が、各地の非営利団体のために、「リタイアした人用の Volunteer プログラム」の開発サービスを行う。

④ Service Corps of Retired Executives (SCORE)

すでにタイアした元管理職(取締役クラス)の人たちの叡知を、Volunteer その他を通じて社会に有効利用することを目的とした非営利団体。

⑤ National Executive Service Corps (NESC)

企業の前社長や元取締役クラスを Volunteer としてリクルートしようとしている非営利団体のために、プログラム開発コンサルティングを行う非営利団体(アンブレラ・オーガニゼーションではあるが、この団体はビジネスの中心地であるニューヨークにオフィスを持つ)。

⑥ National Council on Corporate Volunteerism (NCCV)

社会貢献活動の一環として企業が行う Volunteer プログラムを、指導するための非営利団体。全米各地に「コーポレート・ボランティアリズム・カウンスル」という支部を持つ。

⑦ International Executive Service Corps (IESC)

社会の指導的立場にある人たちの Volunteer (社会貢献) 活動全般を奨励するための非営利団体。

⑧ Association For Volunteer Administration (AVA)

Volunteer 管理を専門にしている人々(=有給または無給の Volunteer コーディネーターたち)を会員にして運営されている非営利団体。コロラド州ボルダー市にあるが、全米を対象とする全国組織。「ジャーナル・オブ・ボランティア・アドミニストレーション」という名の情報新聞の発行をはじめ、Volunteer コーディネートに関する出版事業、情報交換やセミナーのための全国大会、国際会議などを行う[資料 SUP-7 参照]。

7. Volunteer コーディネーター教育

Kennedy Center でのインタビューの中で、「Volunteer コーディネーターは、大卒レベルの専門職だ」というコメントがあったが、実際に「Volunteer を管理する職業の人のための大学講座」というものが、全米に存在する。

隔週誌『The Chronicle of Philanthropy』1994年7月24日号によれば、「少なくとも全米の41の大学で、Volunteer を管理する立場の人のための履修コースが設けられている」とのこと[資料 SUP-9 参照]。これらの中には、単位修得後に「Volunteer Manager Certification (ボランティア・マネージャー証明書)」を発行するところもあるが、別段法的資格が云々という効力のあるものではない。

また、年鑑『Volunteerism』(R.R. Bowker 社出版)では、上記のような大学講座をはじめ、サマー・コースやその他各種セミナーに至るまでの「Volunteer マネージャー教育」に関する全米の情報が総覧できる。ちなみに、現時点での最新の同年鑑は1991年発行の第3版である。

8. Volunteer と Community

* 米国と我が国では、コミュニティという言葉の意味合いや社会的な背景が異なるため、本項では、米国のコミュニティの表記を英字表記とした。

"Community"という英語は、しばしば日本語で「生活地域」「地域社会」といったような言葉で代用され、あたかも地理的な範囲を意味するもののように認識されているが、アメリカにおける「Community」という言葉にはもっと大きな意味の広がりがある。

アメリカにおける Community を理解するには、むしろ英和辞書に出ているとおり、「利害・宗教・国籍・文化などを共有する共同社会」とか「思想・利害などの共通性」という訳語を用いた方が的確だ。すなわち、「Black Community」と言えば黒人の人たちが係る社会全体を指し、「Gay Community」と言えば同性愛者たちが形成する社会を指し、「Catholic Community」と言えばカトリック信者たちが形成する社会を指す。さらに「Business Community」と言えば企業同士のつきあいや経済界、「Middle Class Community」と言えば中産階級の家集団、そしてもちろん「Arts Community」と言えば、芸術に携わる人々や団体のことを指すのである。

こうして Community の意味を「思想・利害を共有する社会」と捉えた時、アメリカにおける Volunteer の位置づけはとてもわかりやすいものになる。例えばシンフォニー・スペースやスナッグ・ハーバー・カルチュラルセンターなどの起りこは、「建物を取り壊しから守り、文化施設として利用したい」と考える“同好の士”の集まりだったわけで、これはすなわち「思想・利害を共有する」人々が、実際にその思想を“活動”へと転化させたカタチにほかならない。そのカタチが法人格を有したものが、「非営利団体」なのであり、その非営利団体に同じ思想・利害を共有しようと集まってくる人が、Volunteer なのだ。

逆の言い方をすれば、Volunteer というあくまで自発的な生産活動は、

■ 米国のボランティアを取り巻く社会構造

「Community 感覚＝共通の利害意識」があって初めて成し得る行為だと言えるだろう。

こう考えてくると、非営利団体の側が Volunteer をリクルートする際のポイント、そして Volunteer たちを効率よく管理するプログラムのポイントが見えてくる。つまり、「Volunteer や Volunteer 予備軍らにいかん『共通の利害意識』を持たせる“仕掛け”をつくるか」が重要なのである。

もしも Community が、単に「地理的広がり」と同義だとすれば、劇場やホールにとっての Community とは、そのまま「商圈」を意味するにとどまってしまう。だが、その商圈の中には、人種、性別、宗教、性癖、経済状態、ステータス、趣味、ライフスタイルなど様々な“小社会”があるわけで、「共通の利害意識」とはまさにこういった切り口の中にこそ存在する。そして当然、これらの小社会ごとに、「ゲイ・Community の共通の利害意識」、「リタイアメント・Community の共通の利害意識」、「シングル・マザーの共通の利害意識」は、異なっている。

上手な Volunteer プログラムとは、その地理的商圈の中にはどのような種類の Community が存在しているのだろう、彼らと自分ら劇場との「共通の利害意識」はどのような形で存在し得るだろう、と探り出す行為から始まるものなのである。

OVERVIEW

MISSION

The National Center for Nonprofit Boards is the only organization of its kind in America. Its mission is to improve the effectiveness of the nation's more than one million nonprofit organizations by strengthening the capacities of their leadership.

The Center accomplishes its mission by:

- ◆ Assisting directly both new and experienced board members to better understand the multiple responsibilities they face individually and collectively as nonprofit leaders;
- ◆ Assisting chief executive officers to work more effectively with their governing boards;
- ◆ Assisting others who have a stake in the successful performance of nonprofit organizations in the nation, particularly corporations and foundations; and
- ◆ Gathering, synthesizing, and disseminating information on the many consequential issues that affect the performance of this vital sector so unique to American society.

PROGRAMS AND SERVICES

To carry out its mission, the National Center for Nonprofit Boards offers four programs and services:

1. **The Board Development Program** helps nonprofits design and conduct board development workshops and retreats tailored to their board members and chief executives, and provides speakers for conferences and meetings;
2. **The Board Information Center** is a nationwide service that responds to telephone and written inquiries on a range of topics affecting nonprofit boards;
3. **The Publications Program** offers booklets, texts, and audio tapes on key issues in nonprofit governance; and
4. **The Membership Program** provides individuals and organizations with a subscription to the NCNB periodical, *Board Member*, toll-free access to NCNB's Information Center and other services, and a 25 percent discount on publications and meetings. Organizational members receive a 15 percent discount on customized board development programs.

ORGANIZATIONS SERVED

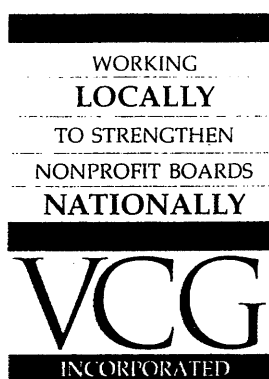
The programs and services of the Center are designed primarily for board members and chief executives of national, state, and local nonprofit organizations that work in areas such as aging, arts and culture, communications, conservation, education, employment, health, housing, human services, international affairs, public policy, religion, social action, and youth development.

ORIGIN

The National Center for Nonprofit Boards was established in 1988 by the Association of Governing Boards of Universities and Colleges (AGB) and Independent Sector. After operating as a program of AGB for three years, the Center became an autonomous 501(c)(3) organization with its own governing board in 1991.

資料 SUP-2 : Volunteer Consulting Group, Inc.

—Brochure より—



Volunteer Consulting Group, Inc.
9 East 41st Street, Eighth Floor
New York, NY 10017
212/687-8530 FAX 212/370-0418

Volunteer Consulting Group (VCG) is a nonprofit corporation founded by the Harvard Business School Club of Greater New York in 1969. It works locally and nationally to strengthen the governing and management capability of nonprofit boards of directors with a special focus on helping boards and potential trustees find each other.

VCG provides a range of services to meet the needs of nonprofit organizations, potential trustees and local communities.

IN THE TRI-STATE
NEW YORK REGION

Board Recruitment — VCG assists nonprofit organizations in defining their board recruitment objectives, and then conducts a targeted search for business, professional and community leaders with the desired expertise, diversity of perspective and resources.

Board Consulting — VCG provides professional guidance on effective governance structure and board management practices. VCG works with both volunteer and staff leadership in strategically addressing such issues as growth, transition and revitalization, board responsibilities, training and evaluation, communications, and board/staff relations.

Tri-State Board Marketplace Program

- Assists individuals in exploring their interests and reviewing board opportunities.
- Helps chairs and executive directors clarify the skills and other qualifications they desire in new trustees.
- Trains potential trustees to bring the same sort of focus to board hunting as to job hunting.
- Manages the expectations on all sides.
- Supports the process with the diplomacy of a professional staff.
- Follows up each placement.
- Maintains computerized databank in a central location.

Education Seminars

- *How to Go on a Nonprofit Board*, a unique orientation program for potential trustees which discusses not only their future role as a board member, but the factors to be considered in evaluating a board opportunity.
- *Board Management and Leadership*, case-based seminars for executive directors and boards, on such issues as Building A Board, Strategy Formulation, and Chairmanship.

VCG's seminars are also available in work book form as training manuals.

NATIONALLY

As a community catalyst, VCG fosters the American heritage of broad citizen participation as nonprofit trustees by responding to requests from local communities:

- Raise awareness of the importance of enhancing the flow of volunteer leadership onto boards of Directors.
- Assist in the planning and implementation of local programming to bring together nonprofit boards and potential trustees of diverse knowledge and resources.
- Share VCG's two decades of experience and new Board Marketplace Program technology.

資料 SUP-3 : pARTners, Arts & Business Council Inc.のマッチングの事例

—News Letter より—

BVA MATCHES

Many matches have taken place since the last issue of *pARTners*, so many in fact that we can't report on all of them now. Here are some highlights, and we'll catch up in our next issue.

Linda Kastan, Vice President at Chemical Bank, and Norma Morris, owner of Norma Morris Design Products, are working with Circle Repertory Theater to help create and execute their Annual Gala. □ Susan Goodman, a marketing and management consultant, Bena Green, Staff VP and Editorial Director for ICSC, and Judith Ventur-Murphy, Assistant VP at Smith Barney, are working with the School of American Ballet to develop a profile of their current ALLEGRO advertisers and use this information to create an overall marketing strategy. □ Vivian Mamelak, Sr. Investment Officer at Chemical Bank, is working with Materials for the Arts to review their mission in this economic climate, look at potential commercial partnerships and determine strategies for increasing earned income. □ Junior Cho, Consultant at Andersen Consulting, Lily Moy, Analyst at Chemical Bank, and Walter Kiechel, Editor for Business Development at Time Inc., are working with Creative Time Inc. to analyze their current planning efforts and develop strategies for organizational structure and management. □ Rhonda Kruman, Vice President at Chemical Bank and Stacy Ostrow, Manager at Lehman Brothers are working with TADA! to review their printed materials and develop a marketing plan.

**Arts & Business Council Inc.
25 W. 45th St., Suite 707
New York, NY 10036
212/819-9287
212/819-9278 (FAX)**

Nancy Meier
Executive Director
Gary Steuer
Director of New York Programs
pARTners Editor
Leah Krauss
Manager, BVA/New York
Wai Look
Program Associate

資料 SUP-4 : Volunteer Lawyers for the Arts の概要

-AERA 1996.1.1 号より-

法律家の文化支援

弁護士が守る芸術家

アーティストという、法律にはうとい人が多い。
そんな彼らを、何かと支援してくれる弁護士がいる。

「かつて、頼る先もなかったころはどんなにか『VLA』の世話になったことか」
一九九三、九四年と、二年連続トニー賞の最優秀演劇賞を獲得した戯曲家のトニー・クシュナーは『VLA二十五周年記念冊子』の中でそう語っている。
VLAとは「ボランティア・ロイヤーズ・フォー・ジ・アーツ」の略称。年収の低い芸術家や弱小芸術団体のために、無料の法律相談を行う非営利団体である。
六九年にニューヨークのアート

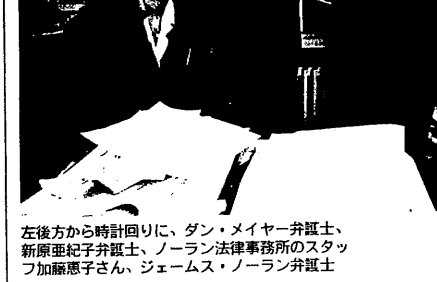
好きな弁護士数名がつくった。今では公・民の寄付金に支えられて、常勤のスタッフが七人。
「簡単な問い合わせまで含めれば、年間八千件もの芸術にかかわる法律相談に対応しています」と、VLAの主宰、ダン・メイヤー弁護士(三三)。
「マネジャーになってやると申し出を受けたのだが、契約内容をチェックしてほしい」といったミュージシャンからの相談が多い。そのほか、「無断で意匠を使われてしまったので告訴したい」
「免税措置を受けられるダンスカンパニーとして届け出るには？」など、用件が複雑になれば、ボランティア・リストの中から引き受け弁護士を探して仲介をする。「年間四百人の弁護士が、無償で、芸術家たちの代理人や案件を引き受けてくれています」と、メイヤーさん。

「無許可」で逮捕十回

画家のロバート・レダーマンさんとVLAとの付き合いは、かれこれ十年以上になる。
レダーマンさんは、マンハッタンの街頭で絵を描き、それを街頭で売って生計を立てている。この行為が「無許可の露天商」として、逮捕されること十回。
「街頭を高級イメージに保ちたいからと、ドナルド・トランプのよう

好きの弁護士数名がつくった。今では公・民の寄付金に支えられて、常勤のスタッフが七人。
「簡単な問い合わせまで含めれば、年間八千件もの芸術にかかわる法律相談に対応しています」と、VLAの主宰、ダン・メイヤー弁護士(三三)。
「マネジャーになってやると申し出を受けたのだが、契約内容をチェックしてほしい」といったミュージシャンからの相談が多い。そのほか、「無断で意匠を使われてしまったので告訴したい」
「免税措置を受けられるダンスカンパニーとして届け出るには？」など、用件が複雑になれば、ボランティア・リストの中から引き受け弁護士を探して仲介をする。「年間四百人の弁護士が、無償で、芸術家たちの代理人や案件を引き受けてくれています」と、メイヤーさん。

政に圧力をかけるせいなんです」とレダーマンさん。
「一日に二十人以上のアーティストが逮捕されることもあるが、VLAはひとりひとりにボランティア弁護士をあてがってくれます」とVLAの見解では、街頭での絵の販売は無許可でも「合法」だ。
「表現の自由」の範疇とみなされており、露天商の許可申請が不要だからだ。つまり、「モノの画集は合法的に路上販売ができるのに、モノ自身が自分の絵を売れば逮捕されるのか？」



左後方から時計回りに、ダン・メイヤー弁護士、新原亜紀子弁護士、ノーラン法律事務所のスタッフ加藤恵子さん、ジェームス・ノーラン弁護士

こういって、レダーマンさんの案件を四カ月にわたって担当したボランティア弁護士は、逮捕と作品没収の不当さを訴えた。
日本人芸術家も支援
「弁護士を雇うカネのない人間はみんな刑務所行き、なんて社会でいいわけがないでしょう？」と、メイヤーさんは言う。
「弁護士を雇えない芸術家にも芸術家として生きる権利を与える。VLAは、そういう民主主義理念に支えられているんです」
九四年、VLAは、「在米日本

人芸術家のための法律相談サービス」をスタートさせた。
これは、五年前に始まった「ヒスパニック・プロジェクト」(電話相談や著作権法のレクチャーなどすべてをスペイン語で行う一連の活動)の成功を受けたもので、いわば「非・英語サービス」第二弾。日系企業を多くクライアントに持つノーラン法律事務所の協力のもとに実現した。
同事務所に勤める新原亜紀子弁護士(三三)は、この新体制に欠かさない、バイリンガル・ボランティアのひとりである。
「日本人芸術家からかかってくる月十数件の電話相談は、すべて私どもの事務所に転送される仕組みになっています」
ニューヨーク州とマサチューセッツ州の弁護士資格を取得して一年そこそこの「新米ロイヤール」の彼女にとって、VLAは、「多岐の分野での法律を学ぶことができるし、クライアントの話を聞くだけでも貴重な経験です」
九六年一月にジェームス・ノーラン弁護士(三三)は、東京で小さなフォーラムを催す予定だ。米国で活動したいと考えている日本人アーティストに、VLAの存在を知ってもらおうという趣旨だ。
「ゆくゆくは、日本国内でも同じような活動が組織されてほしい。そのきっかけになれば……」

芸術文化事業研究者
塩谷陽子(ニューヨーク)

資料 SUP-5 : VLA における弁護士無料マッチングの事例

VOLUNTEER LAWYERS FOR THE ARTS

July 1, 1995

For more information or to take a case: please call Kevin Friedmann, Pro Bono Coordinator, (212) 319-2787 ext. 24. Priority matters are marked with an asterisk.

CONTRACTS

MUSIC (2785)

1. Client is a member of an instrumental folk group that has independently produced two CD's. Client wishes to enter into a distribution agreement with a record company. Client seeks an attorney to draft and negotiate the agreement on his behalf.

MUSIC (2840)

2. Client is a singer who has been offered a personal management contract and a recording contract by a music production company. Client seeks an attorney to review and negotiate the contracts on his behalf.

MUSIC (2826)

3. Client is an R&B singer and songwriter who has been offered a personal management contract. Client seeks the assistance of an attorney to review and negotiate the contract on her behalf.

MUSIC (2839)

4. Client is a singer/songwriter/musician who was offered a music production deal by a record company. Client drafted a production contract and seeks an attorney to review and negotiate it on his behalf.

MUSIC (2860)

5. Client is a rap musician in a three-member group that has been offered a music production contract and a co-publishing contract. Client seeks an attorney to review and negotiate the contracts on his behalf.

FILM/MUSIC (2863)

6. Client is a musician who was offered a contract by a film production company interested in using one of his songs in a film. Client seeks an attorney to review and negotiate the contract on his behalf.

ACTRESS (2870)

7. Client is a young actress who has been offered a personal management. Client seeks an attorney to review and negotiate the contract on her behalf.

MUSIC (2871)

8. Client is a rhythm and blues singer who has been offered a personal management contract. Client seeks an attorney to review and negotiate the contract on her behalf.

VISUAL ARTIST (2874)

9. Client is a visual artist who has been offered a license agreement to sell five of his designs to a greeting card company. Client seeks an attorney to review and negotiate the contract on his behalf.

NOT-FOR-PROFIT INCORPORATION & TAX-EXEMPTION

ARTS/SCIENCE ORGANIZATION (2735)

16. Client is a not-for-profit corporation dedicated to fostering interaction and collaboration among artists, scientists and engineers. Client seeks the assistance of an attorney in applying for tax exempt status.

CULTURAL ORGANIZATION (6421)

17. Client is a not-for-profit corporation/cultural association that seeks the assistance of an attorney to change its tax exempt status from 501(c)(7) to 501(c)(3).

FINE ART (2865)

18. Client is an organization which maintains an exhibition space and holds shows featuring the work of emerging artists. Client seeks an attorney to assist it in incorporating as a not-for-profit corporation and in applying for tax-exempt status.

資料 SUP-6 : CITIBANK における従業員向け入場料割引一覧

—CITIBANK 従業員手引きからの抜粋—

Employee Activities — 3

Philadelphia Zoo

(215) 243-1100
34th & Girard Ave., Philadelphia, PA
A limited number of free tickets will be available to employees this spring; notice will appear in *Items*.

Wave Hill

(212) 549-3200
675 West 252nd St., Bronx, NY
Free admission on weekends for employees and family.

THEATERS

American Place Theatre

(212) 840-3074
111 West 46th St., New York, NY
Discounts up to 30% for employees and one guest; call for information.

Circle Repertory Theatre

(212) 691-3210
99 7th Ave. South, New York, NY
10% discount on tickets and subscriptions for employees and guests.

George Street Playhouse

(908) 246-7717
9 Livingston Ave., New Brunswick, NJ
10% discount for employees and one guest for all George Street theatre productions.

INTAR Hispanic Theater

(212) 695-6134
420 West 42nd St., New York, NY
Productions at various theaters; 50% discount for employees and guests.

Manhattan Theatre Club

(212) 645-5848
Performances at City Center
131 West 55th St., New York, NY
10% discount for employees and one guest on single tickets and 10% on subscriptions; per availability. Must order tickets by phone at least 48 hours in advance.

McCarter Theatre

(609) 683-8000
91 University Place, Princeton, NJ
20% discount for employees and one guest on single tickets for drama series.

National Actors Theatre

Performances at the Lyceum Theatre
45th Street and Broadway, New York, NY
Discounts on selected productions. Notices will appear in *Items*.

National Corporate Theatre Fund

(212) 393-6252
22 Cortlandt St., New York, NY
20-40% discount on selected Broadway and off Broadway shows; vouchers required; call (212) 310-7768 for vouchers; for performance information call (212) 393-6252; subject to availability.

New Jersey Shakespeare Festival

(201) 408-5600
Drew University, Route 24, Madison, NJ
10% discount for employees only on single tickets.

New York Shakespeare Festival

(212) 598-7100
425 Lafayette St., New York, NY
30% discount on most productions.

Playwrights Horizons

(212) 279-4200
416 West 42nd St., New York, NY
30% discount for employees, 15% discount for guests; parking discount (coupon at box office); discount at local restaurants (call box office for info and coupons); 15% off season subscription.

Pregones Touring Puerto Rican Theatre

(718) 585-1202
295 St. Ann's Ave., Bronx, NY
50% discount for employees only.

Puerto Rican Traveling Theatre Company

(212) 354-1293
304 West 47th St., New York, NY
\$3 discount for employees and guests; call in advance.

Roundabout Theatre Company

(212) 869-8400
1530 Broadway, New York, NY
\$10 discount for employees and guests on single tickets and \$15 off subscriptions;
Candida from 3/3-4/25; call for information.

Second Stage Theatre

(212) 787-8302
2162 Broadway, New York, NY
\$5 discount for employees and guests.

資料 SUP-7 : Association for Volunteer Administration

—Membership Brochure より—



ASSOCIATION FOR
VOLUNTEER ADMINISTRATION

WHAT IS AVA?

The Association for Volunteer Administration (AVA) is the professional membership organization for individuals working in the field of volunteer management who want to shape the future of volunteerism, develop their professional skills, and further their careers. Membership is open to salaried and nonsalaried professionals in public, nonprofit, and for-profit organizations.

WHY JOIN AVA?

Membership in AVA will give you skills to help you be a successful volunteer administrator, will save you money on valuable products and services, and will unite you with others around the world.

WHO SHOULD JOIN AVA?

AVA's international membership is made up of directors of volunteers, volunteer coordinators, program administrators, agency executives, educators, community resource managers, researchers, consultants, trainers, students, fundraising executives, church and synagogue volunteer coordinators, for-profit volunteer managers, and authors who enjoy the support of like-minded professionals who share common concerns while broadening their professional base of knowledge through AVA workshops, conferences, and programs.

MEMBERSHIP BENEFITS

Professional publications with valuable information include:

- ❖ *The Journal of Volunteer Administration*, featuring articles on practical concerns, philosophical issues and research in the field
- ❖ UPDATE, a bi-monthly newsletter with articles that share information and discuss timely issues
- ❖ One copy each of the state-of-the art *Statement of Professional Ethics in Volunteer Administration* and the very popular *Portrait of a Profession*
- ❖ Discount on becoming Certified in Volunteer Administration (CVA). See reverse for additional information on certification
- ❖ 20% discount on The International Conference on Volunteer Administration (ICVA) — 1996 in Calgary, Alberta, Canada, October 16-19
- ❖ Local and national leadership opportunities
- ❖ Opportunities to work on larger issues — issues that affect your professional life
- ❖ A linkage with local, regional, national and international colleagues and practitioners
- ❖ Opportunities to enhance your visibility and credibility as a professional and leader in the field of volunteer administration

II. The SYMPHONY SPACE

廃ビルになっていた映画館を民間デベロッパーが再開発しようとしたことをきっかけに、地域住民が取り壊しの反対運動を起こし、ビルの救済と文化施設としての再利用を訴え、地域住民のボランティアによって劇場に生まれ変わった施設。設立後 20 年が経過した現在では、NPO としての運営が軌道に乗っているが、メンバーシップの勧誘活動を中心に、約 100 名のボランティアが登録され、活動を行っている。

📄 施設・運営の概要

運営母体	The Symphony Space
所在地	2357 Broadway (at 95 th Street), New York, NY 10025
TEL	212-864-1414
FAX	212-932-3228
開館年月	1978 年
複合形態	単独館
施設特性	音楽、演劇、ダンス等
座席数	820
年間運営予算	年間約 2.2 億円 (200 万 US\$)
自主事業数	年間約 200 本
立地都市人口	731 万人(1992 年)
組織体制	有給スタッフ数



😊 ボランティア制度の概要

名称	—
導入時期	・1978年（劇場の設立そのものがボランティアによって行われた）
登録人数	・約100名（うち25～30名が積極的に活動）
導入の経緯	・観客にこやかに接し、メンバーシップの勧誘や、チラシ、公演カレンダーの配布等を行い、シンフォニー・スペースの顔としての役割を担ってもらう。
活動内容	・カウンター業務（友の会メンバー勧誘業務）、ダイレクトメールの発送業務。
募集方法	・ボランティアメンバーによる勧誘（メンバーシップ勧誘用紙にボランティア参加希望の記入欄がある）、プッシュホン電話の問い合わせで参加者名・連絡先を自動録音。
研修	・（誰にでもできる業務なので）特に行っていない。
特典・実費支給	・DM ボランティアは勤務時間が10時間になるとメンバー資格（チケットが2割～半額割引になる）が与えられる。 ・映画会のボランティアは映画が無料で鑑賞できる。
その他	・ボランティア歴5年のボランティアがコーディネーターを務め、スケジュール調整等を行っている。 ・ボランティア参加の動機としては、報酬や役得よりも「This is ours!」、すなわち「この劇場は私たちのものだ」という強い意識に支えられている。

📖 インタビュー記録 📖

- 訪問先：The SYMPHONY SPACE
- 住所：2537 Broadway (at 95th Street), New York, NY 10025
- 電話：212-864-1414 FAX: 212-932-3228
- 面会者1：Ms. Marnie Corbett…Membership & Special Event Manager（会員の募集管理と資金集めのためのガラや特別イベントの担当）
- 面会者2：Ms. Riva Peskoe …ボランティア・スタッフ。ボランティア・コーディネーターを務める。

1. 事業主体の概要

(1) 設立年、予算、施設、組織等の規模

- 設立：1978年
- 年間運営予算：200万 US\$（約2.2億円：1US\$=¥110として換算、以下同様）
- 席数：1階のオーケストラ席が約700席。これを回廊状にとりまく二階席と合わせて合計820席。
- 有給スタッフ数：約30名（技術、パートタイム等すべて含む）

(2) 定期公演・演目、アウトリーチ活動

① 自主企画

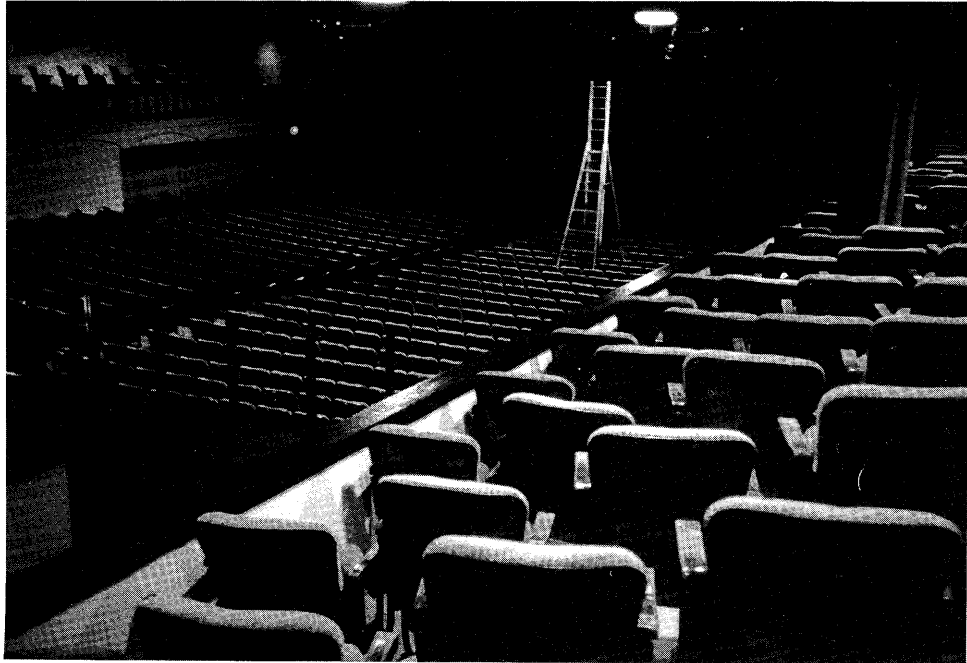
- 自主企画数は年間約200公演。多様なプログラム構成。特に近年はアフロ・アメリカンおよびラティノ・アメリカンのパフォーマンス・グループの出し物が増える傾向にある。主なプログラム内容は次のとおり。
 - 『Wall to Wall』…様々なジャンルの作曲家（現代音楽、民俗音楽、ゴスペル、etc.）の作品を集めた24時間マラソン音楽コンサート。
 - 『Selected Shorts』…有名な俳優による朗読小劇シリーズ
 - 『Face the Music and Dance』…実験的&新進のパフォーマーやミュージシャンによる音楽とダンスのシリーズ。クラシック音楽、現代音楽、民俗音楽、ポップス、コメディ、モダン・ダンス、パフォーマンス等々、幅広いジャンルを網羅する。中でも民俗的なプログラムの多様さには特徴があり、アフリカ系やラテン系にとどまらず、ラティノ・アフリカ系、アメリカン・インディアン系、中央アジア・インディアン系の出し物なども含む。
 - 『Tuesday Night Repertory Film Series』…話題の新旧の映画会シリーズ。
 - 公立の小・中・高等学校向きプログラム公演。

② レンタル公演

- その他、レンタル公演が年間約140公演。

③ ボランティア以外のコミュニティ巻き込み活動（アウトリーチ）

- 『ストリート・フェア』への参加：ブロードウェイを開放して行われるフェア（通りが歩行者天国になり、左右に屋台が道路に立ち並ぶ半日フェア）



● Symphony Space の劇場内部

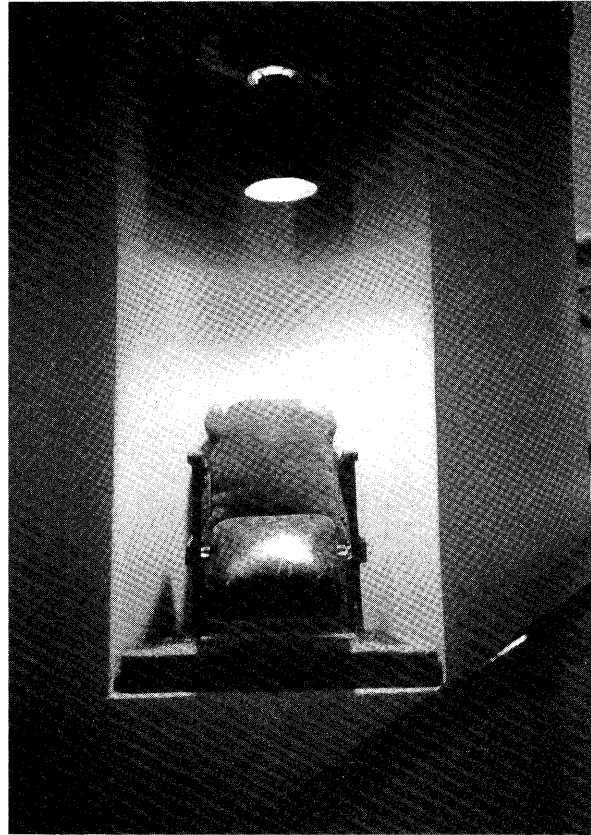
にブースを出店し、パンフレットを配ったりメンバーを募ったりする。

(3) ロケーション

- ・マンハッタンのアッパー・ウェストサイドと呼ばれる地域の北端に位置する。劇場の面しているブロードウェイはレストランやショップの立ち並ぶ商業通りだが、地域一帯としては古いアパート・ビルの多い住宅地区。
- ・マンハッタンの他の地域と比べて特徴的なのは、ミュージシャン、俳優などパフォーミング・アーツ系の自由業の人が比較的好んで住む他域であること。家族持ちの住民が多いこと。さらに、数十年間同じアパートに住み続けているかなり高齢の住民（主に白人層）の数が多きこと。
- ・ハーレムと呼ばれる地域は、ここからすぐ数ブロック北へのぼったあたりから始まるため、当シアターは黒人地区と白人地区のジャンクシヨンの位置にあると言える。また、劇場からセントラル・パークにかけての東方向のブロックは、エル・バリオと呼ばれるヒスパニック系住民の多い地区でもある。

(4) 客層

- ・年間集客数は、約10万人。
- ・地域がらを反映して人種的・民族的に多様な構成。この傾向は近年ますます顕著になっている。全体の35%以上がマイノリティー民族。
- ・近隣住民が全観客数の中で占める割合は約半数。残りは「トライ・ステート・エリア」と呼ばれるニューヨーク市近郊の3州（ニューヨーク州＋ニュージャージー州＋コネチカット州）からの観客が占める。



● 劇場の片隅にディスプレイされた客席のミニチュア・モデル（リニューアル前の椅子の素材とデザインで作られている）

(5) 発足の背景

- 60年代～70年代のジェントリフィケーション（地域浄化）の流れの中、民間ディベロッパーが廃ビルになっていた映画館『シンフォニー・シアター』を取り壊そうと計画。この建物が1915年に立てられた長い歴史を持つ建物であることから、地域の住民が取り壊し反対の運動を起し、「ビルの救済と文化としての再利用」を訴えた。土地と建物の権利と使用権の譲渡の経過については「あまりにこみいっていて簡単には説明のしようがない」（スタッフ談）とのこと。

*注：「納税義務免除の非営利法人」に対して不動産を譲渡する、或いは無料または超低価格で貸与した場合、権利者側は減税を含む様々な恩恵を被ることができる場合が多い。この劇場の場合も、市が間に入って、土地と建物の権利者に対して税金上の恩恵措置をとることによって話をとりまとめたと考えるのが常識的であろう。

- 発足から数年間のスタッフ構成は、「二名の設立者（無給）＋近隣住民のボランティア」。すなわち、有給のスタッフは存在していなかったという意味において、「ボランティアによって設立されボランティアによって運営されていた」と言っている。
- 現在の芸術監督（Artistic Director）は上記設立者のひとり。大学で演劇を教

えたり、フィルム制作に携わったりということで生活を支えながらシンフォニー・スペースでのボランティア活動を確保した。

- 劇場として立ちあげるための施設の改修工事費も、ボランティアたちによる資金調達活動でまかなわれた。調達の方法は、通常の助成金申請や寄付金の嘆願のほかに、出演者にノーギャラで出演をお願いして入場料を工事費にまわすという方法、または、パフォーマンスの終わるたびに、シルクハットを持って客席をまわり現金を投げ入れてもらうという方法などがとられた。
- 昨シーズンには10万ドルをかけた改修工事が終了し、マーキー（表通りに張り出した庇：Marquee）、ロビー、手洗い等が立派になったところ。現在はクッションのきかなくなった客席を総取り替えすべく新たな資金調達キャンペーンを計画中。

2. ボランティア・プログラムについて

(1) 役務の種類

① カウンター業務ボランティア（友の会メンバー勧誘業務）

- オーケストラ席の客席の後ろに設置されたカウンター（チラシ&パンフレット・コーナー+ギフトショップの機能を果たす）の中に立って、公演開始前&インターミッション時に、観客に“にこやかに接する”のが業務。
- 具体的には、小さなカードを手渡して名前や住所を記入してもらうよう勧める仕事が一番重要。記入してもらったカードは翌日オフィスに回され、コンピューターにインプットされ、メーリング・リストに加えられる [資料SS-1参照]。



● 客席後部に設けられたメンバーシップ勧誘のカウンター

■ The SYMPHONY SPACE

- ・特に「レンタル公演」の時には、「シンフォニースペース側の顔」としてのこのボランティアを配置しておく意味合いが大切になる（公演カンパニー自身が自分たちのチラシや寄付募集要項をカウンターに並べるので、シンフォニースペースとしては単なる「貸し小屋」的イメージに成り下がることを避けるためにも、観客に対して独自に「劇場側のアイデンティティ」を強調しておく必要がある）。
- ・ボランティア・スタッフは、チラシを手渡したりプログラム・スケジュールを説明したりといった“接客”はするが、ギフト・アイテムを販売するといった「カネを扱う業務」には携わらない。
- ・必要なカウンター・ボランティアは、一晩につき1名～2名。
- ・業務時間は、公演開始の30分前からインターミッション終了時まで。ただし、ほとんどのカウンター・ボランティアは公演終了時まで残って、「無料観賞」の役得を楽しむ。

② ボランティア・コーディネーター（Ms. Riva Peskoe ひとりで対応）

- ・「何月何日のカウンター業務を担当するボランティアはだれそれ」というコーディネートを行う。ボランティア名簿に載っている人々に電話をして、可能な日を調整する。
- ・電話代の関係上、ボランティアはシンフォニー・スペースへ出掛けて行き、オフィスの電話を使用する。業務時間はボランティアの自由。

③ ダイレクトメール・ボランティア

- ・チラシ、イベント・カレンダー [資料 SS-2参照]、月刊ニュースレター [資料 SS-3参照]等の封筒詰めと、メーリングのラベル貼り業務。
- ・毎月一回、平日のオフィス営業時間中に、2～3人のボランティアを集めて行う。
- ・有給スタッフの職務の肩代わりとなるようなレベルの仕事には、携わらない。

④ スペシャル・イベント・ボランティア

- ・資金調達のためのファンド・レイジング・パーティー用のボランティア。不定期。年に数回。
- ・パーティーの受け付け、コート・チェック（クローク）、会場案内、食べ物や飲み物の給仕、招待客（著名パフォーマーなど）の接待係りなどの分担業務がある。

(2) ボランティアの人数

- ・ボランティア名簿に載っている人員の数は優に100人以上。この中で非常に積極的（定期的）に参加しているのは25人～30人。

(3) 募集と教育

① 募集の方法

- ・上述の「小さなカード」には、「Yes! I want to be a member」と書かれた欄にチェックをするコーナーと、「Yes! I want to volunteer」と書かれた欄

にチェックをするコーナーがある [資料 SS-1参照]。

- 「ボランティアをしたい」というコーナーにチェックをした人には、ボランティア・コーディネーターが電話をかけて、「どんなボランティアがしたいのか」「いつ、どれくらいの頻度での参加が可能か」などを聞き出す。
- ボックスオフィスのインフォメーションの電話はプッシュホン・ダイアルの選択式になっている。「本日の催し案内」「今月の催し案内」「シンフォニー・スペースへの交通手段」などの選択肢と共に、「ボランティアの参加希望者は、『7』を押してください」という選択肢がある。これを選択すると、「ボランティアへの参加を希望していただき、ありがとうございます。あなたのお名前と電話番号を発信音の後に残してください。ボランティア・コーディネーターの Riva Peskoe が後ほどお電話をいたします」というメッセージが流れる。
- 特に映画会の日のカウンター・ボランティアの場合、その映画が無料で観たいという理由から、「何月何日にカウンター業務ボランティアがしたい」という旨の電話が、直接オフィスにかかってくることも多い。
- スペシャル・イベント・ボランティアについては、ボランティア・コーディネーターがボランティア・リストにある面々に電話をして集める。

② 教育の方法

- マニュアルのいるような複雑な内容ではなく誰にでもできる業務なので、特に教育システムと呼べるようなものや教材（マニュアル）などはなにもない。
- シンフォニー・スペースを愛して参加している人ばかりなので、トラブルの心配は特にしていないし、またこれまで特に問題が起こったこともない。

(4) ボランティアへの報酬

- ダイレクトメール・ボランティアには、勤務時間が10時間に達した時点で、「メンバー」の資格を与える。メンバーになるとチケットが2割～半額割り引き購入ができる（正規のメンバーシップ代は最低45ドルから）[資料 SS-4参照]。
- 時々小さなお茶会を催してボランティアを招待。感謝の意を表すため。お茶会にパフォーマーを招いて、ボランティアたちがパフォーマーとじかに接する機会を設けるようにすることもある。

(5) ボランティア・スタッフのプロフィール

- カウンター業務ボランティアの場合は多様で、「パフォーミング・アーツに興味がある人」という以外には、特筆すべき傾向はない。ただし、事務補佐ボランティアに比べると年齢層は若い。
- ボランティア・コーディネーターの Riva Peskoe さんは、もと広告マーケティング関係の会社に勤務しており、現在はリタイアして、ひとり暮らし。成人した娘がサンフランシスコに住む。
- ボランティア・コーディネーターを始めて5年になる。リアイアしたら文化施設でボランティアをしようと以前から決めていた。中でもシンフォニ

ー・スペースは以前からの常連であり、地理的にも数ブロックのところに住んでいるため、理想的なボランティア対象だったとのこと。

- ダイレクトメール・ボランティアは平日の昼間の時間を使うため、自然と参加者のほとんどがリタイアした高齢者になる。

(6) ボランティア参加の動機

- 「This is ours!」という気持ち。即ち「この劇場は自分たちのものなんだ」という強い意識。報酬や役得よりも、とにかくこの意識がボランティア参加の一番の動機とのこと。
- 映画会のカウンター・ボランティアの場合は、特に催しが無料で観られるという役得が魅力。
- パフォーマー、アーティストと直接知り合える（言葉を交わせる）機会があることも動機のひとつ。

3. 問題点・将来構想

(1) スタッフ談：

- オフィス内の事務アシスタント要員としてレギュラー・ベースかつ長期的なボランティア・スタッフが欲しい。目的は予算不足と人手不足の緩和のため。
- そのためには、ある程度マニュアル化された業務説明書やオリエンテーションを準備する必要があるが、現時点ではそれらを計画するだけの時間的、財政的余裕がまったくない。従って現実味は薄い。
- また、「事務アシスタント」というある程度責任ある仕事を任せるとなると、今のように「協力してくれる人なら誰でも歓迎」というわけにはいなくなる。それを管理・コントロールするだけの有給スタッフの体制がとれない。

(2) Riva Peskoe さん（ボランティア・コーディネーター）談：

- 自分の今のボランティアの仕事にもかなり責任が伴うが、時間的な拘束なくやっていけるのでいい。
- 一方「事務アシスタント」という仕事はやはり“定期的”にオフィスに通う必要があるので、時間的な拘束感が強く、そうなると自分が「ボランティア」という言葉の中で定義している業務とは違うものになる。自分のように考えない人も多くいるとは思いますが、やはり基本的には自分の自由意志で行動できる範囲での仕事が「ボランティア」というものではないか。

—以上—

資料 SS-1 : メーリング・リスト記入用紙

SYMPHONY SPACE

2537 Broadway @ 95th Street/ NYC/10025

212
864
5400

To receive information on upcoming events at Symphony Space, clearly print your name and address in the space provided below.

First Name **Last Name**

Address **Apt/Suite**

City **State** **Zip**

Day Phone **Evening Phone**

YES! I want to be a member **YES!** I want to volunteer

I am especially interested in (choose as many as apply):

3. Classical Music 8. Jazz 7. Dance
 6. Children's Shows 4. Theatre 5. Literary Events
 0. Film 9. Other _____

Program Attended _____ **Date** _____

*会員やボランティアへの参加希望も聞けるようなしくみになっている。

資料 SS-2 : イベント・カレンダー



The Piano

All Evenings \$8
Seniors \$7
Members only \$4!
call 212.864.5400

OUR FILMS ARE BRIGHTER
THAN EVER WITH NEW
PROJECTION LAMPS!

THE BEST
FILMS OF
OUR LIVES
Part III



Tuesdays, Sept 10 - Dec 3, 1996

A slightly REVISIONIST, selectively QUIRKY, sometimes OBVIOUS, often PROVOCATIVE, always ENTERTAINING CELEBRATION OF 100 YEARS OF FILM

SEPT 10

7 PM: CHARLIE CHAPLIN, BUSTER KEATON, FATTY ARBUCKLE, et al.

Silent shorts by some of the great slapstick comics of the 1920s—moon-faced and big-bottomed Fatty Arbuckle, the sprightly yet sad comic genius, Charlie Chaplin, and the delightfully deadpan Buster Keaton.

Live piano accompaniment by Stuart Odeman.

SEPT 17

7 PM: MERRY CHRISTMAS, MR. LAWRENCE

1983. Japan, Britain. Nagisa Oshima. 124 min. Color. David Bowie, Tom Conti, Ryuichi Sakamoto, Japanese POVV camp. Java, 1942: a Japanese commander and a British major in a strange battle of wills. Haunting drama; beautiful score by Sakamoto. Oshima's first film in English.

Fatty Arbuckle



9:15 PM: FIRES ON THE PLAIN
1959. Japan. Kon Ichikawa. 105 min. B&V. Japanese. Eiji Funakoshi, Osamu Takizawa, Micky Curtis. As WWII ends, a band of soldiers battle for survival in the steaming Philippine jungle. Emotionally piercing, shockingly graphic.

SEPT 24

7 PM: TWO FORTHE ROAD
1967. USA, Britain. Stanley Donen. 112min. Cinemascope. Audrey Hepburn, Albert Finney, Eleanor Bron, William Daniels, Jacqueline Bisset. Motoring in France, a bickering couple recall the ups and downs of their 12-year marriage. A winning bittersweet comedy.

9:15PM: VOYAGE TO ITALY

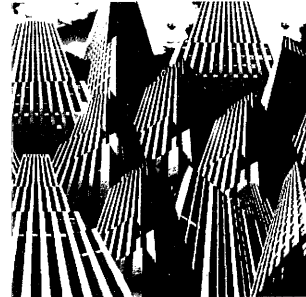
1953. Italy. Roberto Rossellini. 100 min. B&V. English. New 16mm print. Ingrid Bergman, George Sanders. On a sunny drive to Naples, a couple confront their icy relationship. "...opens a breach that the entire cinema must pass through..."—Jacques Rivette, *Cahiers du Cinema*. Introduced by Gil Rossellini.

OCT 1

7 PM: UN CHANT D'AMOUR
1950. France. Jean Genet. 26 min. B&V. Silent. Study of homosexuality in prison; the only film of the '50s deemed obscene by the U.S. Supreme Court. Provocative, mesmerizing.

7:35 PM: SCORPIO RISING

1963. USA. Kenneth Anger. 37 min. Color. Bruce Byron, Johnny Sapienza. Classic American "underground" cinema; an amusing surreal mirror of gay iconography, glitz, culture, sex & violence. Winner of numerous awards. Music by The Angels, Elvis, Ray Charles, and other R&R heroes.



Skyscrapers by Thurman Rotan, Keith de Lellis, NY, NYNY: City of Ambition, Whitney Museum of American Art

AND MORE
LITERATURE...

Literary Enthusiasts Save the Date!
Mon, June 16
BLOOMSDAY ON
BROADWAY Re-Joyce at our
16th Annual Ulysses Extravaganza

13TH YEAR OF STORIES
READ BY NEW YORK'S
FINEST ACTORS

10 Wednesdays: Jan 29, Feb 12 & 26, March 12 & 26, Apr 9 & 23, May 7 & 21 & Jun 4.

Programs start at 6:30PM unless noted.

Season Highlights

Feb 12
LOVE STORIES FROM
THE NEW YORKER,
hosted by Roger Angell

Feb 26
HOST: JAMAICA KINCAID

Mar 26 at 7PM
HOST: ROBERT MacNEIL

Apr 23 at 7PM
HOST: PAUL AUSTER

Tickets: \$16/MEMBERS \$11
Available to Members only:
8-Program Subscription: \$80
Best available seats at lowest prices!
(Does not include Mar 26 & Apr 23)

6TIX: \$75 6 admissions to your
choice of programs for only
\$12.50 a ticket



Photo: Eduardo Patino

JUST KIDDING!
Performing
Arts for Kids
5 & Up

5 Saturdays at 11AM

Dec 7: NATIONAL DANCE
INSTITUTE
Join 60 children from National
Dance Institute, founded by
Jacques d'Amboise, in a joyous
celebration of music and dance.

Jan 11: GILBERT &
SULLIVAN FAMILY
CONCERT with NY
GILBERT & SULLIVAN
PLAYERS

Feb 8: ANCIENT
VIBRATIONS &
M'ZAWA DANZ

Mar 8: WOMEN OF THE
CALABASH

April 12: TOM CHAPIN

Tickets: Children \$3/Adults \$6
FREE admission for children
of MEMBERS of Symphony
Space and CMOM

Cherry Jones

LIVE ON STAGE! See the award-winning National Public Radio show heard throughout the metro area on WNYC 93.9FM & 820AM.

Selected Shorts is made possible, in part, by support from the Arthur Foundation; the Axe-Houghton Foundation; the Heathcote Art Foundation; the Henry Nias Foundation, Inc.; the New York State Council on the Arts; and the National Endowment for the Arts.

Directed by Isaiah Sheffer;
produced by Katherine Minton.

資料 SS-3 : 月刊ニュースレター

SYMPHONY SPACE NEWS

fall 1996

VICTORY IN ALBANY AND A CHALLENGE FROM WASHINGTON Two Historic Decisions Ensure Symphony Space's Future

BY ISAIAH SHEFFER

Late spring of 1996 saw not one, but two major new developments that each give a tremendous boost to the life, health and future of Symphony Space. On June 13th, New York State's highest court, the Court of Appeals in Albany, issued a unanimous judgment in favor of Symphony Space finally ending the 11 year litigation over rival real estate claims to our building. And a couple of months earlier it was announced that Symphony Space would be the recipient of a prestigious Challenge Grant from the National Endowment for the Arts.

The important court decision, which made the front page of the *New York Law Journal*, declared null and void a disputed option agreement under which our adversaries had sought to dislodge us from our ownership of the theatre building, and reaffirmed the intent of the New York State Legislature in holding invalid very long-term options of this kind. What the decision means for Symphony Space is that any lingering threat to our permanent ownership of the theatre is now gone once and for all.

In fact, we were so confident that we would win the court case, that we planned for summer renovations that included the complete repainting of the theatre interior, the totally new and expanded restrooms, the new house-lighting, and outdoor street-front, showcases, and marquee.

The Challenge Grant award is remarkable because last year only 24 such grants were issued by a much-reduced National Endowment for the Arts in what may be the last round of Challenge Grants ever awarded. Only two were awarded in the entire state of California, and one in all of Massachusetts; New York had six winners, and Symphony Space was one of them! Ours is for \$200,000, which must be matched three-to-one over a three year period. That means in the next three years we must raise an additional \$600,000, over and above our usual operating budget fundraising, to receive the federal money which cannot be used for annual expenses, but only for long-term endowment and stability. Now you see why they call it a

continued on page 3



Arlane Smolderen

Legendary **Randy Weston** performs compelling rhythms on Nov. 7

FACE THE MUSIC & DANCE FESTIVAL

November is jazz and dance month at Symphony Space, and this year, our innovative *Face the Music & Dance* series includes some of today's most exciting jazz musicians, celebrated blues artists and talented choreographers performing, improvising, creating and premiering innovative collaborations.

Pianist, composer and bandleader Randy Weston and his African Rhythms Quintet open the Festival on Nov. 7 with a breathtaking, richly-textured program of African-American and African rhythms and deep, consolidated grooves. According to *The New York Times*, "Weston may be the most direct descendant of Duke Ellington's spare but emphatic blues sensibility." "To Weston and his disciples," Howard Reich writes in the *Chicago Tribune*, "past, present and future merge gloriously in jazz of the 90's."

Weston's quintet includes jazz greats Talib Kibwe, Benny Powell, Alex Blake

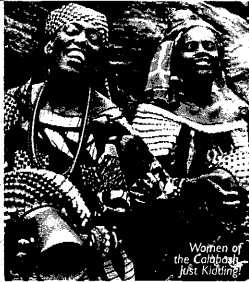
continued on page 3

**NEW
Member
Referral
Reward
Program!**
See page 2 for
more information

資料 SS-4 : メンバー募集用パンフ



- ◆ Ticket discounts of 20% to 50% to more than 150 events.
- ◆ Monthly calendar mailings with the latest program information.
- ◆ Free admission for children to *Just Kidding!* and to the Children's Museum of Manhattan on the day of the performance.
- ◆ Opportunity to purchase two subscriptions to *Selected Shorts*.
- ◆ Priority admission to the *Wall to Wall Leonard Bernstein* free music marathon.
- ◆ Members' newsletters and more!



Become a member and look at the difference you make. Your support helps us

- ◆ Bring our arts-education and literacy programs to more than 4,000 children and adults each year.
- ◆ Present outstanding performances for free or at the lowest possible prices.
- ◆ Assist established and emerging artists in building new audiences.
- ◆ Broadcast *Selected Shorts* on public radio, reaching more than 250,000 people nationwide 52 weeks a year.

SYMPHONY SPACE

Isaiah Sheffer
Artistic Director
Joanne Cossa
Managing Director

BENEFITS SEASON 96-97

STUDENT: \$15 (\$10 tax-deductible)
Benefits for One • Reduced-price admission to designated events • Two free tickets to opening night of *Face the Music & Dance: Jazz, Dance, Collaboration* (subject to availability) • Priority admission to our annual *Wall to Wall* 12-hour music marathon • Bi-annual member newsletter • Monthly calendar of events • Discounts on selected Symphony Space merchandise • Discounts to selected neighborhood restaurants and shops.

FRIEND: \$45 (\$40 tax-deductible)
All of the above plus • Benefits for two • Opportunity to purchase two subscriptions to *Selected Shorts: A Celebration of the Short Story* • Free admission for children to every *Just Kidding!* program and to the Children's Museum of Manhattan on the day of the performance.

CONTRIBUTOR: \$75 (\$70 tax-deductible)
All of the above plus • Benefits for four • Free admission to designated special events and receptions • Beverage stamp - entitles member to one free drink at every program where refreshments are sold.

SYMPHONY SPACE

Yes!
I WANT
TO BE A
MEMBER!

I am joining at the level checked below.

\$1,000 Star
 \$500 Leading Player
 \$250 Patron
 \$100 Sponsor
 \$75 Contributor
 \$45 Friend
 \$15 Student*

Name _____
 Address _____
 City, State, Zip _____
 Phone _____

Enclosed is my check payable to Symphony Space.
 Charge to: Visa Mastercard AMEX
 Card Number _____
 Name as on card _____
 Expiration Date _____
 Signature _____

My company will match my gift.
 Enclosed is a matching gift form.
 Company Name _____

*Students must submit copy of current student I.D.

To order by phone, call
 212.864.1414
 or you may fax this form
 to 212.932.3228

Send to
SYMPHONY SPACE
 2537 Broadway
 New York, NY
 10025-6947



SPONSOR: \$100 (\$85 tax-deductible)
 All of the above plus • Four free tickets to Tuesday night film of your choice.

PATRON: \$250 (\$235 tax-deductible)
 All of the above plus • Patrons' desk services - our membership office will assist you in making ticket arrangements (subject to availability).

LEADING PLAYER: \$500 (\$485 tax-deductible)
 All of the above plus • A year-long listing in the Symphony Space performance program.

STAR: \$1,000 (\$970 tax-deductible)
 All of the above plus • The newest volume of *Selected Shorts on Audiocassette* and our heartfelt thanks.

Corporate memberships are also available.
 For information, please call 212.864.1414.

Will your company match your gift? Check with your personnel office to see if your company has a matching gift program and mark the appropriate area on the order form.

A copy of the latest annual report may be obtained from Symphony Space or from the Office of Charities Registration, Department of State, 162 Washington Street, Albany, NY 12231.

III. SNUG HARBOUR CULTURAL CENTER

19世紀初頭、海運業で財を成した実業家の遺志によって建てられた船員のためのリタイアメント施設が、民間ディベロッパーに転売されて商業施設として再開発されるという構想に地元住民が反対。長い歴史を残す建物をそのまま活用するため、市の主導で非営利法人「Snug Harbor Cultural Center」が設立され、文化施設として再利用されることとなった。オフィス内の一般事務やギフトショップの販売員、ツアー・コンダクター、もぎり・客席案内など、年間140名のボランティアが活動している。

📄 施設・運営の概要

運営母体	Snug Harbor Cultural Center
所在地	1000 Richmond Terrace, Staten Island, NY 10301
TEL	718-448-2500
FAX	718-442-8534
開館年月	1973年
複合形態	複合館(約34万㎡の敷地に26軒の建物が配置されている)
施設特性	施設ごとに主要用途を特定
座席数	250 (ベテランズ・メモリアル・ホール)
年間運営予算	年間2億8,000万円 (250万US\$)
自主事業数	—
立地都市人口	731万人 (1992年、スタッテン島: 39万人)
組織体制	有給スタッフ数: 約70名



😊 ボランティア制度の概要

名称	—
導入時期	・ (1973年)
登録人数	・ 140名 (内約50名がオフィス内の業務に携わっている)
導入の経緯	—
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ オフィス内: ギフト・ショップ販売員、一般事務アシスタント、DM 発送、電話セールス ・ 一般催し: ツアー・コンダクター、集客イベントの警備・案内 ・ パフォーミング・アーツ関連: もぎり、客席案内、プログラム配布
募集方法	・ 地元新聞、地域情報紙などの印刷媒体への掲載、ローカルのケーブルTV やラジオ局での広告、センターのニュースレターへの掲載、催し物の開催時に配布する印刷物等により募集。
研修	・ 新規ボランティアには年に数回オリエンテーションを開催、個々の詳しいオリエンテーションは各部署の裁量によって開催。
実費支給・特典	・ 半額チケットを2枚進呈、サンキュー・ランチ等への招待、交通費は昼食の支給はなし。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 140名のボランティア組織を管理・運営するため、18名からなる「ボランティア委員会」を設置、任期1年の代表委員によって構成。 ・ ボランティア・コーディネイターは有給スタッフ。 ・ 140人のボランティアがいて初めて運営が成立するため、常に新しいボランティアを採用する努力を続けなければならない。

📖 インタビュー記録 📖

- ・訪問先：SNUG HARBOR CULTURAL CENTER
- ・住所：1000 Richmond Terrace, Staten Island, NY 10301
- ・電話：718-448-2500 FAX: 718.442.8534
- ・面会者1：Ms. Marie Penza…Volunteer Coordinator（有給スタッフ）
- ・面会者2：Ms. Beverly Ziel …ボランティア・スタッフ歴6年

1. 事業主体の概要

(1) 設立年、予算・組織の規模

- ・設立年：1973年
- ・年間運営予算：250万 US\$（約2億8,000万円）
- ・有給スタッフ数：約70名

(3) 施設概要 [資料 SHCC-1 参照]

・全敷地面積は83エーカー（約33万6千平米。日本の広いゴルフ場なみの広さ）。ここに26軒の建物と、植物園、公園などが配置されている。主な施設は以下のとおり。

- 1] ビジターズ・センター：案内所、オフィス、ショップ、ミーティングルームなど
- 2] ニューハウス・センター・フォー・コンテンポラリー・アート：美術ギャラリー館
- 3] ベテランズ・メモリアル・ホール：250席のパフォーミング・アーツ用施設
- 4] ミュージック・ホール：現在改修工事中、1997年秋オープン予定
- 5] メルヴィルズ・カフェ：飲食カフェ館
- 6] グレート・ホール：結婚式その他用のパーティー・レセプション館
- 7] サウス・メドウとガゼボ：芝生の広場と野外コンサート用のあずま屋
- 8] アーティスト・スタジオ：アーティスト・イン・レジデンス用の住居棟
- 9] コテージ群：パフォーミング・アーティストの宿泊施設として、改修を計画中
- 10] チルドレンズ・ミュージアム：スナッグ・ハーバーとは別の独立した非営利団体が運営
- 11] ボタニカル・ガーデン（植物園）：スナッグ・ハーバーとは別の独立した非営利団体が運営

・多くの建物は、19世紀初頭から半ばにかけて建てられた歴史的なもの。Greek・リバイバル様式、ボザール様式、ヴィクトリアン・リバイバル様式など、当時の建築様式をつぶさに伝えているため、敷地一帯は「全米歴史保存区域」に、上記建築物のうち6棟は、「ニューヨーク市歴史保存建築」にそれぞれ指定されている。



● 19世紀初頭から半ばにかけてのデザイン様式が残されている

- ・上記10] や11] の他、全部で20以上の別個の独立した非営利団体が、同敷地内の施設を本拠地として活動している。従って、『スナッグ・ハーバー・カルチュラル・センター』は、自らが活動施設団体であると同時に、これらの非営利団体に対する「大屋」の役割も果たしている。

(3) 年間行事

- ・スタッテン島の中心的文化施設として、はば広いプログラムを催している。特に美術系の催しについては著名作家の展覧会から新人作家の展覧会まで、質の高いことには定評がある。
- ・パフォーミング・アーツ系の催しは、主に「ベテランズ・メモリアル・ホール」で行われる（場合によっては「グレート・ホール」を使用）。250席という施設規模の制約もあって、室内楽、朗読劇、子供向きオペラなど小規模なものが主なプログラム（来年「ミュージック・ホール」の改修工事が終わった後には、著名なダンスカンパニーやある程度の規模の演劇公演などの開催が予定されている）。
- ・7～8月には、「サウス・メドウ」のガゼボを利用して、無料の野外コンサート、民俗音楽祭、ダンス、人形劇、道化芝居や曲芸などの催しが行われる。
- ・その他、主なものとしては1991年から毎年恒例となった秋の「クラフト・フェア」[資料 SHCC-2参照]。全米から50人ほどの工芸作家が自作を持ち寄

り、展示即売会やワークショップを開く。

- 敷地が広く、植物園や100年を経た建物が多く点在することから、「スナッグ・ハーバー散策ツアー」もプログラムの目玉のひとつ。歴史解説などを聞きながら1時間半をかけて敷地内を巡る。毎週末の午後と夕方に2回ずつ、一年中行われる。

(4) ボランティア以外のコミュニティ巻き込みプログラム（アウトリーチ）

- 米国では、軽犯罪を侵した者が、罰金や禁固刑の代わりに「〇〇時間のコミュニティー・サービスをせよ」という判決をもらうことがある。一般にはゴミの収集とかホームレス施設での勤務などがこの「コミュニティー・サービス」にあたるが、スナッグ・ハーバーでのボランティア時間も「コミュニティー・サービス」と見なすことのできる指定施設になっている（ただしこうしたケースは稀）。
- 主に小学校高学年～中学生を対象に、クラフト・フェアの手伝いや物販の手伝いに参加してもらう仕組みを、学校のカリキュラム（年中行事）のひとつとして取り入れてもらうように働き掛けている。すたれつつある米国のボランティア精神を教育する意味あいから。

(5) ロケーション

- マンハッタンの南端からフェリーで約30分。ニューヨーク市の5区のひとつ。
- 他の四つの区（マンハッタン、ブルックリン、ブロンクス、クイーンズ）がビルのひしめく大都会の様相を呈しているのと違い、スタッテン島の街並みはいわゆる“アメリカ的”で、広い庭を持つ一戸建て住宅が立ち並ぶ。他の四区と違い、住民の生活は車無しでは成り立たない。
- ニューヨーク市の他の四つの区は、貧富の差と教育レベルの差が激しく人種の多様な「都会型」の人口構成であるのに対し、スタッテン島には白人の中産階級の家庭が多い。また、ニューヨークの他の区の白人に比べると学歴や収入のレベルはかなり低い。
- すなわち、人種構成、収入、街並み、景色、住宅事情、教育レベルなどこれをとっても、いわゆる「ニューヨーク的」な特徴はきわめて薄く、「全米の平均的な中産階級の住宅地サンプル」と性格づけるべき地域である。

(6) 客層

- 年間集客数は、約25万人。
- ほとんどがスタッテン島の住人。「夫が働き、妻が主婦をして、子供が2～4人」といった典型的な白人の中産階級の家庭の者が多い。
- ニュージャージー州からはフェリーを使わず高速道路でアクセスできるため、ニュージャージー州の中産階級の者も訪れる。

(7) 発足の背景

- 1801年、海運業で財を成したロバート・ランドールが、「自分の財を使って船員のためのリタイアメント施設を作る」旨を遺書にしたためて没する。



● リニューアル中の建物（資料 SHCC-1 のA,B）、右側はH: Visitor's Center

1831年、遺志に従って、現在のスナッグ・ハーバーの土地が管財人委員会によって購入される。1933年、リタイアした船員とその家族のための複合住宅施設『セイラーズ・スナッグ・ハーバー』が完成。

- 1960年代までには収容する船員の数が増減したため、管財人委員会は、最後の居住者たちをノースカロライナの同様の施設に移住させ、土地と建物的一切をニューヨーク市に売却。一時は、民間のディベロッパーに転売して商業的に開発するという話もあったが、長い歴史をそのままに残す同施設を保存したいと強く望んだスタッテン島の住人が反対。その意志をくんで、市の主導で非営利法人『スナッグ・ハーバー・カルチュラル・センター』を発足させた。当初の運営は、地域住民のボランティアによって成り立っていた。

2. ボランティア・プログラムについて

(1) 役務の種類

① オフィス内

- ギフト・ショップの販売員＋帳簿管理係
- 一般事務アシスタント
- ダイレクト・メールやニュース・レターなどの封筒づめ、メーリング・ラベル貼り
- メンバー勧誘やチケット販売のための電話セールス

② 一般催し関連

- 「スナッグ・ハーバー散策ツアー」のツアー・コンダクター（案内解説係）
- 「古本市」や「クラフト・フェア」など、大勢の集客のある時の警備・案

内係

- 「古本市」「クラフト・フェア」「野外コンサート」時などの飲食物販売係
- 資金集めのための「富くじ」の販売員
- 展覧会のチケットもぎり
- 展覧会のオープニング・パーティーのための飲食給仕やコート・チェック係（クローク）

③ パフォーミング・アーツ関連

- 「ベテランズ・メモリアル・ホール」では、一晩の催し時に参加するボランティアの数は、約6～8名。役割は以下のとおり。
 - 入り口でのチケットもぎり……開演の1時間前に出勤
 - アッシャー（座席案内&プログラム配付係）……開演の1時間前に出勤
 - インフォメーション・カウンター係……資金集めのための「富くじ」販売、アンケート・メモ用紙の配付、メンバーへの勧誘などをを行う。
- 「夏期の野外コンサート」では、1回の催しに参加するボランティアの数は、約12～15名。役割は以下のとおり。
 - 会場整理案内係・兼・プログラム配付係
 - レンタル折畳み椅子の貸し出し係
 - 飲食販売員

(2) ボランティアの人数

- ボランティア参加者の数は年間約140名。うち50名がオフィス内業務に携わる。

(3) ボランティア・スタッフの自治構造

- 140名を管理・運営するための自治組織として、18名のボランティアからなる「ボランティア委員会」が存在し、その長として任期1年の「ボランティア・リプレゼンタティブ（代表委員長）」が選出される。
- 「ボランティア委員会」は、反省や今後の計画などを話し合うために、年に5回のミーティングの機会を持つ。ミーティングには、有給のボランティア・コーディネーターが必ずオブザーバーとして出席し、話し合いをリードする。
- ボランティア委員会はボランティア業務についての話し合いをするだけではない。他の文化施設の団体観賞の計画を練ったり（どこの文化施設にも、団体観賞にはチケット割り引き制度がある）、遠隔文化施設へのバス・ツアーの計画を練ったり、時には芸術文化とはまったく関係のない団体旅行の計画を練ったりする。
- これは、自分たち自身が楽しむ「クラブ・ライフ」的なアクティビティであるが、同時に、こういった仕掛けによって仲間＝ボランティア志願者を増やそうという目的にもかなっている。また、ボランティアたちの自主性

と士気を高めるためにも効果がある。

(4) 募集と教育

① 広告宣伝

- ローカル新聞、町内新聞、週間地域情報誌など一般の印刷媒体に掲載。ただし、広告掲載料は全く支払わなくてすむ方法で載せる（注：米国の新聞は、コミュニティー新聞に限らず、時にはニューヨーク・タイムズのような大きな新聞でも「Helping Hands」といったような非営利団体サポート用の欄が作られているため）。単に「ボランティア募集」と載せるのではなく、「〇〇の業務をしてくれる〇〇な人」という風に詳細説明を入れる。
- 一般の放送媒体（ローカルのケーブルTV局&ラジオ局）を使っでの広告宣伝。番組の合間に募集の旨をしゃべってもらう。これも広告料は無料。
- スナッグ・ハーバーのニュースレターに掲載 [資料 SHCC-3参照]。
- 催し開催時に配るアンケート・メモや富くじの購入申込用紙に、ボランティア参加希望の有無の記載欄を設ける。
- メンバー募集用のカラー・パンフレット上に、「ボランティアに参加しませんか」の呼び掛けを掲載。
- 既存ボランティアを対象に出すニュースレター（たいていは大きなイベントの終了ごとに発送する「Thank You Letter」に、「仲間を誘って欲しい」旨を記載する。
- 地域の教会など、他の団体に協力を呼び掛ける。若い元気な人手が必要な時（例えばクラフト・フェアの会場整理係など）には、「ガール・スカウト」や「キー・クラブ（ティーンエイジャー・ボランティアの派遣・コーディネートをする団体）」などからの人員派遣が頼りになる。

② フォローアップ

- ボランティア参加を希望して来た人には、有給のボランティア・コーディネーターがまず電話をかけて、その人の興味の対象、得意な分野、ボランティア経験の有無などのあらましを問い合わせる。
- その後、「ボランティア・リソース・アンケート用紙」を郵送 [資料 SHCC-4参照]。返送されてきた内容をコンピューターにインプットする。

③ オリエンテーション

- 年に数回、新規のボランティア希望者を集めてオリエンテーションを行う。郵便にて開催日を通知。仕事を持っている人でも参加できるよう、開催は土曜か日曜の昼間、1～2時間程度。
- 「感謝」の意を表すため、また参加者同士が互いにリラックスして言葉を交わしやすい雰囲気をつくるために、お菓子やお茶を準備しておく。
- オリエンテーションの内容は、スナッグ・ハーバーの施設概要や、ミッション、歴史的解説に広くふれるのみ。個々の詳しいオリエンテーションは、各部署ごとの裁量（古参のボランティアが新規ボランティアを指導するというやり方が普通）に任せる。
- ボランティア・スタッフ専用の控え室を案内。使用ルールの説明。

(5) ボランティア・スタッフのプロフィール

- 平均50～60歳。近年ますます老化の傾向にある。
- 美術にしる舞台芸術にしる、何らかの芸術のジャンルに大きな興味と知識を持っている人が多い。
- 女性の数の方が多い。スタッテン島では仕事を持たない「専業主婦」の割合が高いためか。
- 夏期などの週末のボランティアは「家族ぐるみで参加」というケースも珍しくない。

(6) ボランティアへの報酬

- 半額チケットを2枚を進呈。
- 「サンキュー・ランチ」「サンキュー・ディナー」「サンキューお茶会」等の開催。年に1回～数回。
- 大イベント終了ごとに、個々のボランティアに対して「サンキュー・レター」を発送。
- ホリデー・パーティーの開催（ボランティアの家族も招待）。
- ボランティア専用控え室の提供（お茶やコーヒーの飲める休憩所）
- 交通費や昼食の支給はなし。

(7) 問題点・将来構想

- 年々ボランティアの平均年齢が高齢化していることが問題。アメリカ全体の傾向として、昔より人々はボランティアをしなくなっている（共働きの増加／レクリエーションの多様化／中産階級の生活の貧困化などが原因）。
- 140人のボランティアを得てはじめて運営の成り立っているスナッグ・ハーバーとしては、公共の芸術予算削減から有給スタッフも削減の傾向にあることもあって、常に新しいボランティアをリクルートする努力をし続けないと近い将来ボランティアは枯渇し、スナッグ・ハーバー自体の存続の危機に関わってくる。

3. ボランティア参加者の意識

(1) ボランティア参加の動機

① Marie Penza さん（有給のボランティア・コーディネーター）談

- 第一に「社交」。リタイアした人にとっては「家から出て人と出会う」ということに意義があるから。
- 「スナッグ・ハーバーの一員でいたい」という気持ち。スナッグ・ハーバーは、「ニューヨーク市」という世界の芸術都市・大都会のイメージからかけ離れたスタッテン島において、唯一マンハッタンにも自慢できる巨大な文化施設。そのことに、住民は絶大な誇りと愛情を持っている。
- ボランティアの仕事を通じて充足感を味わえる、新しい経験ができる。
- パフォーマー、アーティストと直接知り合える（言葉を交わせる）機会が

あることも動機のひとつ。

② Bevely Ziel さん（ボランティア歴 6 年、定期的に週 3 日＋イベントの手伝い全般を担当）談

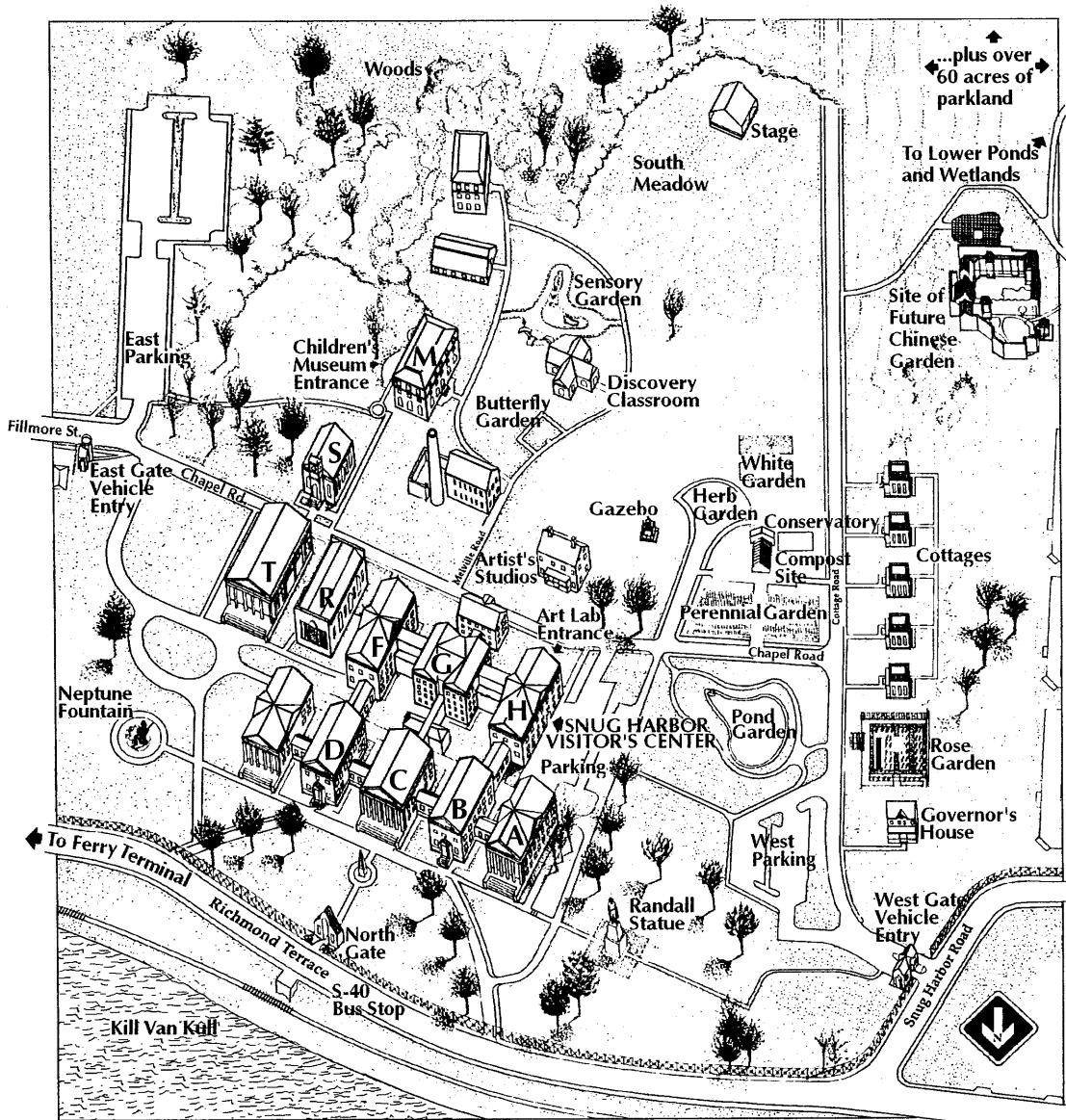
- 第一に、知的好奇心・知的刺激を得られること。Ziel さんは働いた経験がないので、特にオフィス内での事務アシスタントなど「ビジネス経験」に対して充足感を得ることが多い。
- 同じ興味を持つ友人を得られること。
- 自分の子供が小さかった頃からスナッグ・ハーバーは生活の一部になっていた（学校の課外授業、家族で夏の野外コンサート観賞等々）から、いつかは“この一員になりたい”と思いつけてきた。だから、子供が手を離れたのを契機に、ごく自然にボランティア参加を希望した。実現できて満足だし、まだまだ色々なことに参加したい。

(2) 施設側への希望・要望（Bevely Ziel さん：ボランティア歴 6 年、定期的に週 3 日＋イベントの手伝い全般を担当談）

- ボランティアに対して「感謝」の意を持ってもらうこと、そしてその意を何らかの形で「表現」してもらうことはとても大切。大掛かりな感謝イベントである必要はまったくないが、例えば、「サンキュー・レター」をある程度の頻度で受け取ること、小さなお茶会でスタッフとの懇談会が持てること、などによって非常に充足感が得られる。
- 逆に言えば、ささいなことでも「Thank You!」と言ってもらうことだけが、ボランティア側の唯一の要求と言ってもいい（この点についてスナッグ・ハーバーには問題はない）。

－以上－

資料 SHCC-1 : 施設配置



Principal Buildings

A & B Future Home of the Staten Island Institute of Arts and Sciences

C Newhouse Center for Contemporary Art & Access Gallery

D John A. Noble Collection

H Snug Harbor Visitor's Center, Reception & Admin.; Botanical Garden Offices; Art Lab (Stair at South end of bld'g.)

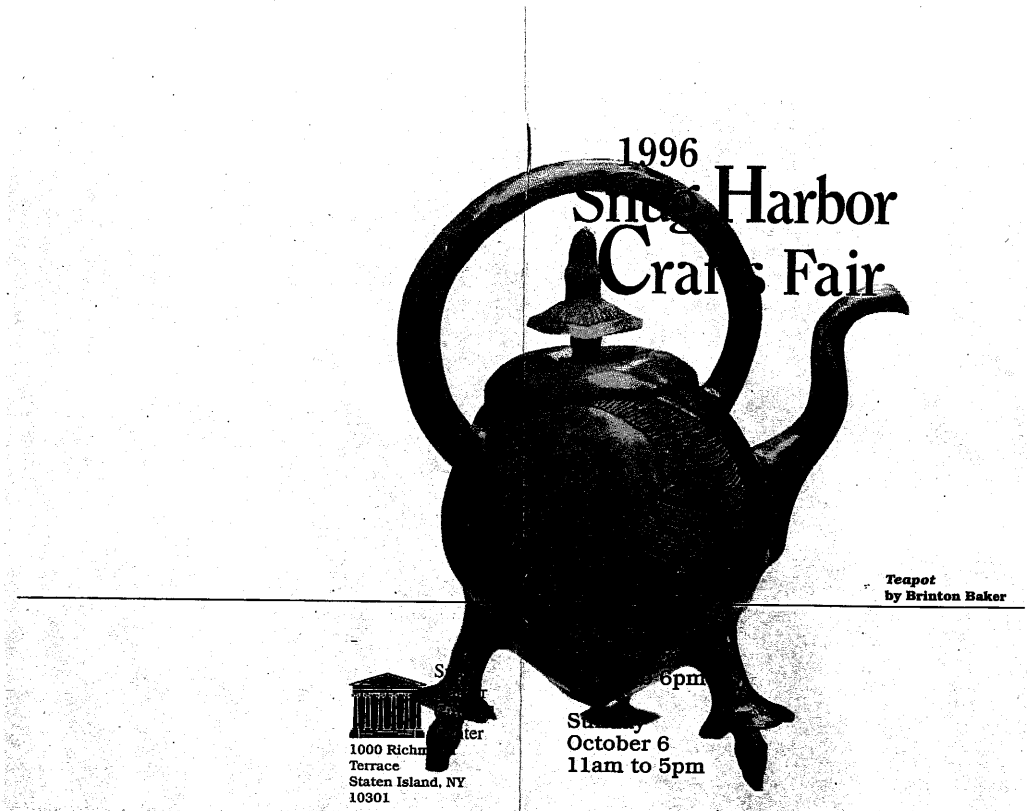
G Melville's Cafe, (Enter through Visitor Center)
M Staten Island Children's Museum

R Great Hall
S Veterans Memorial Hall

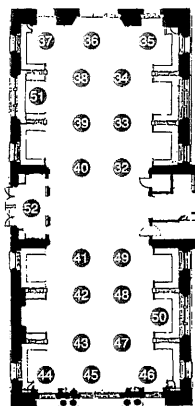
T Music Hall

資料 SHCC-2 : 1996 Snug Harbor Crafts Fair

—同イベントのパフレットより—

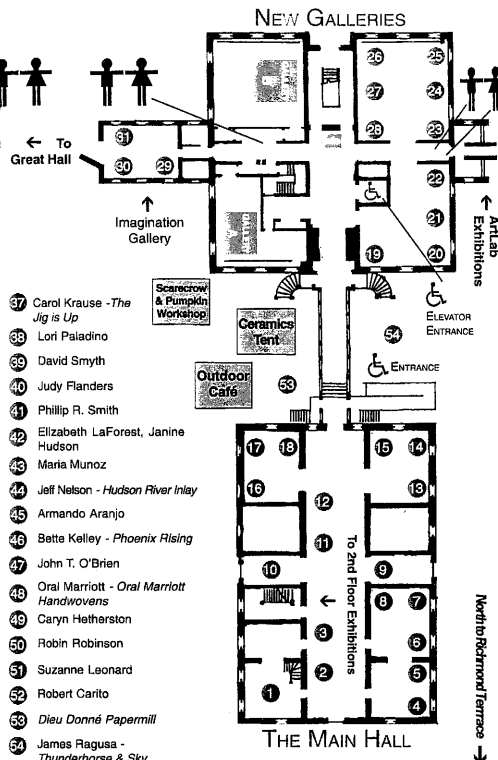


- EXHIBITORS**
By Booth Number
- Main Hall**
- 1 Sharon Milstein, Alison Eldin, Riva Renes, Emma Crawford
 - 2 Lisa Lytle - Lytle Glass Art
 - 3 Irene Lantz - Manu Designs
 - 4 Jim Wolnosky, Pamela Timmons
 - 5 Rebecca Ann Robertson
 - 6 Poogy Bierklia/ Ceil Langer - Enduo
 - 7 Agnieszka Potoczek - Agusha, Leda Lee
 - 8 Megan Daly - Streamside Pottery
 - 9 Andrea & Saint Maurice Phillips
 - 10 Robert Brown
 - 11 Adrienne Jennings
 - 12 Margaret Neher
 - 13 Gloria Orzechowski
 - 14 Leonore Alaniz - Turn A New Leaf
 - 15 Yetta Colodna
 - 16 Brinton Baker - Stone Window Gallery
 - 17 Otto Franek - Franek Art Glass
 - 18 Eleanor Katz
- New Galleries**
- 19 Shimon Kahloun
 - 20 Leslie-Bowman Friedlander-Bowman Fiber Design
 - 21 Irving Branman
 - 22 James & Matt Evans - Waxen Candles, Inc.
 - 23 Beatrice Bloom
 - 24 Ina Chapler
 - 25 Ingrid Jordan
 - 26 Eva Capobianco



THE GREAT HALL

- 27 Malachi McCormick - The Stone Street Press
 - 28 Kathryn Pearce - Kallima Designs
 - 29 Pearl Lau
 - 30 Maggie Vail, Ingrid Cusson
 - 31 Marguerite van Stolk
- Great Hall**
- 32 Donald Thieberger & Karen Klaussen - Platypus Pottery
 - 33 Grettal & Ricardo Miguez
 - 34 Lucine Baronian
 - 35 Clay Workman - Workman's Woodworks
 - 36 Bernadette Darche



THE MAIN HALL

資料 SHCC-3 : Newsletter に掲載されたボランティア関連の記事

—Columns | The Snug Harbor Cultural Center Newsletter, October/November 1996 より—

Volunteer Views

We are delighted to announce the appointment of Cindy Selmon, as the Volunteer Representative to Snug Harbor's Board of Directors. Cindy, a long-standing volunteer who has an extensive knowledge of the site and whose lively historical accounts of life at Snug Harbor have educated and entertained countless visitors, replaces Shelia Reh. We wish Cindy the best in her new position and extend our appreciation to Shelia for her tireless devotion to Snug Harbor—which we certainly hope will continue.

Thanks to all the volunteers who gave their time, energy, and support to the weekend programs over the summer. Whether collecting tickets, passing out programs, selling raffle tickets, staffing the membership & information tables, meeting & greeting the public, conducting tours, or working in the Gift Shop, you helped make the Harbor's summer a terrific success.

We regretfully announce the departure of Gift Shop bookkeeper Rosemary Mitchell. Over the past two years Rosemary devoted many hours to her duties. Her dedication and valuable expertise greatly contributed to the success of the Gift Shop. We are immensely grateful to Rosemary for the time and effort she has contributed and we wish her the very best.

And while we're on that subject, Gift Shop volunteers are certainly needed. If you have any expertise in bookkeeping or a financial background and would like to volunteer some of your time, please contact Marie Penza at 448-2500. We are also seeking Gift Shop assistants. The **Annual Gift Gathering** will be held November 22-24. As always, many volunteers will be needed for this special event. Volunteers are asked to work in 3-hour shifts.

The Volunteer Office apologizes for the error in the August/September *Columns* regarding the Winterthur trip. The trip is scheduled for Saturday, 11/16, *not* 11/7. Please note the change. Seats are still available. A seasonal Yuletide tour, luncheon and a Decorative Arts tour of the former estate of Henry Frances Dupont are included. The cost is \$75/\$70 Snug Harbor Friends.

Welcome new volunteers Suzzette Roberts, Sejal Parekh, Lee Webb, Alex Genato, William Blocker, Peter Vitiello, Kevin Swords, Kim Cullum, James Sigman, and Anthony Barchitta!

資料 SHCC-4 : ボランティアの情報に関するアンケート用紙



Snug Harbor Cultural Center
1000 Richmond Terrace
Staten Island, New York 10301-1199
718-448-2500
Fax # 718-442-8534

VOLUNTEER RESOURCES QUESTIONNAIRE

Date: _____

Name: _____

Address: _____
(Street) (Apt.#) (City/State/Zip)

Home Telephone: _____ Business Telephone: _____
(Area Code+No.) (Area Code+No.)

Current Employer: _____

Address: _____

Occupation /Profession: _____ Years Employed: _____

Education:
College: _____ Degree: _____

High School: _____

Other Employment Experience: _____

Volunteer Experience: _____

Special Skills: (please circle) Telemarketing; Word Processing; Computers; Typing;
Marketing/Public Relations; Baking; Crafts; Educational; Accounting; Bookkeeping;
Writing; Other _____

When are you available?
days: _____ evenings _____ weekends _____

In Case of Emergency:
Name: _____ Phone No. _____

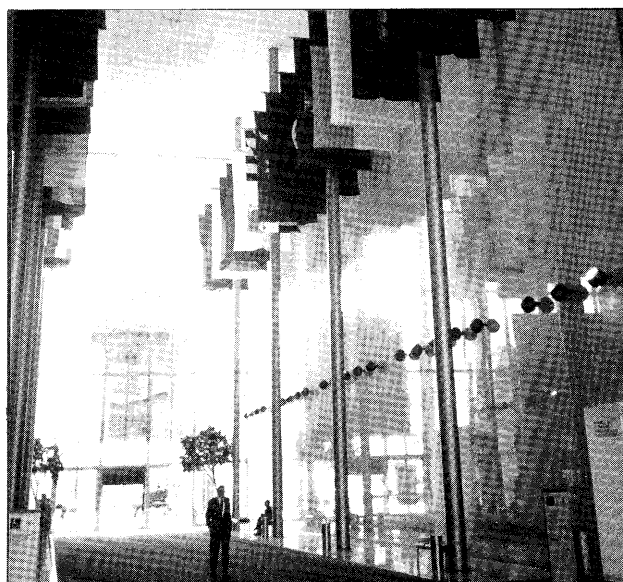
IV. THE KENNEDY CENTER FOR THE PERFORMING ARTS

ケネディセンターは、コンサートホール、オペラ劇場、演劇劇場などが複合された大型文化施設。年間を通して650名のボランティアが登録され、そのうち500名が実際に業務を行っている。また、年に1回行われる「オープン・ハウス・アーツ・フェスティバル」でも、500名近いボランティアが運営を支えている。

細分化された業務内容、完成されたマニュアル、自治構造に基づいた運営体制など、ある意味でアメリカの文化施設におけるボランティア制度のあり方を象徴するような内容となっている。

📖 施設・運営の概要

運営母体	The Kennedy Center(スミソニアン機構の一組織)
所在地	Washington, DC 20566-0001
TEL	202-416-8033
FAX	202-416-8205
開館年月	1971年
複合形態	複合館
施設特性	コンサートホール、オペラハウス、演劇劇場などの複合施設
座席数	2,750、2,300、1,100
年間運営予算	年間約100億円(8~9,000万US\$)
自主事業数	—
立地都市人口	585万人(1992年)
組織体制	150~200名(正職員、技術スタッフ含む)



😊 ボランティア制度の概要

名称	• Friends of the Kennedy Center (通常運営時のボランティア)
導入時期	• 1971年
登録人数	• ① 通常運営時：650名(内500名が活動) • ② オープン・ハウス：470名(内250名は通常運営時のボランティア)
導入の経緯	—
活動内容	• ①：ギフトショップ、ツアーガイド、ライブラリー、インフォメーション、事務アシスタント etc. • ②：臨時会場の設営・撤去、混雑整理、ギフトショップ、ごみ拾い、インフォメーションなど28種
募集方法	• ①：ケネディセンター・マガジン、フレンズ用ニュースレターに募集掲載。 • ②：同上、米軍機関に会場撤去等のボランティアを呼びかけ。
研修	• ①：半期に1度のオリエンテーション、ハンドブック、各種マニュアルを配布。3ヶ月は仮採用、ボランティア・マネージャーによって業績評価。 • ②：開催の1週間前にオリエンテーション、業務開始前に責任者による説明会。
実費支給・特典	• ①：駐車場代無料、交通費払い戻し、ニュースレター送付、無料コンサートチケット(不定期)、ギフトショップでの割引 etc。 • ②：無料Tシャツ、イベント終了後打ち上げ会への招待。
その他	• 開館以来25年間もボランティアをしているメンバーもいる。 • 自治組織が設けられ、3つの時間帯を3交代制がとられるなど、非常にオーガナイズされた大型のボランティア組織。

📖 インタビュー記録 📖

- 訪問先：THE KENNEDY CENTER FOR THE PERFORMING ARTS (Kennedy Center)
- 住 所：Washington DC 20566-0001
- 電 話：202-416-8033 FAX:202-416-8205
- 面会者1：Ms. Shelley Brown…Festival Manager（フェスティバル担当）
- 面会者2：Ms. Brooks Boeke…Friends/Volunteers Manager（有給のボランティア・マネージャー）

1. 事業主体の概要

(1) 設立、予算・組織等の規模

- 設立年：1971年
- 年間運営予算：8,000～9,000万 US\$（約100億円）
- 有給スタッフ数：約150～200名（正社員のみ、技術関係等含む）

(2) 施設概要

• 敷地面積は17エーカー（約7万平米）。以下の6つの施設はすべて巨大なビルのひとつ屋根の下に配置されている。

- 1] コンサート・ホール：2,750 席。レナード・スラトキン率いるナショナル・シンフォニー・オーケストラが常駐カンパニー。
- 2] オペラ・ハウス：2,300 席。オペラ、バレエ、ミュージカル等のための劇場。
- 3] アイゼンハワー・シアター：1,100 席。主に演劇のための劇場。
- 4] アメリカン・フィルム・インスティテュート・シアター：映画観賞用のホール。別個の独立した非営利団体であるアメリカン・フィルム・インスティテュートが運営。
- 5] テラス・シアター：ポトマック川に面したテラスにしつらえられたステージ。約 500 人収納。
- 6] シアター・ラボ：子供や家族のための催しを行う小劇場。

(4) ロケーション、催し、客層

- ウォーターゲート・ビルのそば。ポトマック川のほとりに建つ。ホワイトハウスから地下鉄で2駅目、ペンタゴンからは3駅目と、いわゆる「首都ワシントン」の中心に位置する。
- 年間集客数は、170万人。地元ワシントンの一般市民、政府関係者、各国大使館関係などから、ヴァージニアやバルチモアなどの周辺地域の一般住民やワシントンへの通勤者。世界各地からの観光客も非常に多い。
- 年間公演数は2,800公演。「アメリカの舞台文化の顔」であるため、いわゆるハイ・カルチャーの演目だけでなく、話題のブロードウェイ・ミュージカルや、ジャズ、ポップスのスターのコンサート等も頻繁に行われるほか、



● ポトマック川沿いのメインロビー、ケネディの頭像が見える、左手奥がオペラハウス

ファミリー・プログラムも多彩。

- 毎年9月には恒例の「1日オープン・ハウス・フェスティバル」が開催される。これは、50種類近いコンサートや催しが無料で提供される催し。詳しくは後述。今回は、このフェスティバルにおけるボランティア・プログラムを主な調査対象とした。

(5) 発足の背景

- 1958年、アイゼンハワー大統領が「アメリカの芸術文化の殿堂」たる施設を首都ワシントンに設立する旨の法案を承認。国立公園の土地の一部17エーカーをその施設のために分割すると定めた。
- 1961年、ケネディー大統領が上記法案の実施を引き継ぐ。舞台芸術のための施設とすることを定め、資金集めや具体案の策定を受け持つ理事会等を指名・設立する。
- ケネディー大統領が暗殺された翌年の1964年、ジョンソン大統領がこの施設をケネディー大統領のメモリアルとすることを決定。また施設の維持費を連邦政府の予算でまかなって行く旨を可決させ、結果としてケネディー・センターは国立美術館ナショナル・ギャラリーなどと同様、スミソニアン機構（連邦政府直轄の外郭組織で、文化財の保護・管理を行う。全米

芸術基金NEAとはまったく別枠の、安定した予算を持つ)の一部に組み込まれることとなった。

2. 通常運営の中でのボランティア・プログラムについて

(1) 役務の種類 [資料 KC-1 参照]

① ギフトショップ

- ・勤務時間は、毎日朝10時～夜9時半の中で、可能な時間帯を選択。
- ・役務は、販売係、キャッシャー業務(現金・小切手・クレジットカード)、会計管理、在庫管理等を兼ねる。

② ツアーガイド

- ・勤務時間は、毎日朝10時～午後2時の中で、可能な時間帯を選択。
- ・役務は、一般の希望者に対して館内案内(無料)を行うこと。一般客のほか、団体、英語圏以外の観光客、政府関係者、国賓などが対象となる。

③ エデュケーション・リソース・センター(ライブラリー)

- ・勤務時間は、火曜～土曜の正午から夜8時までの中で、可能な時間帯を選択。
- ・主な役務はアーカイブの管理。すなわち目録づくり、コンピューター・インプット、閲覧請求に応じての資料の出し入れ、利用者へのライブラリー使用方法のインストラクションなど。

④ パブリック・インフォメーション・センター

- ・勤務時間は、毎日朝10時～夜9時半の中で、可能な時間帯を選択。
- ・主な役務は、いわゆる「案内デスク」係。ケネディー・センターではこれを「最前線の外交係」と説明する。

⑤-1 オフィス事務手伝い

- ・勤務時間は、通常の有給スタッフの勤務時間内(平日朝10時～5時半)の中で、可能な時間帯を選択。
- ・主な役務は、「フレンズ・オブ・ザ・ケネディーセンター」の円滑な運営のための事務業務。即ち、メンバーやボランティアの勧誘、年間通しチケットのセールス、名簿の管理、ダイレクト・メールやニュースレターの郵送等。
- ・有給スタッフの一般事務補佐につく場合や、特別プロジェクト(ファンドレイジング・イベントなど)に携わる場合もある。

⑤-2 ニュースレター『フレンズ・スクリプト』編集制作 [資料 KC-2 参照]

- ・ボランティアの、ボランティアによる、ボランティアのための月刊ニュースレターの編集・制作業務。ボランティア仲間への原稿依頼から編集～印刷管理まで全般を行う。
- ・担当者は月に一度のミーティングを持つ。
- ・ニュースレターの仕立ては白黒10ページ。内容は、ボランティア・スタッフの近況報告(結婚・死亡・誕生日・学位取得・引っ越し etc.)、ボランティア勤務時間の最長者の表彰、各部署のボランティアの活動報告、イベン

ト・カレンダーなど。

(2) ボランティアの人数

- ・現在、通常運営におけるボランティアの数は名簿上は約650名。実際に役務についている者は、約500名。

(3) ボランティアの自治構造

① フレンズ・オブ・ザ・ケネディーセンター

- ・ボランティア・スタッフは、「フレンズ・オブ・ザ・ケネディーセンター」という任意組織の構成員になることを意味する。「フレンズ……」は、会費を払ってギフトショップの割引特権などをもらうメンバー（会員）資格の者と、ボランティアの者の2種類で構成されているが、たいていのボランティアは、会費を払った「メンバー」でもることが多い。ただし、「ボランティアをすれば自動的にメンバー資格を得られる」といった制度ではない。
- ・「フレンズ・オブ・ザ・ケネディーセンター」の発足は1965年。ケネディーセンターの理事会が、当時準備段階にあった同センターを実現するための資金集めと、オープン後の円滑な運営のための協力体制づくり、そしてセンターへの世間の関心を高めることを目的に発足させた。

② シフト・チェアマン

- ・ボランティアの勤務体制は、前項の①～⑤いずれの役務も、〔朝10時～午後2時〕〔午後2時～夕方6時〕〔夕方6時～夜9時半〕の3つの時間帯を単位にシフトを組むことになっている。このシフト・スケジュールをボランティア各自に割り当てコーディネイトするのが、シフト・チェアマンの役割。
- ・シフト・チェアマンは、有給のボランティア・マネージャーによって選抜・指名され、任期は一年。最低一年以上のケネディーセンターでのボランティア経験のある者で、すぐれたボランティア実績や熱心さを持ち、人望の厚い人物が選ばれる。
- ・シフト・チェアマンは、役務①～⑤各部署の各シフト時間帯の責任者たち（5部署×2～3シフト×5～7日/wk＝約60名）を集めて、年4回ミーティングを行う。ここで反省点、問題点、改良点、提案などが自主的に話し合われる。

③ ボランティア・アドバイザー・コミッティ（VAC）

- ・ボランティア・スタッフ自主管理のトップ機構として、「ボランティア・アドバイザー・コミッティ（相談役会）」が存在する。
- ・VACは、
 - ・前項の役務①～⑤-2の6部署から代表各1名ずつ
 - ・ケネディ・センターに本拠地を置く他のボランティア組織（例えばナショナル・シンフォニー・オーケストラやワシントン・オペラのボランティア団体）の各代表1名ずつ

によって構成される。毎月1度のミーティングを通じて、施設全体の運営に

におけるボランティアの役割を大局的見地から話し合う。

- VACの議長は、VACの構成員数名からなる「ノミネーション担当委員会」によって候補者数名が推薦され、この中からVACのメンバーが投票を行って決定される。候補者となるのは、「ケネディーセンター・コミュニティ&フレンズ理事会（ワシントン地域で影響力を持つ人々からなる理事会）」の役員、またはケネディーセンターの現役管理職職員である。

(4) 募集と教育

① 募集の方法

- 『ケネディーセンター・マガジン』に「ボランティア募集！」の呼びかけ掲載。
- メンバー用ニュースレターの中で「ボランティア募集！」の呼びかけ掲載。
- 「フレンズ……」事務局からのメンバー勧誘の電話の中で、ボランティアへの参加も呼び掛ける。

② ボランティア受け入れまで

- 問い合わせのあった人には、次の一式を送付 **[資料 KC-3参照]**。
 - カバーレター（ボランティア参加までの簡単な手続き説明）
 - 役務①～⑤についての簡単な説明書
 - ボランティア申し込み用紙 **[資料 KC-3参照]**
 - メンバーへの勧誘パンフとメンバー申し込み用紙
 - メンバーシップ代（最低年間50ドル）の10ドル割り引きクーポン券
 - 返信用封筒
- 「ボランティア参加申込用紙」は、最終学歴／ボランティア歴／職歴のほか、次項でのべる役務の内のどれに、どの時間帯で参加したいか等を記載する欄が設けられている。記載漏れのある申し込みは受け付けられない。
- 採用の対象となる人は、最低週3～4時間参加できる人、並びに18歳以上の人のみ。
- 半期に一度（＝年2回）行われるオリエンテーションに参加してもらう。オリエンテーションの日時は、申し込み書提出者全員に手紙にて通知される。参加不可能な場合は次回の開催日に繰り越せばよいが、いずれにせよオリエンテーションを経験してもらうまでは受け入れないことが基本。

③ 教育・教材

- オリエンテーションでは次の2資料を配付。
 - ボランティア・ハンドブック：ケネディーセンターの成り立ち、管理体制と人事構成、各ボランティア役務の概略、ボランティアの自治構造、ボランティア報酬、細則（服装、欠席の通知、モラル、勤務態度、その他）等、詳細が記載 **[資料 KC-4参照]**。
 - カスタマー・サービス・マニュアル（接客マニュアル）：言葉づかい、電話の対応の仕方、謝罪のシチュエーション、接客の意味などを説明 **[資料 KC-5参照]**。
- 役務とシフトの割り当てをもらった後は、その役務に関するマニュアル・

■ THE KENNEDY CENTER FOR THE PERFORMING ARTS

ブックを受け取る【資料 KC-6参照】。例えば、ツアーガイドのマニュアル・ブックは、ほぼ台本に近い仕立て。

- その他現場での実施詳細は、同じ役務部署で働く先輩のボランティアから手ほどきをうける。
- 働きはじめたボランティアは、その後3か月間は「仮採用」の身分と見なされる。この期間の内に、有給のボランティア・マネージャーが、「出勤率」「誠意」「知識の吸収度」の3点から適性と業績を評価し、基準に達していない場合は退去をお願いする。退去を言いわたされたボランティアでも、後日また参加申し込みをすることができる。
- その後、1年後、3年後、数年後のサイクルで、ボランティア・マネージャーによって評価の見直しがなされる。業績が基準に達しない場合は、一時的な“停職処分”が言いわたされる場合もある。停職処分中のボランティアには、ボランティア報酬（後述）は適用されない。

(5) ボランティアへの報酬

① ボランティア開始から最初の3か月間＝仮採用の期間まで

- ボランティア勤務時間中の、センター内駐車場利用代が無料。
- 交通費（地下鉄、バス、タクシー）代の払い戻し支給。
- ニュースレター『フレンズ・スクリプト』の毎月の送付。
- メンバーシップ代（最低年間50ドル）の10ドル割り引き。但しボランティア初年度のみ。

② 仮採用期間終了の後

- 上記のうち、「メンバーシップ代の10ドル割り引き」を除いた3つの報酬。
- 年次「ボランティア・リコグニション・ガラ」（後述）への招待。
- 無料コンサート・チケットの進呈。ただし不規則・不定期。
- ギフトショップで、10ドル以上の購入をした時に限り、25%割り引き。
- センター内職員用食堂の利用。
- 有給スタッフとのお茶会。不規則・不定期。

③ 「ボランティア・リコグニション・ガラ」

- 毎年恒例、12月の第二月曜日の晩に行われるボランティアのための感謝パーティー。以下の表彰式がある。
 - ボランティア・オブ・ザ・イヤー賞：長期に尽くした優れたボランティアを表彰。
 - プレジデント賞：ボランティア歴5年以内の人に表彰状、5年の人／10年の人／20年の人にはそれぞれ色ちがいのピン（ブローチ）、25年の人には“石付き（宝石入り？）のピン”＋表彰カップが授与される。
 - フレンズ・オブ・ライフ賞：15年以上ボランティア勤務の後にリタイアした人には名誉賞として次のものを授与する。
 - 「フレンズ・オブ・ライフ」表彰状
 - リコグニション・ガラへの生涯招待

■ THE KENNEDY CENTER FOR THE PERFORMING ARTS

- 『フレンズ・スクリプト』の生涯送付
- ギフトショップで、10ドル以上の購入をした時に限り、15%の生涯割り引き。

④ 税金控除の証明書

- ボランティア業務に関連して自費で支払った旅行代、交通費、車の走行距離から計算される減価償却費は、ケネディーセンターが「ボランティア業務に関連している旨」の証明書類を発行することによって、税金申告の際に控除の対象となる。この証明書は、リコグニション・ガラの日ごとに各自に支給される。

(6) ボランティア・スタッフのプロフィール

- 年齢層としては50～60歳が大半（約7割）を占める。とくに60歳前後のリタイアした人が多い（男女比率、住居地域、人種別などの詳しい統計データは、現在集計中とのこと）。
- 主にワシントン首都圏近郊に住む人、あるいはバージニア、ウエスト・バージニアなど通勤圏内住宅地域の人。首都圏のすぐ外側にドーナツ状にはりつく低所得者層の地域からはあまり参加者がいない（すなわち、「比較的豊かな中産階級以上の白人層が主力」と言っていいたいだろう）。
- 舞台芸術の好きな人。クラシック音楽やバレエに興味でよく精通した人。
- ケネディーセンター設立以来25年の間ずっとボランティアを務め続けている人もいる。この人たちに、長年の活動のあれこれを述懐してもらい、それをビデオに録画してドキュメント記録としてライブラリーに保存することが計画されている。

3. オープンハウス・フェスティバルにおけるボランティア・プログラム

(1) オープンハウス・フェスティバル概要

- 1985年にスタートした恒例行事。新年度のスタートを期する意味で、毎年9月の第2日曜日に行われる一日祭。
- オペラハウスを除いた5ヶ所の劇場ホールその他、ホワイエ（ロビー部分）、リバーテラス、野外のプラザなど、全施設を利用して、50演目以上の催しが開催される [資料 KC-7参照]。
- 観客は出入り自由、観賞はすべて無料。
- ケネディーセンターに縁のなかった人に、ケネディーセンターを知ってもらおう、親しみを持ってもらおう、観客として通うようになってもらおうというのが、「オープンハウス」の目的。
- プログラムの内容は、常駐楽団のナショナル・シンフォニー・オーケストラの演奏やワシントン・オペラのメンバーによるリサイタルから、カントリー・ミュージック、ジャズ、ロック、ゴスペル、民俗音楽、フォーク音楽、室内楽、バレエの小品、モダンダンス、ラップ、ファミリー向きコンサートまで幅広い。その他、風船配り、珍しい楽器のデモンストレーション&演奏体験コーナー、フェイス・ペインティング、水上ショーなど、エ

ンターテイメントの催しも数多い。

- 当日の集客数は、約4万人。ワシントン近郊からの客が6~7割。残りはバルチモア、ウエスト・バージニア、アナポリスなどの遠距離から。
- 予算は約20万ドル。主に企業スポンサーからの寄付でまかなわれる。この程度の小予算で50種以上ものプログラムを無料で提供できる理由は、同じところにワシントン近郊に公演に来るパフォーマンス・グループを選んでブックリングをするため、交通費や宿泊費などの経費が節減できるから。また、地元のグループや若手グループにとっては、「ケネディーセンターで公演」という経歴や、4万人の集客数が魅力であるため、特別の低報酬でも参加を希望するものも数多くある。

(2) オープンハウス・ボランティアの役務

- 非常に細かい以下の28種の役務に分類される（abc順）。
- **Balloonist Assistant** : 風船膨らましエンターテナーの補佐役、客の行列整理。
- **Character Guide** : 道化師エンターテナーの付き添い。混雑の整理。
- **Clean-up Crew** : 臨時会場の設営と撤去作業。力仕事。
- **Coffeeshouse Host** : コーヒーハウス（セルフサービス）での業務全般。ゴミの片付け、座席への案内など。
- **Crowd Management** : 会場混雑整理係り。
- **Escort** : パフォーマーのエスコート係。控え室からパフォーマンス場まで人込みをかき分けて道をつける役。
- **Face Painting** : フェイス・ペインティング・エンターテナーの補佐役、客の行列整理。
- **Freight Elevator Operator** : 搬入搬出用エレベーター利用の交通整理係。
- **Gift Bag Distribution** : ギフトバッグ手渡し係り。ケネディーセンターのアンケート用紙に記入してくれた客先着5千人に福袋を配る係り。中身はスポンサーからのオリジナル・グッズ（マグカップ、雑誌、カレンダー、キーホルダー等々）。ボランティアの中で最も希望者が多い人気の役務。
- **Gift Shop** : ギフトショップ店員。通常のギフトショップ・ボランティアが担当する。
- **Grounds Monitor** : 「グラウンド・モニター」と言えば聞こえがいいが、要は「ゴミ拾い係」のこと。
- **Information Center** : インフォメーション・センター係。通常のインフォメーション・センターフェボランティアが担当する。
- **Information Floater** : インフォメーション・センター係の補佐役。会場一帯を歩きながら、オープンハウス当日用のパンフレット（プログラム一覧）や会場内地図を来場者に手渡す係。
- **Information Restocker** : 上記 **Information Floater** や **Information Tables** に、足りなくなったパンフレット類を逐次届ける係。
- **Information Tables** : 会場のあちこちに臨時に設けられたインフォメーション

■ THE KENNEDY CENTER FOR THE PERFORMING ARTS

ン・テーブル。ケネディーセンターの通常の催しについて説明するためのインフォメーション係。

- **Instrument Demonstrator** : 楽器のデモンストレーション奏者。楽器を弾けるミュージシャンのみ採用。
- **Membership Lounge Host** : メンバー用ラウンジの給仕+テーブルの片付け係。
- **Musical Zoo Assistant** : 楽器のデモンストレーション・コーナーの補佐役+混雑整理係。児童の扱いに慣れた人のみ採用。
- **Parking Lot Monitor** : 出演者専用駐車場の監視係。一般客の車が進入・駐車したりせぬよう管理する。業務開始は早朝8時から。
- **Radio Monitor** : 会場各地にラジオを設置する係（当日のパフォーマンスが生放送されるため）。
- **Refreshment Monitor** : ステージ控え室用のお茶やお菓子の管理・給仕係。
- **Stage Crew** : ステージ・セットの設営クルー。力仕事かつ長時間（朝10時から夜7時まで）仕事。
- **Stroller Check-In** : 無料乳母車レンタル係。
- **Theatrical Characters** : 道化役。コスチュームを来てあたりを徘徊。客と一緒にカメラに納まるなど、来場客をあれこれと楽しませる係。接客好きの人間向き。1週間前にコスチュームの採寸がある。
- **Ticket Distribution** : 無料観賞整理券配付係。
- **Volunteer Check-In** : 登録ボランティアの出欠確認係。
- **Volunteer Refreshments** : ボランティア用控え室のお茶やお菓子の管理・給仕係。

(3) オープンハウス・ボランティアの人数

- 96年度は過去最高の、470名が参加。
- 内、約250名は通常ボランティア「フレンズ……」のメンバー。残りは、オープンハウス一日だけのための臨時ボランティア。

(4) オープンハウス・ボランティアの自治・管理体制

- 全体の統括役として2名の委員長（Chairs）、その下に、各役務ごと2名ずつのリーダーを設ける。いずれも有給のボランティア・マネージャーの指名による [資料 KC-8参照]。
- ボランティア参加時間帯は {正午～午後3時} {3時～6時} の2シフト制が基本。ただし、会場設営係やボランティア・チェックイン係などは朝8時からの勤務。
- 基本的に一役務・一シフトあたり、2名～5名程度の配置が基本。ただし、会場整理係や簡易テーブルの設置・撤去係などには、数十名が配置される [資料 KC-9参照]。
- ボランティアの申し込み書をチェックし、各自の希望を汲みながら各自を各役務・各時間帯へ割り当てる作業は、委員長が受け持つ。

(5) オープンハウス・ボランティアの募集と教育

① オープンハウス・ボランティア募集の方法。

- ・『ケネディーセンター・マガジン』に「ボランティア募集！」の呼びかけ掲載。
- ・メンバー用ニュースレターの中で「ボランティア募集！」の呼びかけ掲載。
- ・「フレンズ……」事務局から、ボランティア勧誘の電話セールスを行う。
- ・米軍の機関にボランティア要員を提供してもらうよう呼び掛ける。会場設営・撤去作業や混雑の整理係といった体力仕事は、高齢者の多い通常のボランティア名簿の中からはまかなえないため。
- ・ケネディーセンターの常駐楽団である「ナショナル・シンフォニー・オーケストラ (NSO)」のボランティア組織に協力を呼び掛ける (NSO は独自に1,100人ものボランティア名簿を管理している)。

② オープンハウス・ボランティア受け入れまで

- ・「フレンズ……」の名簿、メンバーの名簿、NSOのボランティア名簿、教会のグループ、などにダイレクトメールを発送する。封筒の中には以下の資料一式を同封する。
 - ・カバーレター (オープンハウスの簡単な紹介、2名の委員長の紹介、公開オリエンテーションの時間割り、ボランティア参加者への「無料Tシャツ進呈」のお知らせ、申し込み期日等を説明) [資料 KC-10 参照]。
 - ・28種類の役務についての内容説明書 (「着席仕事」「立ち仕事」「力仕事」「屋根のない屋外での仕事」「長時間労働」などの注釈付き、「(2) オープンハウス・ボランティアの役務」参照)。
 - ・オープンハウス・ボランティア申し込み用紙 [資料 KC-11参照]。
 - ・メンバーへの勧誘パンフとメンバー申し込み用紙。
 - ・メンバーシップ代 (最低年間50ドル) の10ドル割り引きクーポン券。
 - ・返信用封筒。
- ・「オープンハウス・ボランティア参加申込用紙」には、ケネディーセンターでのボランティア経験の有無/参加可能な時間帯 (一日中・昼・午後～夕方・早朝～午前中) /希望の役務/特種希望 (ex.屋内希望、着座での業務希望等々) /Tシャツのサイズ等の記載欄が設けられている。

③ オープンハウス・ボランティア教育の方法

- ・開催の1週間前に公開オリエンテーションを設ける。仕事を持たない人・仕事を持つ人の両方に対応するために、平日の午後の部と夜の部に分けて、同様の内容のものを2回開催する。要予約。
- ・オープンハウスの当日、各役務ごと、各シフト時間帯ごとに業務開始前の説明会が設けられる。各役務の責任者が指導を担当。

(6) オープンハウス・ボランティアへの報酬

- ・公開オリエンテーションで無料Tシャツ配付。当日はこのTシャツを着用

してボランティア業務につく。

- ・オープンハウス終了後の同日の夜、ケーキやアイスクリームなどで打ち上げ会。午前中のシフトのボランティアや一日勤務の者などは参加しないことが多いため、比較的小規模となる。

(7) オープンハウス・ボランティアのプロフィール

- ・通常のボランティア「フレンズ……」のメンバーが約半数を占める。ほとんどが高齢者。
- ・その他、軍に所属する若者の男性、ガール・スカウト所属の高校生、大学生、マッチング・グラント制度を持つ企業に勤める従業員など。

(8) オープンハウス・ボランティアに関するその他の事項

① 自己評価

- ・当時業務を終了したボランティアには、アンケート用紙を配る。仕事への満足度はどうだったか、問題は無かったか、来年度への示唆や希望はあるかなどの評価・査定を記入して提出してもらう。

② 「スタッフ・ボランティア制度」

- ・オープンハウスは日曜日であるため、ケネディーセンターの有給スタッフにも「ボランティアとしての参加」を呼び掛ける。96年度は20名が参加（年々参加数は低下の傾向にある）。
- ・目的は、「チーム・スピリット」をスタッフに体感してもらうため。会場設営やアーティストの接待係りなどを含む14種類の役務選択がある。

4. ボランティア全般に係る問題点・特記事項・将来構想

(1) ボランティア・コーディネーターにとっての課題／Brooks Boeke さん（有給のボランティア・コーディネーター）談：

- ・ボランティアと有給スタッフでは「仕事に対するコミットメント」の種類・質が違う。「義務感と満足度」がうまくバランスする地点を見極めること、「ボランティアをすることの意味」をはっきりと提示してやることが大事。
- ・「役務の内容をできるだけ詳細に規定すること」がボランティア・プログラム成功の秘訣。即ち、何をしてもらいたいかを明確にしてそれを明文化する（＝マニュアルにする）こと。そして、どこまでしてもらえれば合格かの最低評価ラインをはっきり持つこと。
- ・マニュアルは毎年あるいは逐次見直し、必要があれば改訂・更新する。
- ・ボランティア自身にとってもボランティアを管理する側にとっても、一番難しい曲面は、「変化」への対応。即ち、マニュアルが改訂された時／コンピューターのシステムが変わった時／チーム編成変わった時／担当部署の有給スタッフ人事が変わった時等々の事態のこと。特に高齢者のボランティアが多いため、「慣れたものから新しいもの」へ順応するのがおっくうかつ不得手であるため、ボランティア・コーディネーターは、彼らに「嫌気」を感じさせないように常に励まし、質問をすることに躊躇をさせない雰囲気・環境づくりに腐心する必要がある。

- ボランティア・コーディネーターは500名にもものぼる現役ボランティアの顔と名前を覚え、各自の得手不得手や個性などを把握している必要がある。その意味からも、ボランティア・コーディネーターというのは、大卒レベルの「専門職」と言っている。
- 問題があった時には、必ずボランティア・コーディネーターに相談するよう指導する。「問題」となるのはたいていは人間関係について。同僚のボランティアとスムーズに仕事ができない、担当部署の有給スタッフとうまくやってゆけないなど（あまり頻繁に起こる問題ではないが）。相談に来なくとも、ボランティア・スタッフの方からうまく聞き出すようにして「すべてを知っている」ようにすることが重要。
- そのボランティアが裏方（ライブラリーでのアーカイブ管理など）向きか、表方（インフォメーション・センターで接客をするなど）向きかを見極めること。また、「好き」なのか「やってみたい」のか「向いている」のかなど、向き不向きと本人の希望をバランスさせることが大切な技術。
- コンピューターを扱う役務（ギフトショップのキャッシャーと会計など）は特にデリケートな職務環境。コンピューターを扱える・扱えないでコンプレックスや嫌気を感じさせないように、特別の工夫が必要。例えば、落ちこぼれが出ないようにボランティア各自の性格を考慮してチームを構成する、など。
- ボランティアを「平等」に扱うことが大切。しかし、「平等」の意味は一辺倒ではない。複雑な仕事をしている人と単純な仕事をしている人に対してそれぞれどう感謝を表明するか、週に20時間も来てくれているボランティアと週3時間だけのボランティアに対してそれぞれをどう扱うか、など、各自その人なりに無償でケネディーセンターのためになってくれているのだと考えると、単純にコトの大小・多寡では評価できないことが多いのが難しい。

(2) ボランティア参加の動機／Brooks Boeke さん（同上）談

- おもな動機は「舞台芸術が好き」「友人もケネディーセンターでボランティアをやっているから」の2項。
- 「オープンハウス・フェスティバル」では、ギフト・バッグ手渡し係りが一番人気がある。人々とこやかに接して「Thank You!」と言われる仕事が一日ボランティアとしては一番楽しいのではないかと。
- アッシャーやステージ・エンジニア、あるいはアーティスト自身など、普通は「内部事情」に触れることもないような専門職の人々と接触できる、近い関係になれるのが魅力。

(3) 問題点・課題

- いかにか若い層（特に20～30代）を取り込むかが今後の課題。ボランティアという風習が「古い」ものになりつつある傾向への対策。共働きが増えたこと、片親の家族が増えたことなどから、余暇はできるだけ子供と過ごそうという傾向が強くなっている。
- 現在は、政府の外郭団体のいくつかと協力して、ケネディーセンターでの

■ THE KENNEDY CENTER FOR THE PERFORMING ARTS

ボランティアに参加するよう従業員に呼び掛けてもらっている。こういった形で、今後は一般企業（ビジネス）との連携・協力を画策して、若いプロフェッショナル層のボランティアをリクルートして行きたい。

—以上—

資料 KC-1 : ボランティア業務の内容 (通常運営時)

FRIENDS OF THE KENNEDY CENTER VOLUNTEER OPPORTUNITIES

GIFT SHOPS

The Gift Shops are staffed by volunteers seven days a week from 10 a.m. to 9:30 p.m. Volunteers are responsible for all sales transactions, (credit card charge, cash and check) and excellent customer service. The Gift Shops are a prime attraction to all visitors and produce significant revenue to help offset the expenses of the Kennedy Center's performing arts and public service programming.

TOUR GUIDE

The Kennedy Center Tour Program is staffed by volunteers seven days a week from 9:30 a.m. to 2 p.m. Volunteers are responsible for providing free public tours, congressional tours, scheduled group tours, access tours for people with disabilities, pre-scheduled foreign language tours, and VIP tours. The Kennedy Center Tour Program provides visitors with an opportunity to explore theaters, lounges and presidential boxes, as well as the many gifts that have been received from around the world.

EDUCATION RESOURCE CENTER (Library)

The Education Resource Center is staffed by volunteers six days a week from noon to 8 p.m. Volunteers are responsible for the daily upkeep of the files and records, for helping to maintain the collection, and for special projects that can satisfy the volunteer's interest as well as the needs of the reading room. The Education Resource Center collection encompasses many aspects of the performing arts. It is used by performers, directors, choreographers, and the public.

PUBLIC INFORMATION CENTER

The Public Information Center is staffed by volunteers seven days a week from 10 a.m. to 9 p.m. Volunteers are responsible for providing visitor information, performance information, and answering general questions. The Public Information Center provides visitors with information on services offered at the Kennedy Center such as free events, tours, performances, and the specially priced ticket program (for senior citizens, students, military personnel ranked E1-E4, and persons with disabilities.)

FRIENDS ADMINISTRATION OFFICE

The Friends Administration Office receives volunteer assistance five days a week from 10 a.m. to 6 p.m. Monday through Friday. Volunteers are responsible for receptionist and clerical needs, assisting with membership services, and assigned projects. Volunteers may also work on special projects for other Kennedy Center Departments as needed. The Friends Administrative Office coordinates all aspects of the Friends of the Kennedy Center Volunteer Program.

FRIENDSCRIPT

The newsletter of the Friends Volunteer Program, an official publication of The John F. Kennedy Center for the Performing Arts, *Friendscript*, is written, edited and read by volunteers, administration and staff and keeps the Center informed on volunteer activities.

October 1996
Volume IX, No. 9

Friends Script

25th Birthday Open House: A Storm of Success 'n' Flood of Praise

by John Gillon, Jr.

Between hurricane and high-water, the Kennedy Center, its staff and volunteers, both Friends and new recruits, welcomed more than 44,000 visitors to what one veteran observer termed "the best of the best" for the 25th Anniversary Open House, September 8.

Only two days after the windy-wet remnants of Hurricane Fran deluged Washington, DC and surrounding areas in rain, and hours before the rising waters of the Potomac and its tributaries inundated low-lying areas, festival co-chairs **Marilyn Schoon** and **Janet Jones** marshaled their 400-plus volunteers to guide visitors to entertainment at venues within and without the Kennedy Center.

Shelley Brown, Festival Director, said of Schoon and Jones's stewardship of Friends volunteer services that "it was a masterful effort," coming in the midst of several scheduled

performances such as "*Beauty and the Beast*" and concerts in the Eisenhower Theater.

"The volunteers really do it all," Brown said. "And Marilyn and Janet were an amazing team."

Park Ranger **Susan Creger**, attending her twelfth consecutive Open House—"I've been to them all ever since they were known as 'Inside Out'," -- also had high praise for this year's event and the volunteers. "It was a wonderful day, with a great crowd, and volunteers who gave their all, right up to the end, with the clean up. The volunteers stuck in there and were tremendous in their effort to clear the area after the Open House. It's not nice work, but it's awfully important to safety and to what visitors see of the Kennedy Center," Creger added.

Not all of the volunteers were seen: Friends **Liz Vecchione** and **Kaye**

Garvey--"with a team of about a half dozen determined folks," said Vecchione--saw to the feeding of the volunteer forces for the ten or eleven hours of set-up-to-clean-up. "We had a lot of food," said Vecchione. "And Kaye was there working from start to finish."

In the meantime, Kennedy Center visitors were treated to all the entertainment fixin's--beginning with their own participatory kazoo-and-whatever-else-made-music band. Kennedy Center Chairman **James Johnson** and President **Lawrence Wilker** wielded kazoos, while visitors added slide whistles, Pan and Peruvian pipes, plastic instruments, recorders and a particularly inventive mating of a brass mouthpiece with a length of a garden hose. Not to be outdone, some of the National Symphony Orchestra musicians, under the direction of NSO Music

Director **Leonard Slatkin**, joined in for a rousing performance of "Happy Birthday" as well as the NSO instrument petting zoo.

The Open House was sponsored in part by Target and United Airlines and many others. Featured performers included Los Lobos, and Nickelodeon TV comedian **Marc Weiner** and his "Weinerville Puppets."

In This Issue

Calendar	2
NSO Quilt	3
Tours	4
Volunteer Spotlight	5
Friends Historian	6
Lounge Review	6
NSO Show House	7
NSO Car Chances	7
Dr. Ushers (Part II)	9

資料 KC-3 : ボランティア申込用紙 (通常運営時) - 1/2

Friends of The Kennedy Center

THE JOHN F. KENNEDY CENTER FOR THE PERFORMING ARTS



VOLUNTEER APPLICATION FORM

WASHINGTON, D.C. 20566-0003
202 416-8300

NAME _____ DATE _____

HOME ADDRESS _____

CITY, STATE, ZIP _____

BUSINESS NAME/ADDRESS _____

CITY, STATE, ZIP _____

TELEPHONE (DAY) _____ (EVE) _____

BIRTHDAY _____ SOCIAL SECURITY # _____

EDUCATIONAL BACKGROUND: _____
month/day

_____ HIGHEST DEGREE ATTAINED: _____

MOST RECENT WORK EXPERIENCE (VOLUNTEER OR SALARIED): _____

Are you willing to be a volunteer at the Kennedy Center for at least one year? _____yes _____no

If no, please explain: _____

Are you willing to work one four-hour shift per week? _____yes _____no

If no, please explain: _____

Please check the volunteer positions that you are most interested in.

____ GIFT SHOP
____ INFORMATION CENTER
____ TOUR GUIDE

____ EDUCATION RESOURCE CENTER
____ FRIENDS ADMINISTRATIVE OFFICE

Please indicate the days and hours that you will be able to work.

	SUN	MON	TUES	WED	THUR	FRI	SAT
10-2							
2-6							
6-9:30							

NOTE: *Tour Guides* work 10-2 p.m DAILY
Office Volunteers work 10-2 p.m. OR 2-6 p.m. WEEKDAYS

Assignment policy: While every effort is made to allow individual preference as to day, time, and area, assignments are made according to available vacancies.

資料 KC-3 : ボランティア申込用紙 (通常運営時) - 2/2

What are your reasons for wanting to be a volunteer at the Kennedy Center?

What do you think best qualifies you to be a Kennedy Center volunteer?

Please list any community affiliations.

Will there be any conflict between your commitment to the Friends of the Kennedy Center and your other activities?

Please list two local references who are not relatives.

1. _____ day # _____ eve # _____

2. _____ day # _____ eve # _____

Person to contact in case of emergency:

Name _____ day # _____ eve # _____

Address _____

Relationship to you: _____

Where did you hear about volunteering for the Friends of the Kennedy Center?

Visiting the Kennedy Center Kennedy Center Volunteer Other _____
 Kennedy Center News Newspaper _____

You are not required to answer the following questions. The information provided will be used for research purposes only:

Current Status:

married
 divorced
 separated
 single
 widowed

 male female

Racial-Ethnic Information:

White
 Black
 Hispanic
 Asian or Pacific islander
 Native American
 other

Age range:

18-23 51-56
 24-29 57-62
 30-35 63-68
 36-41 over 69
 42-50

Are you a member of the Stars of the Kennedy Center? yes no

Are you a member of the National Symphony Orchestra Association? yes no



The John F. Kennedy Memorial Center for the Performing Arts

The Friends of The Kennedy Center Volunteer Handbook

Mission Statement

The John F. Kennedy Center for the Performing Arts is the national center for the performing arts and a living Presidential memorial.

The Kennedy Center will:

Embody, stimulate, and transmit the values of freedom, creativity, expression, and joy inherent in the performing arts the opportunity to dream, to risk, to excel.

Present and create programming of the highest standards that reflects the diverse cultural life of the United States and that recognizes and nourishes our international heritage.

Encourage, nurture and develop an audience for the performing arts from the widest possible population.

Welcome, value, support, and respect unconditionally our artists, funders, customers, visitors, employees and volunteers.

Set the standard of performance for programming and management in the performing arts.

Our hallmarks will be:

Quality

Diversity

Opportunity

資料 KC-4 : ボランティア・ハンドブック (通常運営時) -2/2 (目次)

Table of Contents

Mission Statement	
The John F. Kennedy Memorial Center for the Performing Arts	3
Hours of Operation.....	3
The Team.....	3
Organizational Chart.....	4
The Friends of The Kennedy Center	5
The Definition of a Friends of The Kennedy Center Volunteer	5
The Duties of a Friends Volunteer.....	5
Volunteer Opportunities with The Friends of The Kennedy Center	5
Administrative Offices.....	6
The Education Resource Center.....	6
<i>Friendscript</i> The Official Newsletter of The Friends of The Kennedy Center	6
Guided Tours.....	6
The Kennedy Center Gift Shops	6
The Public Information Center.....	7
Shift Chairperson	7
The Volunteer Advisory Committee.....	7
General Rules and Regulations of The Friends Volunteer Program	8
Application to The Friends of The Kennedy Center Volunteer Program	8
Requirements for Participation	8
Orientation and Training.....	9
Transition Period.....	9
Performance Appraisal.....	9
Shifts	9
Shift Chairpersons.....	9
Sign-In Sheets.....	10
Attitude.....	10
Conduct	10
Attire.....	10
Health and Hygiene	10
Attendance and Punctuality.....	10
Absences	11
Substitutions	11
Severe Weather Emergencies	11
Retention of Active Status	11
Re-assignment.....	11
Personal Opinions.....	11
Prejudices	12
Resignation	12
Suspension	12
Dismissal	12
Volunteer Benefits	13
Membership Opportunities at The Kennedy Center	13
Volunteer Recognition	14
The Friends Volunteer Recognition Gala.....	14
Friends for Life (Emeritus Status).....	14
Acknowledgment of Contribution.....	14
General Rules and Regulations of The Kennedy Center	15
Animals.....	15
Eating and Drinking	15
Emergencies.....	15
Lost Children/Lost Parents	15
Lost and Found.....	15
Packages or Envelopes.....	15
Parking	15
Photography	16
Security Credentials	16
Smoking	16
Visitor Conduct	16
Illness or Accident	16
Standards of Ethical Volunteer Conduct	17

High-Quality Service

Quality is the key word. We offer a high-quality product, delivered with high-quality service.

Our goal is to treat every patron with equal fairness, yet to individualize each contact and make each patron feel that he or she is important to us. Even though you may have heard the same question 100 times that day, it will probably be the first time the patron has asked it.

Using the patron's name lets him or her know you care.
(i.e. "Thank you for your support, Mr. Thomas," not the familiar --
"Thank you for your support, Ed.")

Dissemination of correct information is an essential part of providing good service. Be willing to handle questions if you are certain that you have the correct information. It is just as important to know to whom you should refer the patron for assistance.

Nothing is less helpful than giving incorrect information. Don't be afraid to say that you don't know the answer but do make every effort to refer the patron to the correct source.

Don't use theatrical slang (i.e. "The theater is dark, comps," etc.)
Use words the patron understands.

A patron doesn't usually care what our procedures or rules are; he or she just wants to conduct transactions smoothly and pleasantly.

To the patron, each of us represents the Kennedy Center as a whole, not as an individual department. If there is a problem, do not pass the blame. Apologize for the situation on behalf of the Kennedy Center and try to solve the problem.

When a patron purchases tickets, he or she is buying the total experience--from the moment the patron first contacts us to the time he or she leaves the Kennedy Center grounds.

Good service breeds patron loyalty. This is very important because it costs the Kennedy Center much more to acquire a new patron than it does to retain the same patron year after year.

Always thank the patron for coming in or calling.

*この他に電話対応や身障者対応の要領が記載されている。

VOLUNTEER GUIDELINES

The Kennedy Center's volunteers serve as its most visible ambassadors to the general public. The following policies have been established to maintain a consistent and positive image of the Kennedy Center. All volunteers are expected to be familiar with these policies.

1. Always be available, courteous, and helpful to each patron, as well as to fellow volunteers.
2. Each volunteer should learn and be able to do all the tasks. If you don't know how to make coffee, ask a colleague to teach you. Familiarize yourself with the set-up and participate in both set-up and clean-up.
3. Volunteers should arrive no later than **45 minutes** before the start of the performance in order to set up lounge and be briefed on any new information. Being late inconveniences the others who are working with you.
4. Volunteers should not leave before the scheduled end of their activity unless prior arrangements have been made with the activity chairperson. Activity is over after the end of the last intermission. You may stay to see the rest of the performance.
5. If you find that you will not be able to work your shift, please try to find a substitute, or notify Sally Sherman at (202) 342-3137, as soon as possible so that a replacement can be found. Do not assume that a message left with the answering service will be received in a timely manner. If you are unable to reach Sally, or if you have left her a message and she has not called you back to confirm the message, call Roberta Keating at (703) 280-4354. Call the Manager of the Donor Lounges, Julia Henderson at (202) 416-8065, if you are not able to reach Sally or Roberta.
6. Volunteers are encouraged to provide suggestions to their shift chair or to the Manager of Volunteers that may increase the effectiveness of the volunteer program.
7. Volunteers are expected to continually update and expand their knowledge about the Kennedy Center by attending all orientation and training sessions as scheduled, and by reading brochures and information sheets.

***Emergency Phone Number: 7900**

(Please do not call 911, it does not transfer out of the Kennedy Center)

8. Placement and position are not guaranteed to volunteers who fail to fulfill their volunteer responsibilities in a satisfactory manner. For the lounges, this means frequent and continuous tardiness and/or absences without making provisions for a substitute. Do not bring friends or others to the lounge if they do not have tickets. **Do not abuse your own lounge access to see performances for which you do not have a lounge assignment. If you want to see a performance and are not assigned to work the lounge for it, you must buy a ticket.** A volunteer's services may no longer be needed if s/he is unable to meet the time commitment, if his or her work does not meet acceptable standards, or if that volunteer position is no longer appropriate to the operation of the organization.
9. Always wear and make visible your Friends volunteer name badge and security badge. Notify your shift chairperson if you misplace your badge so that it can be replaced.

資料 KC-6 : 業務別ボランティア・マニュアル (通常運営時) -2/2

-The Friends of The Kennedy Center LOUNGE MANUAL から抜粋-

10. Volunteers should promote Kennedy Center membership at appropriate events (NSOA and Stars).
11. Contributors at eligible levels to the National Symphony Orchestra Association and members of the Golden Circle are admitted to both lounges at all times. WPAS members are admitted to the Chinese lounge during **WPAS PERFORMANCES ONLY**. WPAS now lists access to the lounge as a benefit for \$50 members. The lounge privileges also apply to the Choral Arts Society performances. Admittance to the lounges is a benefit of membership at particular levels. Please do not allow and/or invite everyone in when serving in the sparsely attended Opera lounge. The lounge is not an open hospitality room. To those who pay the membership fee to get in, this is not acceptable.
12. All counter/table tops and public locations should be kept neat and clean. Personal items are to be kept out of sight of the public.
13. Volunteers are expected to dress neatly and appropriately for the event. In the lounges, men should wear a tie and jacket. Women may wear a nice dress, suit, or pant suit. Please do not wear sports attire, shorts, jeans, tennis shoes, or similar clothing. No gum chewing is allowed while working on the event.
14. Volunteers are expected to eat meals before or after their shift--not during the shift. All food and drink is to be kept out of sight of the public.
15. In the event that you should need more ice in the lounge, an ice room is located in the Hall of Nations, first door on the left as you enter from the Grand Foyer. Check supply early in the shift.
16. Pour only 2/3 cup of coffee. Members do not usually have enough time to drink a whole cup once it has cooled. Keep the water cups stacked. Members assume unstacked cups are used. Chinese Lounge receives 5-20 pre-performance and 80-150 during intermission. If the performance is WPAS sponsored or "sold out," be prepared to serve six to eight pots of coffee. Also, for WPAS performances, cold water and coffee should be pre-poured before intermission begins to accommodate a large crowd.
17. Three sets of bells will ring at seven, five and two minutes prior to the performance and at intermission.
18. There will usually be at least three people assigned to a lounge (during a WPAS performance, up to four people will be provided by the Friends and another two by the WPAS). If a volunteer does not show and help is needed, notify **Julia Henderson** at 416-8065. For WPAS performances if a WPAS volunteer has not shown, contact a WPAS staff person located on the orchestra level. If a volunteer does not arrive or there are any problems, please be sure to notify **Roberta Keating** the next day at (703) 280-4354.
19. Attendance in the lounges is proportional to the size of the audience. Check with an usher to get some idea of how well a performance has sold (Chinese Lounge receives 5-20 pre-performance and 80-150 during intermission). Also check the number of intermissions and the completion time of the performance.
20. The Kennedy Center is a smoke-free building.

*この他に Tourscript (ツアー・ガイド用) Manual of Procedures (ケネディセンターに関する各種情報集) などがある。

資料 KC-7 : Open House Arts Festival のパフォーマンス・スケジュール 1/2

The Kennedy Center 25th Birthday Open House Arts

	PLAZA BIRTHDAY STAGE	RIVER STAGE sponsored by WJZW	KIDS' STAGE sponsored by RADIO ZONE (Grand Foyer)	ATRIUM COFFEEHOUSE sponsored by WMZQ
12:00	WORLD'S BIGGEST BIRTHDAY BAND conducted by Leonard Slatkin 12 NOON			
1:00	BIG VILLAGE world beat band 12:20-1:10 P.M.	RICKY LOZA AND FRIENDS Latin jazz and salsa 12:15-1 P.M.	DINOSAURS FOREVER! Dinorock characters in concert 12:30-1:15 P.M.	GRUPO BORIKÉN Puerto Rican folk music 12:15-1 P.M.
2:00	MAJEK FASHEK AND THE PRISONERS OF CONSCIENCE Nigerian rock/reggae performer 1:30-2:15 P.M.	LAST TRAIN HOME folk/country/rock band 1:15-2 P.M.	MARK WEINER with his puppet characters from Nickelodeon's "Weinerville" 1:30-2:15 P.M.	THIRTEEN STRINGS FROM SCANDINAVIA Norwegian and Swedish folk music 1:10-2 P.M.
3:00	SYD STRAW AND THE SKELETONS roots rock 'n roll 2:45-3:45 P.M.	THE EMPTYS rock 'n roll band 2:15-3 P.M.	RIBAUDO, TRAINOR & MUIR children's singer/songwriters 2:30-3:15 P.M.	THE BOYS AND ME upbeat country band 2:10-3 P.M.
4:00		TOM PRINCIPATO BAND local blues legend & his band 3:15-4 P.M.	MARK WEINER with his puppet characters from Nickelodeon's "Weinerville" 3:30-4:15 P.M.	SUSAN GRAHAM WHITE acoustic guitarist-singer/songwriter 3:10-4 P.M.
5:00	LOS LOBOS Los Angeles rock 'n roll band with Latin rhythms 4:30-6 P.M.	FUSION Caribbean jazz with steel drums 4:15-5 P.M.	DEBI SMITH children's singer/songwriter 4:30-5:15 P.M.	KEVIN JOHNSON AND THE LINEMEN rock 'n roll with a country twist 4:10-5 P.M.
6:00				SUNDOWN traditional country music band 5:10-6 P.M.
SPECIAL EVENTS				
EDWIN FONTÁNEZ'S WASHINGTON CHALK FESTIVAL Participate in creative chalk art MOTOR PLAZA		FACE PAINTING Children become fantastic characters PLAZA PARKING LOT	MEMBERS' LOUNGE As a special benefit for all Kennedy Center Stars and NSOA members, the Chinese Lounge in the Concert Hall (box tier level) will be open. Please be prepared to show your membership card. Free refreshments will be served. For information about how to become a Star or an NSOA member, please visit the membership table in the Grand Foyer.	
NSO INSTRUMENT PETTING ZOO Try your favorite orchestral instrument with the NSO Women's Committee HALL OF NATIONS		KENNEDY CENTER ONLINE/ARTSEGE Explore the Kennedy Center Home Page NORTH GALLERY	REFRESHMENTS Enjoy hamburgers, hot dogs, and beverages at the food stations located on the north end of the River Terrace, Atrium Coffeehouse, Plaza parking lot, and north end of the Plaza.	
BALLOONOLOGIST RIVER TERRACE		SHORTWAVE RADIO Broadcast a message live around the world with the North Shenandoah DX Club SOUTH GALLERY	PHOTO EXHIBIT "A Family Album"—a look at 25 years of performance at the Kennedy Center NORTH GALLERY	
			FREE GIFT BAG North end of the Plaza and Grand Foyer. One per family, please. While supplies last.	
			WATER BALLET by Washington Water Bus, Inc. POTOMAC RIVER at 3 p.m.	

資料 KC-7 : Open House Arts Festival のパフォーマンス・スケジュール 2/2

Festival

KEY Admission by ticket only (distributed 40 minutes before each performance at the theater).
 6g Interpreted in sign language. Visually rich performances. ★ Washington Area Music Award winner



TERRACE THEATER
 sponsored by Mid Atlantic Magazine

CONCERT HALL
 sponsored by WGMS

EISENHOWER CABARET
 sponsored by WBIG

AMERICAN FILM INSTITUTE
 sponsored by WETA

THEATER CHAMBER PLAYERS
 classical chamber music
 12:30-1:10 P.M.

STARS OF HOPE
 Jubilee-style gospel
 12:15-12:55 P.M.

THE RED BALLOON
 12:15-12:50 P.M.

TONY POWELL MUSIC AND MOVEMENT
 modern dance and music
 1:45-2:20 P.M.

NSO FAMILY CONCERT
 conducted by Leonard Slatkin
 ★ 1:10-1:55 P.M. 6g

THE CROWTATIONS
 famous Motown puppets
 1:15-1:55 P.M. 6g

MOUNTAIN TOPS
 1:00-1:30 P.M.

UJIMA
 (United Joyfully in Movement Arts)
 A look at classical ballet and other dance forms
 2:45-3:35 P.M. 6g

NSO FAMILY CONCERT
 conducted by Leonard Slatkin
 2:25-3:05 P.M.

20TH CENTURY POP
 starring Merry Clayton, Rita Coolidge, and Darlene Love
 2:15-2:55 P.M.

THE COVENANT PROMISE
 2:00-2:15 P.M.

THE RED BALLOON
 2:30-3:05 P.M.

WASHINGTON OPERA SOLOISTS
 singers in family program
 3:25-4 P.M.

WASHINGTON OPERA SOLOISTS
 singers in family program
 3:25-4 P.M.

THE LEGENDARY ORIOLES
 traditional gospel vocal ensemble
 ★ 3:15-3:55 P.M.

MOUNTAIN TOPS
 3:15-3:45 P.M.

TAPPERS WITH ATTITUDE
 contemporary tap dance
 4:30-5:15 P.M.

AMERICAN YOUTH PHILHARMONIC
 family concert conducted by Luis Haza
 4:20-5 P.M.

THE COVENANT PROMISE
 4:00-4:15 P.M.

THE RED BALLOON
 4:30-5:05 P.M.

FRIDAY MORNING MUSIC CLUB ORCHESTRA
 family concert
 5:20-6 P.M.

FRIDAY MORNING MUSIC CLUB ORCHESTRA
 family concert
 5:20-6 P.M.

MOUNTAIN TOPS
 5:30-6 P.M.

PLUS... BACKPACK PUPPETS
 by Joe Pipick

LULA
 Jeanne Wall's entrancing circus clown

THE GARBANZO BROTHERS
 Jugglers extraordinaire

COOKIE MONSTER
 12-12:20, 1-1:20, 2-2:20, 3-3:20 p.m.

PIRATES ROYALE
 Music of the British Isles

JORDAN KITT'S
 Piano Demonstration

Courtesy of TARGET®
 Indy Racecar

Bozo the Clown

Giant Birthday Card
 created by American Greetings

ACKNOWLEDGMENTS

The Kennedy Center would like to thank The John Schreiber Group, Michael Schreiber and the Washington Area Music Awards, Children's Television Workshop, Bill Kisse, Video Lab Corp., Planet Cotton, and thank you to all the Friends of the Kennedy Center.

THE KENNEDY CENTER 25TH ANNIVERSARY GALA
 Catch a sneak preview at 12:15 and 3:15 p.m. in the Bird Room of the spectacular celebration of the Kennedy Center's 25th Birthday—featuring performances by Aretha Franklin, Richard Dreyfuss, Kathleen Battle, Peter Nero, Laurence Fishburne, Leonard Slatkin and the National Symphony Orchestra, Dance Theatre of Harlem, Billy Taylor, Trisha Yearwood, and many more stars.
 (The entire show airs tonight on WETA TV Channel 26 at 9 p.m.)

資料 KC-8 : ボランティア・リーダー・リスト (Open House Arts Festival)

<u>OPEN HOUSE 1996 LEADERS</u>		
	8/28/96	
	<u>Chair</u>	<u>Co -Chair</u>
<u>Volunteer Chairs</u>	JANET JONES	MARILYN SCHOON
Animal Characters	Doris Posner	
Balloon Sculpture		
Birthday/Band Line	Gloria Urias	George Urias
Coffee House	Anne Marie Crawford	Lottie Bexhoft
Crowd Management	Bill Wortley Bill Turner	Duane Flemming Tom Pachler
Communications Manager		Elton Nelson (2-7)
Escorts	Janice Peters	Rachel Friedman
Facepainting	Alice Potts	
Gift Bags	Pearl Jefferson	
Gift Shops/T-shirt sales	Ellen Karst	Sue Davis
Hospitality	Loretta Berg	
Information Tables & Floaters	Jane Allaire	Susan Stroud
Information Restockers	Ellie Donahue	
Membership Lounge	Julia Henderson	
Petting Zoo	Nancy Crum	Claire Chytilo
Public Information Center	Helen Gerry (am) Carmella Gatto	Fran Towson (pm) Bobbie Jacobs
Sign Manager	Pat Baughman	
Stage Crew	Jay Kohn	
Stroller Check In	Pat Loach	
Volunteer Check-In	Mary Maze	Donna Schwartz
Volunteer Refreshments	Liz Vecchione	Kay Garvey

資料 KC-9 : ボランティア名簿 (Open House Arts Festival) (抜粋)

INFORMATION

PUBLIC INFO CENTER

10-3

1. Helen Gerry, Chair
2. Carmella Gatto, Co-Chair
3. Bernice Goldstein
4. Helena Openchowski
5. Muriel Ardery

3-6

1. Fran Towson, Chair
2. Bobbie Jacobs, Co-Chair
3. Rose Lee
4. Evelyn McCoy
5. Helen Donahue

INFO FLOATERS, Jane Allaire, Chair; Susan Stroud, Co-Chair

INFO FLOATERS--STATES, MAIN LEVEL

12-3

1. Jane Allaire
2. Carl Batchelder
3. Michelle Calhoun
4. Maria Khatchadourian
5. Barbara Morris

3-6

1. Susan Stroud
2. Joyce Hubbard
3. Alice Potts
4. Sydney Manekofsky
5. Emanuel Payton

INFO FLOATERS--NATIONS, MAIN LEVEL

12-3

1. Susan Stroud
2. Jo Ann Hearld
3. Jo Ann Peltier
4. Mary Benn
5. Marian Matticole

FACE-PAINTING,

Alice Potts, Chair

12-4

1. Sheena Brew
2. Alice Potts
3. Barbara Merry Cohen
4. Camilla Stall
- 5.

CHALK ART, 12-4

1. Diane Henshaw
2. Barbara Babbs
3. Cheryl Thompson

BALLOON SCULPTURE, 12-4

1. Stephen Crowell
2. Steven King
3. Ryan Kuhn
4. Steve Moore
5. Adam Lewis
4. Steve Moore

GIFT BAG DISTRIBUTION

PLAZA--Pearl Jefferson, Chair

12-3

1. Marie Argana (12-2)
2. Chingwa Chang
3. Nancy Cahill
4. Verna Murphy
5. Ellen Park
6. Bret Sturtevant

GRAND FOYER--Deborah Mayronne, Co-Chair

12-3

1. Frances Oxenberg
2. Helen Clark
3. Mary Cleary
4. Irwin Title
5. Celeste Schamel

ESCORTS, Janice Peters, Chair; Rachel Friedman, Co-Chair

GARBANZO BROS., 12-4

Adja Acquah-Harrison

BACKPACK PUPPETS

(Joe Pipick) 12-4
Holly Rollins

LULA (Jeane Wall), 12-4

Cindy Lankford James

PYRATES ROYALE, 12-4

Theresa Gallo

BIRTHDAY BEAR, 12-4

Catherine McKay

BOZO THE CLOWN, 12-6

Monie Upham

COOKIE MONSTER

(Jason Palmquist), STATES, 12-4

1. Ellie Gibson
2. Mary Mullen
3. Nancy Harding

STAGE CREW/ LIAISONS, 10-7

Jay Kohn, Chair

STAGE CREW

1. Joyce Allen
2. Jared Bartage
3. Glen Barnes
4. Frank Calandra
- 5.
6. Jimmy James
7. Matt Neufeld
8. Laurie Young
9. Roy Preston
10. Charles Shelleman
11. Peggy Pierron
12. Terry Rutkowski
- 13.

ARTIST HOSPITALITY,

Loretta Berg, Chair

CONCERT HALL

12-3

1. Gladys Semeryan
2. Marguerite Nowak
3. Rick Reliz (12-4)
4. Pattie Lewis (12-4)

3-6

1. Lani Etherton
2. Diana Henshaw
- 3.
- 4.

EISENHOWER GREEN ROOM

12-3

1. Lisa Bell
2. Luella Harter
3. Chuck Harter
4. Ethel Dwork

3-6

1. Herb Brownstein
2. Sylvia Brownstein
3. Ann Steinberg
4. Steve Hand (2-6)

TRAINING ROOM

12-3

1. Juana Olmos
2. Libby Cohen
3. Ron Cohen
4. William Davis

3-6

1. Deborah Mayronne
2. Mary Cacciato
3. Maria Carroll
4. Lyn Delinger

MAIN STAGE--TENT

12-3

1. Debbie Dumas-Hand
2. Marguerite Lucas
3. Helen Lyons
4. Joyce Hubbard

3-6

1. Pam Curtis
2. Ross Curtis
3. Sheri Maeda
4. Linda Hill

* 14 ページにわたり、業務別、担当時間別にすべてのボランティアの氏名が記載されている。

資料 KC-10 : ボランティアへの挨拶状 (Open House Arts Festival)

OPEN HOUSE XII

Sunday, September 8, 1996
12 Noon — 6 p.m.

Dear Potential Volunteer,

The Twelfth Annual Kennedy Center Open House Arts Festival is on Sunday, September 8 from 12 noon to 6 p.m. "Open House" is the Kennedy Center's biggest annual community outreach event, and its tremendous success is always in large part due to the committed efforts of Friends volunteers like you.

This year's Open House will end the year-long celebration of the Center's 25th Anniversary Season with an accent on the international. We are also very fortunate that Janet Jones and Marilyn Schoon will reprise their 1995 duties as Open House Volunteer Chairs.

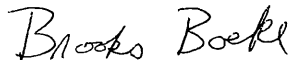
For your convenience, there will be two special orientation sessions: **Wednesday, September 4, from 2:30 to 4:30 p.m.** or **Thursday, September 5, from 6:30 to 8:30 p.m.** Both orientations will be held in the **Eisenhower Rehearsal Room**. Please choose to attend only **one** of these sessions, and r.s.v.p. with your choice to (202) 416-8320 by **Tuesday, September 3**. If you plan to work at Open House, it is very important that you attend one of these sessions. There you will learn about new Open House policies, performers and activities—and receive your official Open House T-shirt—*which will be given only at these sessions and only to those who work the Festival*.

If you want to volunteer for this spectacular event, please complete the enclosed application. You will find descriptions of the jobs at Open House attached. Every job is a combination of hard work and fun. Return the self-mailing application to the Open House Chairs at The Friends of The Kennedy Center by **Friday, August 30**. If you have any questions, please call the Friends office at (202) 416-8320.

Please note that, while we will try to accommodate assignment requests, assignment priority is given to those who can work the entire day, as well as to the order in which your application is received. When space is available, free parking for Open House volunteers will be guaranteed throughout the day. Of course, the earlier you can get to the Center, the better!

I look forward to seeing you at the Kennedy Center for Open House XII on September 8!

Sincerely,



Brooks Boeke
Assistant Manager
The Friends of The Kennedy Center

資料 KC-11 : ボランティア参加申込書 (Open House Arts Festival)

**TWELFTH ANNUAL
KENNEDY CENTER OPEN HOUSE
SUNDAY, SEPTEMBER 8, 1996
Volunteer Application Form**

Name: _____ Organization _____
(Friends, AFI, NSO, NSOA, STARS)

Address: _____

Telephone (H): _____ (O): _____ FAX _____

_____ I have the time and interest in serving as an area leader for the 1996 Open House.

_____ I am interested in serving on the 1997 Open House Committee.

Have you volunteered at previous Open Houses? _____ If so, how many? _____

What assignments have you had at previous Open Houses? _____

Please select your desired work assignment shift (number preference 1, 2, 3):

_____ 10:00 AM to 7:00 PM (job assignment priority)

_____ 10:00 AM to 3:00 PM (orientation is at 10:00)

_____ 2:00 PM to 7:00 PM (orientation is at 2:00)

_____ available for 8:00 AM starting time

_____ Please check here if you are willing to work where you are most needed.
(Please list your preferences below as well.)

Please read through the attached job assignment descriptions and number your choices below in order of preference, with 1 being most desired:

- | | |
|---------------------------------|-----------------------------------|
| _____ Balloonist Assistant | _____ Information Tables |
| _____ Character Guide | _____ Instrument Demonstrator |
| _____ Clean-up Crew | _____ Membership Lounge (Chinese) |
| _____ Coffeehouse Host | _____ Musical Zoo Assistant |
| _____ Crowd Management | _____ Parking Lot Monitor |
| _____ Escort: performers | _____ Radio Monitor |
| _____ Face Painting assistant | _____ Refreshment Monitor |
| _____ Freight Elevator Operator | _____ Set-up Operations |
| _____ Gift Bag Distribution | _____ Stage Crew |
| _____ Gift Shops | _____ Stroller Check-in |
| _____ Grounds Monitor | _____ Theatrical Characters |
| _____ Information Center (PIC) | _____ Ticket Distribution |
| _____ Information Floater | _____ Volunteer Check-in |
| _____ Information Restocker | _____ Volunteer Refreshments |

Job assignments will be made based on order of receipt (date) and desire to work the whole day.

Volunteers requesting full day assignments, please note if you wish to change assignments during the day.

Please identify any special needs or requests below. We will do our best to accommodate them.

(Example: can only work inside, wish to work with _____, physical limitations.) Please be specific.

T-Shirt size: _____ Medium _____ Large _____ Extra Large _____

T-shirts will be distributed at the orientation or on the morning of Open House only.

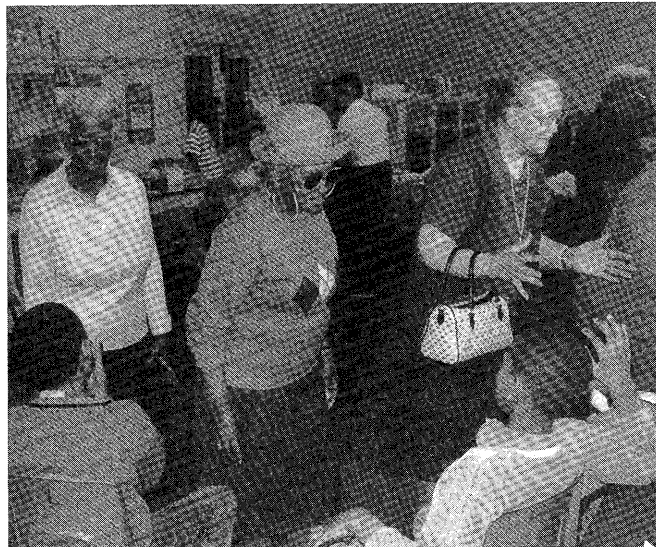
Please return the Friends: (SELF-MAILER: ADDRESS RESERVE SIDE)

V. AUTUMN STAGE

素人の高齢者をボランティアとしてリクルートし、語りべや即興劇の役者にトレーニングし、高齢者用施設などへの慰問公演ツアーを行っている。劇場やホールなどの活動拠点を持つボランティアではないが、即興劇というパフォーマンス・アーツと高齢者の生きがい再発見が結びついたユニークなボランティア活動と言える。

📄 施設・運営の概要

運営母体	The Encomium Arts, Inc.
所在地	PO Box 43296, Upper Montclair, NJ 07043
TEL	201-746-5184
FAX	201-746-2833
開館年月	1985年
年間予算	年間約1,000万円
組織体制	有給スタッフ：6～8名



😊 ボランティア制度の概要

名称	・Autumn Stage
導入時期	・1990年（ツアー公演の開始）
登録人数	・30～100名（年によって異なる）、年齢は60～80才。うち劇団員は20名弱、平均婦負例76,7才。
導入の経緯	・ある企業から15人乗りのバンの寄付を受けたことがきっかけ。
活動内容	・ニュージャージー州の中の養老院や病院、デイケア・センター、公民館、診療所、YMCA、大学の演劇科、高齢者社会問題科などで即興劇を上演。
募集方法	—
研修	<ul style="list-style-type: none"> ・一番最初の面接を兼ねたワークショップで「即興とは何か」を理解するための体験トレーニングを行う。 ・素養のある人は、プロの役者のもとで継続的なトレーニングを行う。
実費支給	—
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者用施設を訪れて公演を行うことによって、同じ高齢者がエネルギーに生きている、長い人生経験が“即興舞台”の素材になるなど、施設の高齢者が元気づけられることが多い。 ・公立学校や大学生を対象に行われる公演では、昔の生活・文化を伝えるという意味あいも生じる。 ・1989,95年度のニュージャージー州ボランティアプログラムの州知事賞を受賞。 ・メンバーの体調不良や資金不足なので本年度の活動は停滞気味。

インタビュー記録

- ・訪問先：The Encomium Arts, Inc.
- ・住所：PO Box 43296, Upper Montclair, NJ 07043
- ・電話：201-746-5184 FAX: 201-746-2833
- ・面会者：Dr. Rosilyn Wilder…創業者・主力運営者

1. 事業主体の概要

(1) 設立、予算規模等

- ・設立年：1985年
- ・有給スタッフについて：
 - ・今年度は通常より活動が停滞ぎみであるが、通常（健全時）の運営状態の「有給スタッフ」は、①年間のスケジュールとブッキングを調整・管理する者、②アート・コンサルタント（即ちプロの俳優、演技指導やデモンストレーションにあたる者のこと）の2種類。
 - ・②のスタッフについては、日当ベースの雇用。通常いちどきに6～8名を雇い、それらが二つのチームになって指導にあたる。二つのチームは、それぞれ“異なる文化テーマ”を扱うようにする。
 - ・①のオフィス・ワークは、さらに名簿上30～100人のシニア・ボランティアによってサポートされている。
- ・年間予算について：
 - ・今年度は活動が停滞しているが、最も活動が盛んだった年の年間予算は、9月のシーズン始めから翌年6月のシーズン終了時までの1年間で、公演のための予算が\$70,000～\$110,000、事務経費（電話代／郵送費／人件費／リハーサル・スペース代等）が一公演あたり\$50～\$750。公演現地への交通費は、上記に含まれない。

(2) The Encomium Arts の活動

① Respect for Diversity リスペクト・フォー・ダイバーシティ

- ・小学校高学年～中学生を対象とするプログラム。地元の高齢者と一緒になって演劇づくりをする。

② Autumn Stages オータム・ステージ

- ・演劇には素人の高齢者をボランティアとしてリクルート。彼らを、語りべや即興劇の役者にトレーニングして、高齢者用施設などへの慰問公演ツアーを行うプログラム。以下の報告は、この「オータム・ステージ」についてのもの。

2. オータム・ステージの活動内容

(1) 面接&ワークショップ

- ・ボランティア・スタッフの対象は、演劇の素養を持たない素人で、かつリ

タイアした高齢者。年齢は60歳以上～80歳代半ばくらいまで。

- 一番最初の面接を兼ねたワークショップでは、「即興とは何か」を理解してもらうための体験トレーニングを行う。

*注：このワークショップ及び後述のトレーニング・セッションの見学を予定していたが、96-97年度の最初のワークショップ（11月）には参加者の多くが体調を崩したため中止になった。次のワークショップの予定は12月現在でまだ未定。昨今の文化関係への助成金縮小化のあおりをうけて本年度の予算がまだ決定できない状態で、そのため、活動は少々停滞ぎみのように見える。

(2) ロザリン博士の説く「即興とは何か」：

- 「即興」とは、予定していたこととは違うことに直面した時にとる行動すべてを意味する。午後から始まるワークショップでは、「今朝から現在までの時間で、朝起きた時に予定していたのとは違うことが何かありませんでしたか？」といった問い掛けから始まる。集まったボランティア志願者たちは「昼ごはんを抜いてしまった」「友人の〇〇が電話でつかまらなかった」などと答える。「それで、あなたはどうか対処しましたか？」とロザリン博士が問う。「スナックを買って食べ食べここに着た」「代わりに△△のところへ言付けを頼んだ」などの解答が返ってくると、「それが！、『即興』ということなんですよ」と説明する。
- こうしたことから、「即興」ということが特別な技術や才能の要ることではなく、誰にでもできること、誰でもが人生の中で普通に行っていることだということを体得してもらう。
- 観客を参加させて行うオータム・ステージの即興劇も、「予定していたことと違うことに対処し続けること」から完成する舞台である。従って、特別な技術や才能など必要なく、人生の長い経験＝すなわち多くの“即興”をこなしてきた高齢者であれば誰にでもできることだ、ということを読む。
- 「誰にでも」とは言え、向き／不向きはある（例えば、科学者のような“分析型”の人は不向きとのこと）。「不向き」の人は、ツアー公演のブックイング担当、チケット・セールス担当、DMやチラシの配付郵送担当などにまわる。

(3) トレーニング・セッション

- 「向いている」人は、Encomium Arts が雇ったプロの役者のもとで継続的なトレーニング・セッションに参加。トレーニングの内容は、「語り」「即興」「舞踊」「マイム」「発声練習」など、個人の資質により異なる。特に「即興」のトレーニングについては、プロの役者がみずからさまざまな短い即興劇をデモンストレーションして（いかに即興劇が難しいものではないということを見せる、という方法で指導する）。
- シーズン中は月に3回～5回の顔合わせを兼ねたトレーニング・セッションがあるため、ボランティアとはいえ、相当な度合いの傾倒（コミットメント）がないとメンバーを務めるのは無理。
- トレーニング・セッションは、大学の演劇部の生徒や地元住民の参加も可。

■ Autumn Stage

主要スポンサーであるニュージャージー州のブルームフィールド・カレッジの講堂で行われることが多い。

3. オータム・ステージの公演内容

(1) ツアー公演

- ・ツアーの開始は1990年以来。ある企業から15人乗りのバンの寄付を受けたことから始まった。
- ・おもな公演場所はニュージャージー州の中の養老院や病院、デイケア・センター、公民館、診療所、YMCA、大学の演劇科、大学の高齢者社会問題科、高齢者問題に関するセミナー・コンフェレンスなど。

(2) 公演の内容

- ・公演はたいてい2時間。最初は、ボランティア・メンバーが自分の人生のひとこまを語る「ライフ・ストーリー・テリング」で始まる。
- ・語りの内容は、「子供だったころに毎朝魚売りがやって来て……」「少女のころ、カーテンを取り替えなさいと母親に言われたけれどプッシュピンがみつからなくて……」といった他愛のないものが多い。が、そんな中にも、「そういえば昔は魚売りなんてものがあつたなあ～」「カーテンレールなんてのがなくてそういえばプッシュピンを使つてたっけ…」といった思いを観客に喚起させるヒントが潜んでいる。
- ・「誰かカーテンをつけるの手伝ってくれる人、いませんか？」といった展開で、観客の舞台への参加を呼び掛ける。舞台上上がった観客のセリフ、身振り、動作などに応じて、“即興”でストーリーを展開して行く。

● Life Drama における即興劇の様子

- Come, Step Into My Life by Rosilyn Wilder, New Plays Book, 1996- より





● ツアー10周年を祝うオータム・ステージ座のメンバー
- Come, Step Into My Life by Rosilyn Wilder, New Plays Book, 1996-より

3. 劇団員ボランティアのプロフィールと動機

(1) プロフィール

- ・現在劇団員となっているボランティア・メンバーは、約17～20名ほど。核となっているメンバーは7名。年齢層は62歳～80歳代半ばまで。平均76、77歳。ボランティア・メンバーの最長歴は11年。
- ・典型的な劇団員像というものはない。現役時代の職業も様々、現在の家族構成も独り者あり、子供と妻と暮らす大家族の者あり、老夫婦者あり、という具合に様々。

(2) 動機

- ・「Now is the time to give back (世の中にお返しをする時期だ)」というのが、オータム・ステージのボランティア劇団員にとっての参加の動機。
- ・「老人はこうあるべき」という通念に押しまかされたくないという思いのある人が多い。

4. プログラムの意義

- ・ニュージャージー州のような一般的なアメリカでは、高齢者の楽しみは、食べることやギャンブル(カジノなど)、井戸端会議など、“非生産的なこと”に集約される。この有り余る時間を“生産的な行為”に費やすことは、高齢者自身にとっても人生の張り合いとなり、また社会全体にとっても意味がある。

■ Autumn Stage

- 高齢者用施設を訪れて公演を行うことによって、施設の高齢者が元気づけられることが多い。「同じ高齢者がエネルギーに生きている」「長い人生経験が“即興舞台”という生産的な材料になり得る」という事実が、世間を忘れて施設内に埋没してしまいがちな彼らを鼓舞するとのこと。
- 公演が、公立学校の生徒や大学生を対象に行われる時には、「昔の生活・文化を語り伝える」という意味合いも生じる。特に、最近の（アメリカの）子供は、親の離婚、家庭の崩壊、両親の共働き、核家族化といった現象のせいで、過去と現在の自分との接点を持たず、そのため過去を通じて現在の社会を眺めるという視点も持たないままに育つケースが多い。高齢者による生の語りとそこに派生する“即興”のライブ感は、このような社会問題を改善するひとつの対策でもある。
- 1989年度及び1995年度の「ニュージャージー州・ボランティア・プログラム」の“州知事賞”を受賞している。

5. 類似のプログラム

- リタイアした高齢者をパフォーマーに仕立てるというボランティア・プログラムは、米国ではある程度一般的な事業のようである。類似のプログラムには、以下のようなものがある。

① 60 KARATS

- 1987年に、ヴァージニア州アーリントン市でスタートしたプログラム。60才以上のボランティアたちがタップダンスを演じ、ギャラも観賞代も無料の公演を行うというもの。ただし、任意の鑑賞代は受け取る。受け取った観賞代は寄付金の扱いで、運営費にまわる。
- 公演の場所と機会は、主に養老院やその他の施設でのチャリティ・イベント。
- トレーニングは週2回。

② Senior Active Program of the Barn Players

- 1978年に、カンサス州メリアム市で、25任のリタイアした高齢者たちが自ら集まって作った集団。
- 30分の短いオリジナル劇を6本ほどレパートリーとして持つ。テーマはいずれも「高齢」に関するもの。ギャラは無料。観賞代は10ドル～25ドルの間で、すべて劇団の運営費にまわる。
- 公演の場所と機会は、主に養老院、学校、その他の施設。
- トレーニングは週に最低3回。月に最低2海野リハーサルを行う。学校施設などで公開リハーサルを行うこともある。

—以上—

VI. The PUBLIC THEATER

パブリック・シアターでは、ボランティア制度はないが、インターン制度が導入され、運営の上で成果をあげている。米国の文化施設ではインターン制度を導入しているところは多く、ボランティアに準ずる存在として考えることができるため、その一例としてパブリック・シアターの事例を調査した。

📄 施設・運営の概要

運営母体	The Public Theater
所在地	425 Lafayette Street, New York, NY 10003
TEL	212-539-8680
FAX	212-539-8505
開館年月	1965年
複合形態	複合館
施設特性	演劇劇場
座席数	91～299席までの6劇場
年間運営予算	年間12.1億円(1,100万US\$)
自主事業数	—
立地都市人口	731万人(1992年)
組織体制	有給スタッフ約65名



😊 インターン制度の概要

名称	インターンの導入状況は各部署の裁量に任されている(以下はコミュニティ事業部における内容)
導入時期	・1993年(コミュニティ事業部の設置年)
登録人数	・3名(ヒスパニック系2名、黒人1名)
導入の経緯	・これまで当劇場に縁の薄かった黒人やヒスパニック系、アジア系などのマイノリティの人種を観客として巻き込むため、その水先案内人となるインターンを採用。
活動内容	・今までパブリック・シアターと無縁だった人を観客として連れてくること
募集方法	・特に系統だった採用制度は採っていない。理事会役員からの紹介やコミュニティ事業部ディレクターのコネクションによって。
研修	・最初にヒントを与え、あとはインターン独自の考えと行動に任せる。「経験を積んでいる」という意識ではなく「仕事をしている」という意識で働いてもらう。
実費支給	・勤務時間は週20時間以上40時間以下(月～金の10時～16時)、週給は一律50ドル。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・インターンのプロフィールや動機はまちまち。劇場の運営も知っておきたいと考えた女優、イェール大学のアート専攻の黒人などで、コミュニティ事業部の新しい観客開発に力を発揮できるバックグラウンドを備えた人が採用されている。 ・劇場側のスタッフは、彼らをチームの一員として扱い、手足の係り、雑用係にはしないよう心がけている。 ・パブリック・シアターのインターンで実績と経験を重ね、実際にリンカーン・センターのマーケティング課に就職した人もいる。

📖 インタビュー記録 📖

- 訪問先：The PUBLIC THEATER
- 住所：425 Lafayette Street, New York, NY 10003
- 電話：212-539-8680 FAX:212-539-8505
- 面会者：Ms. Donna Walker-Kuhne…Director of Community Affairs（コミュニティ事業ディレクター）

1. 事業主体の概要

(1) 設立

- 創立者のジョゼフ・パップによって、無料の移動野外劇活動「シェイクスピア・フェスティバル」を行う非営利組織として設立されたのは、1954年。
- セントラル・パークに恒久野外劇場「デラコルテ・シアター」を開設したのは、1961年。
- ダウンタウンに現在の5つの小劇場施設を擁する「パブリック・シアター」をオープンしたのは、1965年。
- 有給スタッフ数：65名前後。季節や年度によって多少の前後あり。
- 年間予算：約1,100万 US\$（約12.1億円）

(2) 組織と施設の概要

- 「パブリック・シアター」というのは次の2ヶ所の施設を運営する非営利団体の名前であり、同時に、そのうちのひとつの劇場施設ビルの名称でもある。劇場施設としてのパブリック・シアターには常駐の劇団はおらず、非営利団体パブリック・シアターが毎シーズンごとに複数の新作劇をプロデュースして以下の2ヶ所の施設で公演を行う。

① 劇場施設ビル「パブリック・シアター」の施設構成

- 1] ニューマン・シアター：299 席。階段状客席を持つ通常の前舞台型劇場。パブリックシアター内の 5 劇場の中で一番大きい。
- 2] アンスペーシャー・シアター：275 席。3/4 扇状のアリーナ型劇場。ミュージカル『ヘアー』の初演（1967 年）が行われた劇場。
- 3] マーティンソン・ホール：167 席。舞台／客席のレイアウトが自由になるフレキシブル・スペース。2 階席のある、天井高の非常に高い劇場。
- 4] ルエスター・ホール：150 席。舞台／客席のレイアウトが自由になる劇場。
- 5] シバ・シアター：99 席。オープン・スペース・シアター。
- 6] リトル・シアター：91 席。映写室。映画上映用の階段劇場。

② 野外円形劇場「デラコルテ・シアター」

- セントラル・パーク内にある。毎年夏期のみ使用される。観客収容人数は 1,881 名。入場無料。ここでは毎年、「パブリック・シアター」のプロデュ



● エントランス・ロビー

ースによるシェイクスピア劇の他、2~3のプロダクションが開催される。近年では、台本はシェイクスピアのオリジナルのままに現代的なプロダクションにリメイクされたものなども発表されている。

(3) 「パブリック・シアター」のロケーション／催し／客層

- ニューヨーク大学、現代美術のメッカのソーホー地区、アナーキーな若者の多いイーストビレッジ地区、自由人の多いユニオン・スクエア地区などに4方を囲まれたダウントウンに位置する。人種的な特徴よりも、むしろ年齢的、職業的に特徴のある地区＝すなわち、大学生～40代前半のアーティストや自由人が多いあたり。
- 10月から翌3月までのシーズン期間中、1カ月にひとつ、年間約8作の新作プロダクションが催される（上演される劇場はそれぞれのプロダクションにとって最適の場所が使用される）。
- 『ヘアー』『コーラスライン』をはじめ、歴史に残る数々の名作の初演をプロデュースして来た歴史を持ち、ブロードウェイまでのぼった作品は、二十作を越える。
- 創設者のジョゼフ・パップがエグゼクティブ・ディレクターを務めていた時代は、圧倒的に白人の知識層の観客に占められていた
- が、93年に黒人の劇作家兼プロデューサーのジョージ・C・ウルフ（ブロードウェイの『ジェリーズ・ラスト・ジャム』『エンジェルズ・イン・アメリカ』のプロデューサーとして有名）が三代目のエグゼクティブ・ディレクターとして就任して以来、白人・アジア系・黒人・ヒスパニック系それぞれの戯曲家・演出家の作品を、年間を通じてほぼ均等に開催。そのため、近年では、マイノリティーの客層が全体の半分を占めるようになった。

(4) 発足の背景と歴史的な経緯

- 1954年、ジョゼフ・パップが、ダウントウンの教会で無料の夏期シェイクスピア劇を開催。翌年からサマー・フェスティバルとして恒例となる。
- 1957年、ニューヨーク市中をくまなくめぐり入場無料のキャラバン公演を開始。
- 1959年、セントラル・パークにキャラバンを滞在させ、無料のシェイクスピア劇を続ける。61年、これを追い出しにかかったニューヨーク市との間に訴訟問題が起きるが、富豪のジョージ・デラコルテらが資金を出し合っでパーク内に野外劇場建設、これを市に寄付するという形で決着。以来、デラコルテ・シアターでのジョゼフ・パップのプロデュースによる無料シェイクスピア・フェスティバルは、夏期の恒例となる。
- 1965年、歴史的な建築(1881年竣工)である「パブリック・シアター」のビルを解体して住宅ビルにしようとして計画していたディベロッパーに対して、当時開設されたばかりの「ニューヨーク市歴史的建築保存課」が事業の進行をストップさせ、同年、市がこのビルを買い取り、非営利法人「パブリック・シアター」に半永久貸与する措置をとった。
- 劇場への内装改装工事の後、1967年、『ヘアー』の初演にてこけら落とし。

2. インターンシップ・プログラムについて

- パブリック・シアターではボランティアは一切導入しておらず、代わりにインターン制度を導入している。その導入の度合いは各部署ごとの裁量に任されており、非営利団体全体としての統一したポリシーはない。

*注：ここでは、ジョージ・C・ウルフが3年前に就任した時に新設した部署、「コミュニティ・アフェアーズ(コミュニティ事業部)」におけるインターン制度について話を聞いた。

(1) コミュニティ・アフェアーズ部

- コミュニティ・アフェアーズ部とは、マーケティングとセールスとアウトリーチをすべて足したような機能を担うところ。劇場の観客構成を「ニューヨークの多彩な人種構成の縮図」のようにすること、すなわち、白人だけでなく、いかに黒人やヒスパニック系やアジア系などマイノリティー人種を観客として巻き込むか、を画策する部署である。

*注：一般的に言って、「観劇」を習慣的にする人種、あるいは劇場通いをする人種というのは、ほとんど白人で構成されている。

- 具体的には、劇場通いの習慣の無い人たちというのは「要するにどんな人たちなのか」「どこにいる人たちなのか」「なぜ劇場へ行かないのか」ということを探り出すことから、業務はスタートする。

(2) インターンのプロフィール

① 採用の対象となる人材

- 頭の回転がよく、創造力があり、ねばり強く、整理されており、真摯で、情熱のある人。そして、アーティストへのリスペクト(尊敬の念)を抱い

ている人。

- いままでパブリックシアターとは無縁だった“コミュニティ”の出身者であること。その“コミュニティ”の人間をパブリック・シアターに動員するための「水先案内人」として機能することを期待するため。

*注：この場合の「コミュニティ」とは、地理的環境から言うところの群、経済的環境から言うところの群、人種的環境から言うところの群、文化環境から言うところの群、などを指す。「コミュニティ」という言葉の解釈については、別章『米国のボランティアを取り巻く社会構造全体についてのまとめ』を参照のこと。

② 採用の方法と雇用制度

- 特に系統だった採用制度はとっておらず、理事会役員からの紹介・推薦や、Walker Kuhne さんの個人的なつてや知り合いに直接声をかけて、というケースが多い。
- 劇場運営に興味のある高校生～大学院生などが「インターン希望」の手紙と共に履歴書を送って来ることも多い。
- 勤務時間は、週あたり最低20時間以上、40時間以下（月～金の10時～6時）。勤務時間の多寡にかかわらず、週給は一律50ドル。
- 採用は一時期ごとに、約3名。96年11月現在では、ヒスパニック系が2名＋黒人1名が採用されている。

③ インターンの業務・位置づけ・指導

- 「いままでパブリックシアターとは無縁だった人間をパブリック・シアターに観客として連れてくること」がメインの業務。
- どのようにしたら上記の業務が遂行・成就できるかについて、初めのヒントとガイドだけを与え、あとはインターン独自の考えと行動に任せるようにする。
- 客を探す、チケットを売るという行為は「修練」ではなく劇場の生存をかけた「仕事」。従ってインターンにも、「経験を積んでいる」という意識ではなく「仕事をしている」という意識で働くように指導する。一方ディレクターの Walker Kuhne さん自身も、あくまで彼らを「チームの一員」として扱うよう心掛ける（「手足の係」「雑用係」にはしない）。
- 夏のデラコルテ・シアター（＝シェイクスピア・フェスティバル開催時）にはインターンは採用しない。フェスティバル開催中の業務は、整理券を配る、電話の問い合わせに答えるといった一般事務ばかりが多く、インターン各自の能力や創造性・行動力を発揮するチャンスがほとんど無いため。

④ 3年前～現在までの優秀なインターン採用者の例

- Ms. Lea の場合：若手の女優。劇場の運営サイドのことも知っておきたいという動機で参加。雇用期間は6カ月。彼女の使命は、「中国」をテーマにしたプロダクションのためにいかに多くのアジア系の観客を導入するか、ということだったが、そのために当時彼女が作成した「アジア系マーケティング・リスト」は、本年度のプロダクションでアジアをテーマにした『GoldenChild』のプロモーションにも大いに役立っている。

■ The PUBLIC THEATER

- Ms. Wanda の場合：若手の女優。生活を支えるためにショップで売り子のアルバイトをしていたため、ワーキング・クラスのネットワークを沢山もっており、その“コミュニティ”の人々を観客として動員することに力を発揮した。また、劇場関係の非営利団体だけでなく社会福祉関係をはじめあらゆる団体にアプローチ。それらのコネクションを通じて多様な観客動員に成果をおさめた。
- Ms. Tiffany の場合：イエール大学大学院のアート専攻の黒人。雇用期間は半期。マイノリティ・グループの非営利団体、活動団体、福祉団体などあらゆるルートを通じて、地理的にも人種的にも文化的にもパブリック・シアターと無縁だったハーレム地区の住民を数多く観客として導入することに成功。この履歴のおかげで、彼女は卒業と同時に、リンカーン・センターの「ジャズ・アット・リンカーンセンター部」のマーケティング課に就職した。

⑤ インターンに対する評価基準

- いかにか多方面（文化・社会・教会・健康・福祉・政治など）の非営利団体とネットワークを広げるか、その行動力。
- 上記各団体の持つ既存のメーリング・リストや理事会役員の人脈などをいかに利用するか、そのポイントを捉える創造力。
- 初めて劇場を訪れる観客が疎外感を味あわないですむような「ウェルカム・フィーリング」を演出する社交性。

3. その他のインターンシップの例

- 年度の変わり目を前にした季節（5月～6月）には、大学生のインターンシップを募る非営利団体が増える。助成金情報ばかりを扱う図書館「ファウンデーション・センター」に掲示されていたインターン募集の概要書、参考までに3種類ほど添付した [資料 PT-1参照]。

—以上—

資料 PT-1 : ALICE FARLEY DANCE THEATER のインターン募集文書

-Foundation Center 掲示資料例-

Looking Glass Productions, Inc.

ALICE FARLEY DANCE THEATER

812 Broadway, 3rd Floor
New York City, New York, 10003
212•420•9208

MAY 06 1996

Office Interns Needed!
Theater Interns

ALICE FARLEY DANCE THEATER seeks interns for project beginning May 1, 1996, continuing through August.

3 Positions available: 1) costume construction/puppet building - carpentry skills, knowledge of mechanics a plus - basic sewing.

- * 2) production assistant/office work.
- 3) understudy dancer/puppeteer.

Show is a theater/live music collaboration between choreographer/designer Alice Farley and composer Henry Threadgill being created for the Henson Puppet Festival at the Public Theater, opens this September. Title is EROTEC (the human life of machines).

ALICE FARLEY DANCE THEATER is a resident dance company of La MaMa ETC. Work combines dance, puppetry, sculptural costuming, magic effects and circus techniques. "...a magician of light whose work falls somewhere between Alwin Nikolais and Oskar Schlemmer..." NY Times.

Low pay but very interesting project, good credit, and could lead to on-going work.

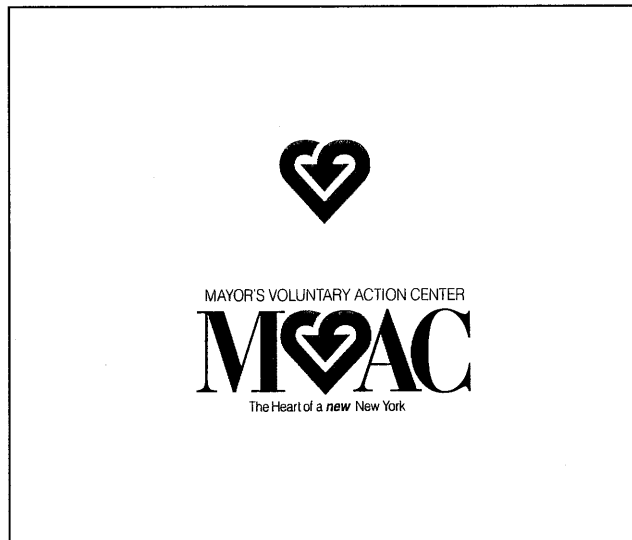
Fax resume to Alice Farley: (212) 420-9208.

VII. MAYAR'S VOLUNTARY ACTION CENTER (MVAC)

MVAC は、ニューヨーク市長直轄の部署として、文化以外の分野を含め、あらゆる分野でボランティアをしたいと考える市民と、ボランティアを採用したいと考える組織や団体をつなぐ機関。市民、機関双方のデータベースを構築し、両者のマッチング業務を行うほか、ボランティア受入団体に対する基礎オリエンテーションやボランティア・マネージャーを対象とする各種ワークショップやコンサルティングも行っている。

📄 機関の概要

運営母体	The City of New York
所在地	61 Chambers Street, New York, NY 10007
TEL	212-788-7550
FAX	212-788-7570
開設年	約 30 年前
年間運営予算	(市役所の機構の一部で、部門としての予算は算出不能)
立地都市人口	731 万人 (1992 年)
組織体制	有給スタッフ：5 名、ボランティアスタッフ：約 35 名



😊 活動とサービスの概要

活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ①データベース管理・広報：ボランティアをしたい市民、ボランティアを求めている団体のデータベース管理と双方のマッチング業務。 ②ボランティアに関するトレーニング：ボランティア受入団体への基礎トレーニング、ボランティア・マネージャーを対象としたワークショップなど。 ③ネットワーキング、啓蒙活動：ボランティア管理者のための非営利団体の年次総会の共催、ボランティア・サービス賞の授与。
ボランティア希望者に対する活動内容	<ul style="list-style-type: none"> パンフの配布、ローカル・ケーブル局やラジオ局での募集放送。 希望者には MVAC に出向いてもらい、面接をしながら分野や業務内容などの要望を確認し申込用紙に記入。その場でボランティア募集データベースを検索し、希望にかなうものがあればプリントアウトする（団体への連絡は希望者自身が行う）。
ボランティア募集团体に対する活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 問い合わせをしてきた団体に「リクエスト用紙」を送付（特に広報は行っていない）。 団体は分野によって98種類に分類され、業務の内容、時間などの情報が登録される。 オリエンテーションが必要と記載してきた団体には、担当者を集めてボランティア・マネージメントに関するオリエンテーションを行う。
その他	<ul style="list-style-type: none"> 団体へのオリエンテーションの内容は、ボランティアと有給スタッフの違い、ボランティア導入上の心得、ボランティアの査定方法、理想的なボランティア管理者など。初めて導入する団体は、「無料の労働力」と考えている場合が多いので、まずその考えを改めることが重要。 ボランティアを採用すること自体がたいへんだと考えている団体が多いが、実際には人材を捜すことより、ボランティアを使うことの方がたいへん。この認識を持たずにボランティアを導入して苦勞する非営利団体は少なくない。

📖 インタビュー記録 📖

- ・訪問先：MAYOR'S VOLUNTARY ACTION CENTER (MVAC)
- ・住所：61 Chambers Street, New York, NY 10007
- ・電話：212-788-7550 FAX: 212.788.7570
- ・面会者：Ms. Carol Freidland…Deputy Director (副ディレクター)

1. 事業主体の概要

(1) 設立

- ・約30年前

(2) 組織の概要

- ・ニューヨーク市役所の機構の一部。市長直轄の部署。
- ・有給スタッフ数：数カ月前までは8名。インタビュー時点では5名（内3名が中間管理職、2名が補助スタッフ）。NY市の赤字対策の一環として人員削減の傾向にある。
- ・ボランティア・スタッフ数：約35名。ボランティア希望者への面接と、その内容を用紙に記入する業務を担当する。

(3) 年間運営予算

- ・オフィス・スペースからコンピュータ機器まで、すべて巨大な市役所の機構の一部を利用している形になっているので、人件費以外の部分の明快な「専用予算」は測りがたい。
- ・人件費も、上述のように削減の傾向にあるため、「本年度〇〇ドル」という確定予算としては語れない。
- ・MVACの傘下にはありながらも法的には独立した非営利団体「ニューヨーク市ボランティア・アクション・コーポレーション」という組織があり、NY市の予算とは別枠のファンドレイジングを行う。各種印刷物の制作などは、このコーポレーションが集めた資金（あるいは現物調達）でまかなわれることが多い。

2. MVACの活動とサービス内容

(1) 活動とサービスの概要

① データベース管理&広報

- ・ボランティアをしたい市民の情報のデータベース管理。
- ・ボランティアを求めている団体（非営利法人のみ）の情報データベース管理。
- ・上記双方のマッチング（紹介）サービス。

② ボランティアに関するトレーニング

- ・ボランティア受け入れ団体に対する、基礎オリエンテーションの提供（無

料)。

- ボランティア・マネージャーを対象とする各種ワークショップ (有料)。
- 特別なボランティア・プログラムやプロジェクト・ベースでボランティアの導入を考えている団体に対するコンサルティング (有料または無料)。

③ 各種ボランティア関連組織とのネットワーキング、及び啓蒙活動

- 例: 「Association for Volunteer Administration (ボランティア・アドミニストレーション協会)」というボランティア管理者のための会員制非営利団体の年次大会を共催。
- 例: 優秀なボランティアと優秀なボランティア・プログラムの表彰、市長賞 (ボランティア・サービス賞 [資料 MV-1参照]) の授与など。

(2) ボランティア希望者に対する活動内容

① 募集と広報活動

- パンフレットを制作し、そのパンフを市の関連の人目につく様々な場所に配付・設置 [資料 MV-2参照]。
- スタンダード・パンフレットは二つ折りで、次の6種類からなる6色 [資料 MV-3参照]。
 - 文化 Culture 関連分野
 - 教育 Education 関連分野
 - ヘルス Health 関連分野
 - レクリエーション Recreation 関連分野
 - 福祉 Human Services 関連分野
 - 市民公共活動 Public Interest 関連分野
- それぞれの分野にはどのようなボランティア参加先があるか、リストアップされている。その他、特別印刷物として、エイズ関連施設団体のリスト・パンフなどもある [資料 MV-4参照]。
- ローカル・ケーブル局やローカル・ラジオ局に頼んで募集の旨を放送してもらう。
- 市長賞の授与については、市長室の広報担当が各プレス関係にプレス・リリースを配付・送付。
- 「週刊誌『NYマガジン』が十年前にMVACについて特集した記事を、定期刊行物図書館で読んで…」、とあって希望してくるボランティアもいる。

② 面接&データ・インプット

- 希望者にはMVACオフィスに面接に出向いてもらう。毎週火・水・木のいずれかの時間を事前に設定。
- 面接官は、MVACオフィスのボランティア・スタッフ (経験の浅いボランティア・スタッフは経験の長いボランティア・スタッフ同席で面接を行う)。
- 面接の目的は、「どの分野の」「どのような仕事を」「どれくらいの頻度と時間を割いて」遂行することが可能かを明確にすること。ボランティア希望者は「自分がどれくらいのことができるか」について漠然としたイメージしか持っていないことが多いため。「本人の希望+本人の得意技術+

■ MAYOR'S VOLUNTARY ACTION CENTER (MVAC)

可能な範囲」の接点を具体的見いだすことにはかなりの修練がいる。

- 面接に沿って「申込用紙」に必要事項を記入 [資料 MV-5参照]。
- その場でコンピューターの「ボランティア募集データベース」を検索し、希望にかなうものがあれば情報をプリント・アウト。希望者から直接非営利団体の方へ連絡してもらう [資料 MV-6参照]。

(3) ボランティア募集团体に対する活動内容

① 広報

- 特に行ってない。最も利用・参加度の高いのは教会関係、および学校・教育関係の非営利団体。

② データ・インプット

- 募集の問い合わせをしてきた団体には、「ボランティア・リクエスト用紙」を送付 [資料 MV-7参照]。
- 返送されてきたものをインプット。インプットに際して、団体の種分けコードは全部で98項 [資料 MV-8参照]。うち、Culture に関するものは次の12項。

- 芸術系学校
- 図書館
- 劇場・劇団
- ミュージアム
- 歴史建築保存関係
- 公園
- 庭園
- 音楽関係団体
- 美術関係団体
- ダンス・カンパニー
- 動物園
- その他の文化関係団体

- さらに、「どのような部署の仕事で」「具体的には何をして」「週に何回、何曜日、どの時間帯に、何時間働いて欲しいか」などの情報をインプット。

③ オリエンテーション

- リクエスト用紙の「トレーニング希望欄」に「Yes」の旨を記載してきた団体の担当者を集めて、ボランティア・マネージメントについての基礎的なオリエンテーションを行う。
- オリエンテーションの内容は、「ボランティアと有給スタッフとはどう違うか」「ボランティア・プログラムを設定するにあたっての心得」「ボランティア・プログラムの査定の方法」「理想的なボランティア管理者とは」等々と題された様々な印刷物を配付。それらを教材にして2時間の講義を行う。
- ボランティアを初めて導入しようとしている団体のスタッフは、ボランティアを「無料の労働力」と思っている場合が多い。この認識をまず改めさせ、ボランティアにはボランティア用の別個の管理・査定の基準が必要で

■ MAYOR'S VOLUNTARY ACTION CENTER (MVAC)

あることを知ってもらうことが、オリエンテーションの最大の目的。

④ 情報の管理・更新

- ・1年に1度、MVACのサービスを通じてのボランティア状況（未雇用、中断、継続など）がどうなっているかを報告してもらうよう手紙を出す。返信率は極めて低い。だが、MVACの使命は、「紹介サービス」ではなくあくまで「照会サービス」であるため、マッチングがうまく行っているかどうかを追跡することは、本来の業務目的の外にあると考えられる。従って、返信率の低さは問題にしていない。
- ・新たな募集希望の通知があれば、その都度データベースを更新。
- ・2～3年間、その非営利団体から何の音沙汰も無い場合は、データベースから削除する旨を通達（手紙または電話にて）する。

3. MVAC から見た一般ボランティアの動向

(1) 発足から現在までの動向

- ・ごく手作りの小規模ベースで照会サービスを始めたのが、約30年前。当時ボランティア導入にもっとも積極的だったのは、教会関係および学校関係の団体。近年ではエイズ関連、高齢者関連、ホームレス関連の諸団体が最もボランティア・プログラムについて活動的。
- ・コンピューターによるデータベース化が始まったのは1988年。実際に活用に至ったのは1991年ごろ。
- ・文化・芸術系のボランティアに関して言えば、MVACの活用が盛んになってきたのは十年弱ほど前から。企業の吸収合併による企業からの寄付金の減少、および景気後退のあおりからくる公的援助の縮小などが、「スタッフ削減→ボランティアの導入」の動きを生んだ（ただし、ミュージアム関係は昔からボランティアが盛ん。例えばアメリカ自然史博物館では、ボランティアの数は500名。ミュージアムでは「ツアー・ガイドはボランティアが担当する」というしきたりが長くある）。

(2) 近年のボランティアをめぐる種々の動向について

- ・昔のボランティアは、あまり職種にこだわらなかったが、近頃のボランティアは違う。例えば「劇場でボランティアをしたい」人でも、オフィス業務（裏方の事務仕事）なのか、ボックス・オフィス（窓口発券係）やアシャー（座席案内係）（＝表仕事）なのか、などの割り当てによって満足・不満足の違いが出る。
- ・昔のボランティアは「仕事を持たない人」が主力だったが、近年では働く人（プロフェッショナル）の参加が増えている。特に、動物園や植物園など、子供の教育にメリットのありそうな場所で、この傾向が強い。
- ・芸術団体へのボランティア希望者は、古来、有給スタッフへの昇格や人的ネットワークへの期待から、アーティストが応募してくる場合が少なくない。それに対し、近年の芸術団体が求める人材は、ビジネスのオフィス環境で働いているボランティアであることが多い（コンピューターの知識が

■ MAYOR'S VOLUNTARY ACTION CENTER (MVAC)

求められるという理由が大きい)。

- ほとんどの団体は、ボランティアを「リクルートすることが一番困難なこと」だと思っているが、実際には、人材自体を探すのは比較的簡単。難しいのは彼らを「使う」ことであり、この認識を持たずに実際にボランティアを導入して苦勞する非営利団体が少なくない。
- 非営利団体の有給スタッフには、「優秀なボランティアを導入することは自分の有給スタッフとしての地位が脅かされるのではないか」と恐れる者が珍しくない。特に近年は寄付金や助成金の縮小のあおりからスタッフ人員を削減する非営利団体が多く、実際にそれをボランティアの労力でカバーしようとするところも増えてきている。

—以上—

資料 MV-1 : 1996 Mayor's Volunteer Service Awards の受賞者と受賞理由

MAYOR'S VOLUNTEER SERVICE AWARDS

TOP WINNERS - INDIVIDUAL

MICHAEL HARPER - for opening doors of opportunity for at-risk adolescents who participate in Bank Street College's after-school and weekend youth programs. As part of the group Concerned Black Men, he has strengthened the program and the range of activities it can offer -- working with an environmental class, accompanying groups on field trips, mentoring teens, and raising funds for resources the project could not otherwise afford.
Supervisor:
Maureen A. Hornung

LYNDREW NESMITH - for creating first safety, then community, in his East New York neighborhood. Working with the Genesis Crescent Project, he has infiltrated drug-infested buildings, mobilizing residents to reclaim more than 20 buildings from dealers. He has helped create a "resurrection" zone from a "dead" zone by involving neighbors in cooperative problem solving to stabilize the blocks, and by creating youth mentoring programs for children who formerly had nothing to do but "hang out."

VINCENT J. O'NEILL - for fostering a synergistic partnership between the Boy Scout troop he leads in the Bronx and the Borough's Van Cortlandt Park. The Scouts, under his leadership, provide ongoing and badly needed clean-up and restoration work in the Park, which, in turn, serves as a classroom for challenging environmental and historical learning experiences for the boys.
Supervisor:
Marianne O'Hea Anderson

TOP WINNER - GROUP

NON-PROFIT COMPUTING, INC. - for working to make the "information superhighway" accessible to all. The group has donated more than 1,000 computers a year to schools, and governmental and non-profit agencies in all five boroughs. Its staff of pro-bono volunteers provides free technical support for school computer labs, network Internet and World Wide Web projects.
Supervisor:
John L. German

CITATIONS- INDIVIDUAL

MARK C. HECKLER - for assuring that persons with AIDS who are living at the bottom of the social assistance ladder receive the benefits to which they are entitled. He founded and oversees the Samaritan Project, which works through the food pantry of the Metropolitan Community Church to identify and serve those most in need.
Supervisors:
Reverend Pat Bumgardner
Malcolm Smith

CITATIONS - GROUP

REACH TO RECOVERY STATEN ISLAND UNIT - AMERICAN CANCER SOCIETY - for assisting post-mastectomy patients to meet the impact of their breast surgery with courage and confidence. Volunteers in this program sponsored by the American Cancer Society have themselves undergone mastectomies. The women visit new patients the day after surgery, offering psycho-social support and practical suggestions based on their own experiences in recovery.
Supervisor:
Alberta Brescia

WASHINGTON IRVING HIGH SCHOOL BUSINESS ADVISORY COUNCIL - for turning around a troubled school through substantial infusions of human and financial resources. The BAC sponsors tutoring and mentoring programs, a summer jobs program, and supports an award-winning student newspaper. It also has tackled the refurbishment of rundown classrooms with donations of paint, repairs, and new equipment.
Supervisor:
Robert B. Durkin

HONORABLE MENTION - INDIVIDUAL

RUTH AWNER - for 15 years of unstinting advocacy on behalf of clients of Onestop, a comprehensive senior citizen service center on Manhattan's Upper West Side. A senior herself, she works four days a week helping elderly clients obtain benefits and legal representation, avoid evictions, and secure counseling.
Supervisor:
Florence Lynch

SCOTT CAMPBELL - an executive chef, for assisting culinary arts students at Park West High School to prepare food, cook and serve in a professional manner. He teaches monthly classes at the school, invites students to his restaurant to observe and learn, and arranges job training opportunities for students in the restaurant industry.
Supervisor:
Gloria C. Tandjerian

LINDA KRAMER - for enthusiastic dedication to researching and disseminating information about wildlife and the environment at the Central Park Wildlife Center. In addition to guiding tours and giving talks to visitors from all over the world, she applies her "can do" attitude to numerous research projects and to preparing training materials for teachers and Center docents.
Supervisor:
April Rivkin

REV. DR. CHARLES E. LOTT - for emulating Johnny Appleseed in his quest to beautify East New York's Glenmore Avenue. For the past 10 years he has worked tirelessly in one of the most abandoned parts of Brooklyn, cleaning up rubble-strewn lots, removing abandoned cars and encouraging residents to plant Greenthumb gardens.

HONORABLE MENTION - GROUP

THE INDUSTRIAL BANK OF JAPAN, LIMITED - POWER LUNCH TEAM - for giving up two lunch periods a week to serve food to homeless clients of the Grand Central Partnership's soup kitchen at St. Agnes Church. Along with putting food on the table, the 36 employees of the Industrial Bank of Japan have come to know and appreciate the problems, talents and hopes of those experiencing chronic homelessness.
Supervisor:
Dan A. Hughes

SPECIAL AWARD

Bruce H. Wittmer (Deceased) - for guiding Brookwood Child Care through a successful 40-year transition from institutionalized child care to innovative programs for foster care and adoption. Despite struggling with serious health problems, in his last five years of service he quadrupled the number of children served, and the agency's operating budget as well. He will be sorely missed.
Supervisor:
Fatima Goldman

資料 MV-2 : 活動内容を紹介するパンフレット (抜粋)



**RECRUITS VOLUNTEERS
AND REFERS THEM TO
NON-PROFIT & PUBLIC AGENCIES
IN ALL BOROUGHES OF
NEW YORK CITY**

- College and high school students seeking practical experience
- Professionals willing to share expertise to address community needs
- Retirees wishing to remain productive
- Working people concerned with major urban problems
- Families looking to make a difference
- Experienced executives available to serve on boards
- Artists willing to perform on special occasions
- New Yorkers eager to develop new skills and personal contacts
- Anyone who wants to build a better New York

MVAC draws upon the largest computerized database of volunteer jobs in the United States, and a team of highly skilled interviewers to find the right volunteer job.



**PILOTS INNOVATIVE
VOLUNTEER PROGRAMS
TO MEET
COMMUNITY NEEDS**

• Family Matters, a program of the Points of Light Foundation, provides opportunities for families to volunteer together to impact upon community problems.



RESOURCES ON VOLUNTEERISM

CONSULTATIONS

Offers technical assistance to non-profit and governmental agencies, corporations/businesses, school and university personnel on all aspects of volunteer administration; i.e., staff/volunteer relations, job development, record keeping, recognition, recruitment, referral, etc.

WORKSHOPS AND TRAINING EVENTS

Provides group interaction on important issues facing volunteer administrators; facilitates access to leaders in the field.

RESOURCE AND REFERENCE LIBRARY

Contains books, pamphlets, journals and catalogues on volunteerism and volunteer management which are made available to volunteer administrators, students, writers and media.

TASK FORCES

Organizes working groups to facilitate networking on issues relating to volunteerism, e.g., student volunteerism, city government volunteer programming, family volunteers, management assistance initiatives, HIV/AIDS programs.

AWARDS AND RECOGNITION

Administers the annual Mayor's Volunteer Service Awards for adults and youth, and helps organize the Borough Presidents' volunteer recognition ceremonies.

CLOTHING BANK:

New Clothes for the Homeless receives new clothing contributed by 800 apparel manufacturers and distributes them to a network of 450 community agencies serving the homeless throughout New York City.

• Corporate Resources Service brokers used office equipment, furniture and non-resaleable merchandise between donor companies and non-profit agencies in need.

• Corporate Community Initiative (CCI) assists corporations in establishing employee volunteer programs designed to meet business objectives and community needs.

資料 MV-3 : 分野別パンフレット (文化/Culture)

Where Volunteers Work In CULTURE

- Museums
- Art Galleries
- Community Theatres
 - Zoos
- Public Television
 - Schools
- Street Theatres
- Historic Houses
- Public Radio Stations
 - Hospitals
 - Nursing Homes
- Botanical Gardens
- Community Centers
- Correctional Facilities
 - Dance Troupes
- Arts and Crafts Programs
 - Libraries
- Intercultural Programs
- Ethnic Heritage Programs
- Community Orchestras
 - Senior Centers
- Performing Arts Companies
- Landmark Preservation Programs
 - Environmental Centers
- Lead Discussion Groups

What Volunteers Do In CULTURE

- Serve as a Docent
- Provide Administrative Assistance
 - Utilize Business Skills
 - Build Exhibits
 - Perform Research
- Design Public Relations Programs
 - Paint
 - Perform
- Serve on Boards and Committees
 - Work in the Gift Shop
- Translate Material and Ideas
 - Greet Visitors
 - Provide Information
- Serve as Host/Hostess
 - Train Volunteers
- Perform Box Office Clerk Duties
 - Teach Arts and Crafts
- Perform Gardening Tasks
- Help Care for Animals
- Organize Entertainment
 - Teach Photography
 - Interpret/Translate
 - Play an Instrument
 - Lead an Chorus
 - Teach Dancing
- Assist with Dramatic Presentations



*この他に、教育 Education、ヘルス Health、レクリエーション Recreation、福祉 Human Services、市民公共活動 Public Interest の分野別パンフレットがある。

資料 MV-4: エイズ関連のボランティアを必要としている施設・機関に関するパンフ (抜粋)

AIDS Volunteer Opportunities in New York City

Brooklyn Bronx Manhattan Queens Staten Island
 Brooklyn Queens Bronx Manhattan VOLUNTEER
 Brooklyn Queens Bronx Manhattan VOLUNTEER
 Manhattan Bronx VOLUNTEER Queens Staten Island
 Brooklyn Bronx Manhattan VOLUNTEER Queens Staten Island
 Brooklyn Queens Bronx Manhattan VOLUNTEER
 Queens Staten Island Brooklyn Queens Bronx Manhattan
 Manhattan Bronx VOLUNTEER Queens Staten Island
 Brooklyn Bronx Manhattan VOLUNTEER Queens Staten Island
 Brooklyn Queens Bronx Manhattan VOLUNTEER
 Manhattan Bronx VOLUNTEER Queens Staten Island
 Brooklyn Bronx Manhattan VOLUNTEER Queens Staten Island

Find Out What You Can Do Mayor's Voluntary Action Center/Task Force on AIDS

AGENCY	VOLUNTEER NEEDS
ACTOR'S FUND OF AMERICA JOSEPH RIPPLE Director of Volunteers (212) 221-7300	Volunteers in the entertainment industry are requested. Please call directly for information.
AIDS CENTER OF QUEENS COUNTY JERRY PANNOZZO Volunteer Coordinator BARBARA HODGES Volunteer Recruiter (718) 896-2500 Fax# (718) 275-2094 D E W	Volunteers for case management assistance, office support, intake interviewers, buddy programs, hospital discharge assistance program, fundraising, peer educators, and child care.
AIDS IN PRISON PROJECT Correctional Association of NY STEVE NESSELROTH Assistant Director of Program Services WILLIAM LOPEZ Peer Education Coordinator (212) 254-5700 Fax# (212) 473-2807 D E	Clerical tasks, answer prisoner's letters for information and assistance, hotline operator, counseling/technical assistance.
AIDS INTERFAITH NEW YORK REV. ELICE HIGGINBOTHAM (212) 247-8539 D E W	Need clergy able to provide pastoral care, and daytime office volunteers.
AIDS RESOURCE CENTER MIRIAM STOVALL Director of Volunteer Services (212) 633-2500 Fax# (212) 633-2500 D E W	Volunteers needed to do everything from gardening to fundraising. A buddy program is also available. People of color are encouraged to inquire.

AGENCY	VOLUNTEER NEEDS
AIDS DAY TREATMENT PROGRAM Village Nursing Home JAN ZIMMERMAN (212) 633-6587 D W	Volunteers needed to assist with meal preparation, serving of meals to clients and other similar support to nutritional department.
AIDS SERVICE CENTER OF LOWER MANHATTAN SUSANNA YURICK Coordinator of Community Education JOCELYN MARTE Senior Case Manager (212) 645-0975 D W	Volunteers to work with client services unit, education unit, peer drop-in center, education outreach to community through tabling, speaking, distributing condoms and bleach kits, and help with special events.
ALIANZA DOMINICANA, AIDS EDUCATION PROJECT JULIO DICENT TAILLEPIERRE Director of AIDS Services YANIRIS URBAEZ Education Outreach Coordinator (212) 795-4226 Fax# (212) 795-4285 D E W	Volunteers to work with the Dominican & Central American community, outreach in parks and pool halls, street outreach, newsletter, hotline.
ALL CRAFT FOUNDATION/ POSITIVES ANONYMOUS REV. JOYCE HARTWELL (212) 228-6421 D E W	In need of more volunteers to help in Positives Anonymous office. We are in need of individuals who are dedicated, caring, loving and not afraid.
AMERICAN RED CROSS WARREN WILLIAMS (212) 875-2154 Fax#: (212) 875-2346	Please call directly for volunteer services.
ASIAN AND PACIFIC ISLANDER COALITION ON HIV/AIDS (APICHA) Volunteer Coordinator (212) 349-3293 Fax# (212) 349-7820 D E W	Client services (buddy; interpretation), outreach workers, materials development-translation, administrative work.
ASSOCIATION OF BROOKLYN CLERGY FOR COMMUNITY DEVELOPMENT, INC. KYRISTEL P. KOONTZ Program Director (718) 399-0818 Fax# (718) 399-1017 D	Light maintenance work and office work.

D - Daytime E - Evenings W - Weekends

資料 MV-5 : ボランティアの参加申込書-1/2

MAYOR'S VOLUNTARY ACTION CENTER
VOLUNTEER APPLICATION FORM

FOR AGENCY USE ONLY

Res. I.D. #: _____ Source: _____
 Res. Type: _____ Geo(s): _____
 Focus (es): _____ Group(s): _____
 Skills: _____ Office: _____

Date: _____ Interviewer: _____

Name: _____
Mr./Ms. Last First Middle Initial Suffix

Occupation: _____ Employer: _____

Highest Education Level Reached: _____

Mailing Address: _____
Number Street Apt. #

_____ City State Zip

Bus./School Address: _____
Number Street Apt. #

_____ City State Zip

Phone (Day) () _____ When To Call _____

Phone (Eve) () _____ When To Call _____

Are you interested in volunteering with members of your family (either immediate or extended) YES NO

Can an agency contact you directly? YES NO How did you hear about MVAC? _____

Time Availability?	Mo	Tu	We	Th	Fr	Sa	Su
(D) MORNING							
(D) AFTERNOON							
(E) EVENING							
(E) NIGHT							

Would you be interested in a short term assignment (less than six weeks) YES NO

Available from ____ / ____ / ____ To ____ / ____ / ____ Indefinitely _____

Groups you would like to work with (check all that apply)

Adults (ADL) _____ Persons With AIDS (AID) _____ Teens (TEN) _____
 Ele. School Children (ELE) _____ Pre-School Children (PRE) _____ Women (WOM) _____
 Emotionally Disabled (EMO) _____ Physically Disabled (PHY) _____ Other _____
 Homeless (HLS) _____ Senior Citizens (SEN) _____ _____
 Mentally Disabled(MNH) _____ Substance Abusers (SUB) _____ _____

PLEASE TURN OVER AND COMPLETE OTHER SIDE

資料 MV-5 : ボランティアの参加申込書-2/2

Languages Spoken? _____ Languages Written? _____

Boro Preference? (check all that apply) Bronx (BNX) _____ Brooklyn (BKL) _____
 Manhattan (MAN) _____ Queens (QUE) _____ Staten Island (SI) _____

Type of Work Desired (check all that apply)

Administration _____	Education _____	Social Service _____
Arts & Crafts _____	Environment _____	Other _____
Clerical _____	Health _____	
Cultural _____	Recreation _____	

Under 18 Years Old? YES NO If, Yes, Do you have working papers? YES NO

Are there any assignments you can not consider because of a physical, mental, or medical disability? YES NO

If, YES, What type of assignment? _____

FOR AGENCY USE ONLY

SKILLS	REQ.ID #	NEED #
_____	_____	_____
_____	_____	_____
_____	_____	_____
_____	_____	_____
_____	_____	_____
_____	_____	_____
_____	_____	_____

COMMENTS: Is this person a candidate for the Skills/Board Bank? YES NO
 Is this person a candidate for CCI (Corporate Community Initiative) YES NO

REV. 8.9.94 - E/JW2

■ MAYOR'S VOLUNTARY ACTION CENTER (MVAC)

資料 MV-6 : データベース検索結果のサンプル

MAYOR'S VOLUNTARY ACTION CENTER REFERRALS
REFERRAL DATE: 10/23/96

VOLUNTEER: ID# 99999

SECOND ADDRESS:

ORGANIZATION:
TITLE/ITEM/TEAM:

AGENCY: ID# 1072
Outreach Theatre, Inc.

NEED: ID# 318
Development Assistant

CONTACTS:
Bob Paton
1219-77th Street
Brooklyn, NY 11228
(718) 680-3319

Bob Paton
The Foundation Center
79 Fifth Avenue, 8th. Floor
New York, NY 11228
(718) 680-3319

DUTIES: Research potential funding sources; make initial contact with targeted sources. Business/research/fundraising exp preferred.

START DATE: 06/15/95

END DATE:

WEEKDAY: DAY OR EVENING

WEEKEND: DAY OR EVENING

AVAILABILITY NEEDED: At volunteer's convenience

GROUP SERVED:

SKILLS NEEDED:
ALL THEATRE
FUNDRAISING
PROPOSAL & TECHNICAL WRITING

ROLE:

PROFICIENCY LEVEL:

AGENCY: ID# 310
New York City Ballet

NEED: ID# 2782
Gift Shop Salesperson

CONTACTS:
Joan Quatrano
New York State Theatre, Lincoln Center
62 Street & Columbus Ave
New York, NY 10023
(212) 870-5666

SAME CONTACT ADDRESS

DUTIES: Work at Lincoln Center Gift Shop, Evenings, once a week

START DATE: 09/25/95

END DATE:

WEEKDAY: EVENING

WEEKEND: EVENING

AVAILABILITY NEEDED: During Performances

AGENCY: ID# 281
Wings Theatre Company

NEED: ID# 257
Office Assistant

CONTACTS:
Robert Mooney
154 Christopher St.
New York, NY 10014
(212) 627-2960

SAME CONTACT ADDRESS

DUTIES: Answer phones, place reservations in the computer (will train),
filing, copy programs

START DATE: 09/25/96

END DATE:

WEEKDAY: DAY OR EVENING

WEEKEND: DAY OR EVENING

AVAILABILITY NEEDED: Tues thru Sat 3pm-7pm

*希望の分野、仕事内容、可能な時間などを入力すると、該当するボランティアを募集している機関名と業務内容などがディスプレイ上に表示され、必要なものをプリントアウトすることができる。

資料 MV-7 : ボランティア募集案内掲載の申込書-2/2

Benefits (lunch, carfare, other) _____

Qualifications Needed (include minimum age, education academic level and if any experience necessary)

Medical required? Yes No Reference required? Yes No

Is your building accessible to disabled persons? _____

Hours Needed (specify hours for each day i.e. 9-5 or 3-6 etc.)

	Mo	Tu	We	Th	Fr	Sa	Su
MORNING							
AFTERNOON							
EVENING							
NIGHT							

Groups served by this assignment (check all that apply)


Adults _____ Persons With AIDS _____ Teens _____
 Ele. School Children _____ Pre-School Children _____ Women _____
 Emotionally Disabled _____ Physically Disabled _____ Other _____
 Homeless _____ Senior Citizens _____ _____
 Mentally Disabled _____ Substance Abusers _____ _____

In this assignment will you provide supervision and evaluation for
 College Students? Yes No High School Students? Yes No

In this assignment will you accept people who are
 court ordered/referred for community service? Yes No

Is this assignment suitable/adaptable for the FAMILY MATTERS project? Yes No

Please return to:
 MAYOR'S VOLUNTARY ACTION CENTER
 61 Chambers Street
 New York, New York 10007
 (212) 788 - 7550



REV. 6.28.94 e/jw-1

■ MAYOR'S VOLUNTARY ACTION CENTER (MVAC)

資料 MV-8 : ボランティア募集团体の分類コード一覧

REQUESTOR TYPE CODES 24 APR 1996	1	REQUESTOR TYPE CODES 24 APR 1996	2
TYPE	DESCRIPTION.....	TYPE
101	BLOCK ASSOCIATION	406	PARK
102	COMMUNITY BOARD	407	GARDEN
103	CIVIC & SERVICE ORGANIZATIONS	408	MUSIC COMPANY
104	ECONOMIC DEVELOPMENT AGENCY	409	ART ORGANIZATION
105	CREDIT COUNSELING	410	DANCE COMPANY
106	HUMAN RIGHTS ORGANIZATION	411	ZOOS & ANIMALS
107	HOUSING	412	CULTURE - OTHER
108	CONSUMERISM	501	SOUP KITCHENS
109	ENVIRONMENTAL RESEARCH	502	ABUSED SPOUSE SHELTER
110	ENVIRONMENTAL PLANNING	503	PROGRAMS FOR THE HOMELESS
111	ENVIRONMENTAL EDUCATION	504	ALCOHOLISM PROGRAMS
112	ENVIRONMENTAL ADVOCACY	505	DISABLED/OTHER
113	PRISON	506	HOSPICE & RESPITE CARE
114	COURT PROGRAM	507	DAY TREATMENT
115	POLICE ENFORCEMENT	508	HOTLINE
116	LEGAL SERVICE	509	BLIND/VISUALLY HANDICAPPED
117	EX-OFFENDER PROGRAM	510	DEAF/HEARING IMPAIRED
118	CRIME VICTIMS SERVICES	511	MENTAL RETARDATION/DEVELOPMENT
119	COMMUNITY MULTISERVICE CENTER	512	EMOTIONALLY DISTURBED
120	TENANT ASSOCIATIONS	513	PHYSICALLY DISABLED
121	WOMEN'S ISSUES	514	ADVOCACY FOR THE HANDICAPPED
122	PEACE	516	MENTAL HEALTH COUNSELING
123	EMPLOYMENT COUNSELING/REFERRAL	517	SRO/WITH PROGRAMS
124	THRIFT SHOP	600	BIG BROTHER/SISTER
125	NEW YORK CITY GOVERNMENT	601	ADVOCACY FOR CHILDREN
126	PUBLIC INTEREST RESEARCH	602	ABUSED CHILDREN
127	NEW YORK STATE GOVERNMENT	603	FOSTER CARE & ADOPTION
128	FEDERAL GOVERNMENT	604	RECREATION FOR CHILDREN & YOUT
200	MULTISERVICE PROG. - FOREIGNER	605	MULTISERVICE-CHILDREN & YOUTH
201	ENGLISH AS A SECOND LANGUAGE	700	ELDERLY MULTISERVICE PROGRAMS
202	ADULT LITERACY PROGRAM	701	SENIOR CITIZEN ADVOCACY
203	VOCATIONAL TRAINING PROGRAM	703	SENIOR CITIZEN COUNSELING SER
204	CHILDREN/TEEN TUTORING PROGRAM	704	SENIOR CITIZEN CENTER
205	DAY CARE PROGRAM	705	RECREATION FOR THE ELDERLY
206	SCHOOL PROGRAM	800	CORPORATIONS
207	EDUCATIONAL RESEARCH/ADVOCACY	801	VOLUNTEER REFERRAL AGENCIES
208	MULTISERVICE EDUCATIONAL PROGR	802	UNIONS
209	ADULT EDUCATION	900	MAILING LIST
210	INTERNATIONAL PROGRAMS	901	CLOTHING BANK RECIPIENT
211	PROFESSIONAL DEVELOPMENT	902	FUNDING RESOURCE
212	HIGHER EDUCATION PROGRAM	903	CLOTHING BANK DONOR
301	SUICIDE PREVENTION	904	Advocacy For Families
302	HOSPITAL		
303	NUTRITION PROGRAM		
304	NURSING HOME		
305	HEALTH EDUCATION		
306	HEALTH CLINIC		
307	VOLUNTEER AMBULANCE CORPS		
308	HEALTH ORGANIZATION		
309	AIDS PROGRAMS		
310	MEDICAL CARE RESIDENCE		
401	SCHOOL FOR CREATIVE ARTS		
402	LIBRARY		
403	THEATRE GROUP		
404	MUSEUM		
405	HISTORIC HOUSE/SOCIETY		